
須坂市市民総合意識調査

結果報告書

平成 27 年 3 月

須坂市

目 次

第1章 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査概要	1
(1) 調査対象	1
(2) 調査期間	1
(3) 調査方法	1
(4) 設問内容	1
(5) アンケート回収状況	1
(6) 調査集計委託機関	1
第2章 調査結果	2
1 アンケート調査結果	2
(1) 回答者属性	2
(2) 市の施策全般について	5
(3) 須坂市のまちづくりや、市政に対する意見等	42
2 市の全般的な施策に対する評価	44
(1) 施策に対する満足度	44
(2) 施策に対する重要度	46
(3) 施策に対する満足度と重要度の関係	48
第3章 自由意見	49
1 須坂市の強みや魅力について	49
(1) 健康・福祉・子育て	49
(2) 教育・文化・スポーツ	49
(3) 環境・景観	49
(4) 都市基盤・駅前整備	50
(5) 産業・経済・農業振興	50
(6) 安全・交通・生活基盤	51
(7) まちづくり・観光	51
(8) 交流・コミュニティ	51
(9) 市職員等	52
(10) 広報広聴・PR	52
(11) その他	52

2 須坂市の改善点について.....	54
(1) 健康・福祉・子育て.....	54
(2) 教育・文化・スポーツ.....	55
(3) 環境・景観.....	55
(4) 都市基盤・駅前整備.....	56
(5) 産業・経済・農業振興.....	57
(6) 安全・交通・生活基盤.....	59
(7) まちづくり・観光.....	61
(8) 交流・コミュニティ.....	63
(9) 市職員等.....	63
(10) 公共施設管理等.....	64
(11) 広報広聴・PR.....	65
(12) 税金・各種料金.....	65
(13) 市政・財政・計画ビジョン.....	65
(14) アンケートについて.....	66
(15) その他.....	66
<参考資料編>	1
アンケート調査票.....	2

第 1 章 調査概要

1 調査目的

本調査は、平成 22 年度に策定した第 5 次須坂市総合計画・前期基本計画（平成 23 年度～平成 27 年度）の進捗状況を把握するとともに、平成 28 年度から平成 32 年度を計画期間とする後期基本計画策定の基礎資料とするために実施した。

2 調査概要

(1) 調査対象

市内 20 歳以上の住民 2,000 人を対象に無作為抽出

(2) 調査期間

平成 26 年 11 月 12 日（水）～ 平成 26 年 11 月 28 日（金）

(3) 調査方法

郵送配布・郵送回収

(4) 設問内容

- ・市の全般的な施策に対する評価
- ・健康の維持・増進への取組状況
- ・須坂市は子育てしやすい（しやすそうな）まちだと思うか
- ・ボランティア活動や市民活動、地域の活動への参加状況
- ・須坂市の強みや魅力
- ・市政に対する意見 等

(5) アンケート回収状況

回答数 781 人（内訳： 男性 360 人、女性 416 人 無回答 5 人）

回収率 39.1%

(6) 調査集計委託機関

一般財団法人長野経済研究所

第2章 調査結果

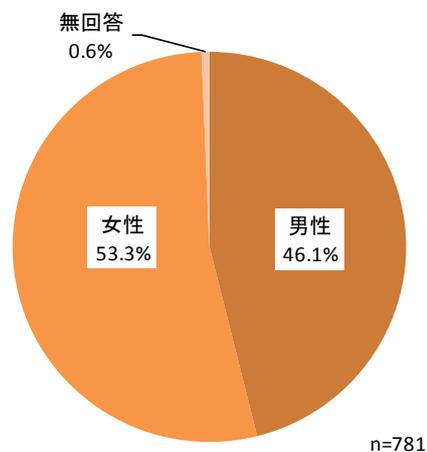
1 アンケート調査結果

※四捨五入の関係から、構成比の合計が100%にならない箇所があります。

(1) 回答者属性

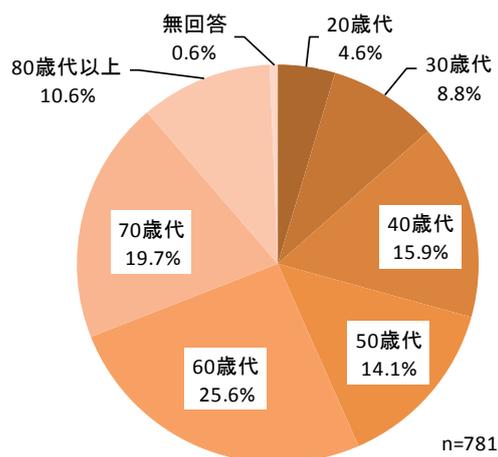
①性別

n=781		
	回答数	割合
男性	360	46.1%
女性	416	53.3%
無回答	5	0.6%
計	781	100.0%



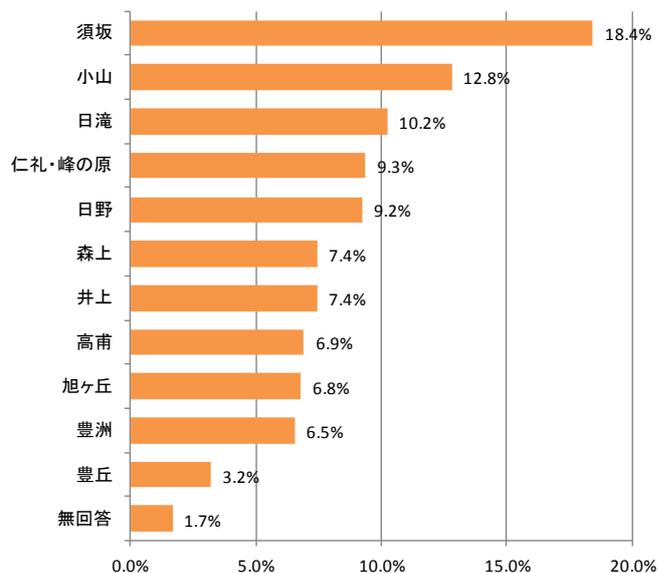
②年代

n=781		
	回答数	割合
20歳代	36	4.6%
30歳代	69	8.8%
40歳代	124	15.9%
50歳代	110	14.1%
60歳代	200	25.6%
70歳代	154	19.7%
80歳代以上	83	10.6%
無回答	5	0.6%
計	781	100.0%



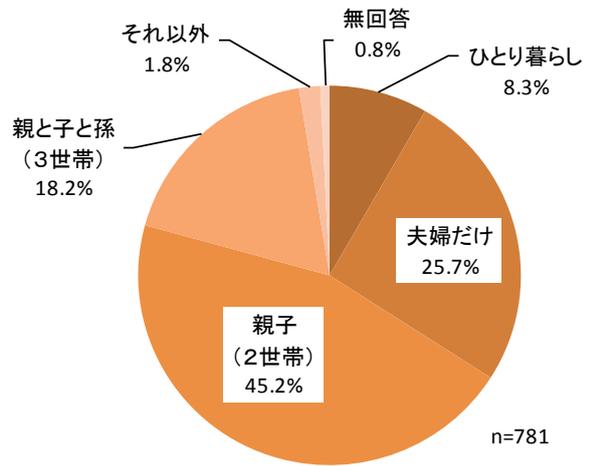
③居住地区

n=781		
	回答数	割合
須坂	144	18.4%
小山	100	12.8%
日滝	80	10.2%
仁礼・峰の原	73	9.3%
日野	72	9.2%
森上	58	7.4%
井上	58	7.4%
高甫	54	6.9%
旭ヶ丘	53	6.8%
豊洲	51	6.5%
豊丘	25	3.2%
無回答	13	1.7%
計	781	100.0%



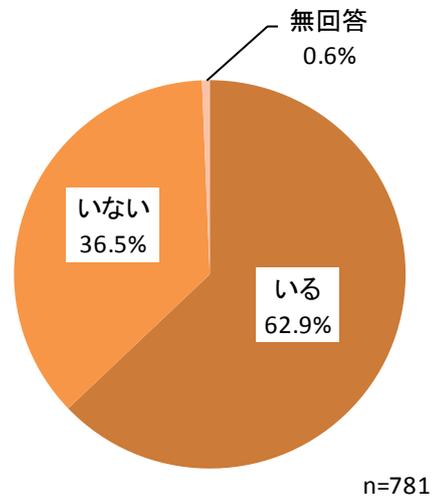
④家族構成

n=781		
	回答数	割合
ひとり暮らし	65	8.3%
夫婦だけ	201	25.7%
親子(2世帯)	353	45.2%
親と子と孫(3世帯)	142	18.2%
それ以外	14	1.8%
無回答	6	0.8%
計	781	100.0%



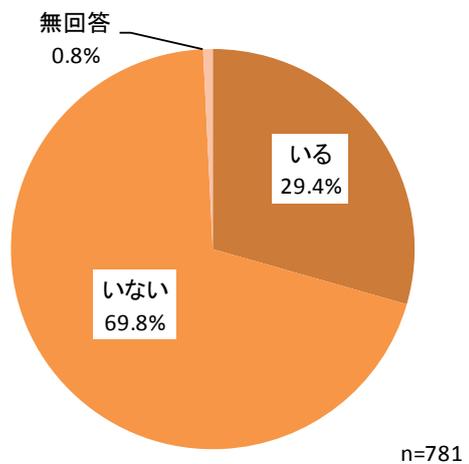
⑤家族構成(65歳以上の有無)

n=781		
	回答数	割合
いる	491	62.9%
いない	285	36.5%
無回答	5	0.6%
計	781	100.0%



⑥家族構成(18歳未満の有無)

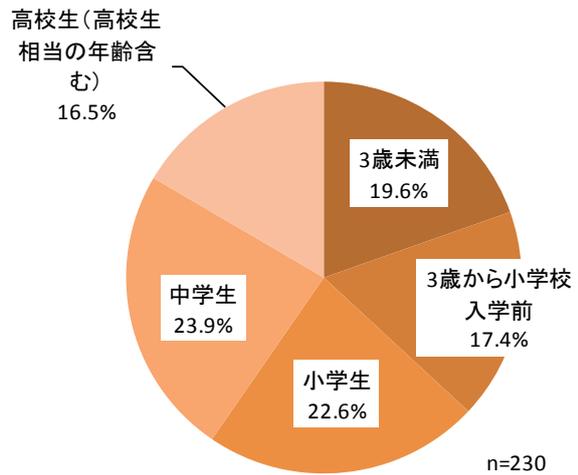
n=781		
	回答数	割合
いる	230	29.4%
いない	545	69.8%
無回答	6	0.8%
計	781	100.0%



⑦同居親族 18歳未満の年代

n=230

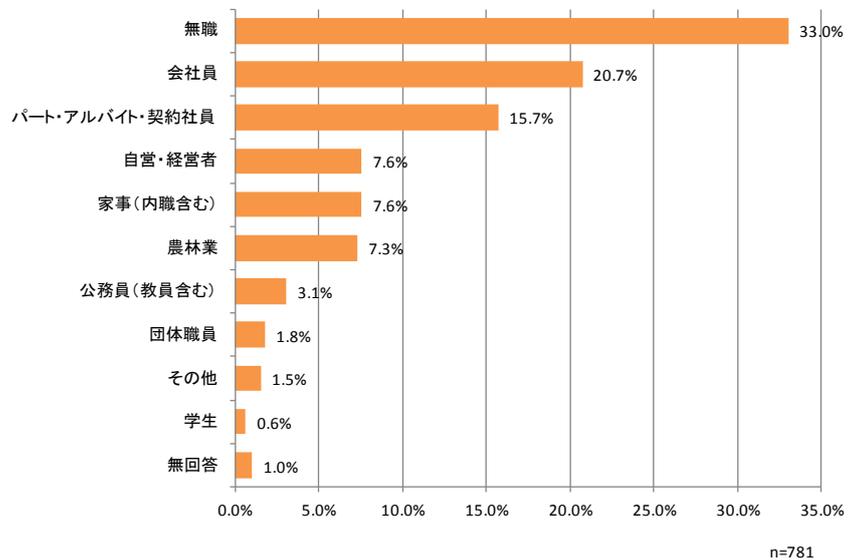
	回答数	割合
3歳未満	45	19.6%
3歳から小学校入学前	40	17.4%
小学生	52	22.6%
中学生	55	23.9%
高校生(高校生相当の年齢含む)	38	16.5%
無回答	0	0.0%
計	230	100.0%



⑧職業

n=781

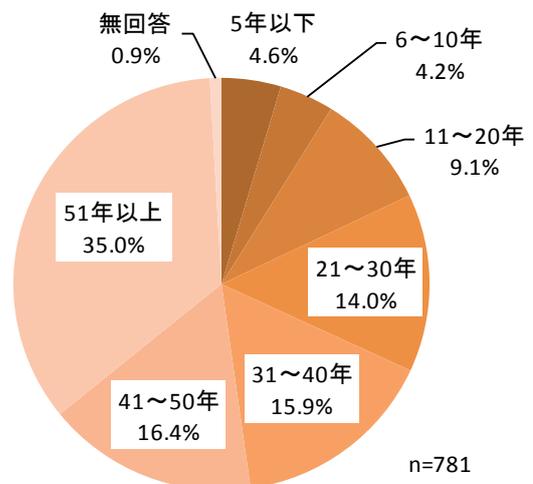
	回答数	割合
無職	258	33.0%
会社員	162	20.7%
パート・アルバイト・契約社員	123	15.7%
自営・経営者	59	7.6%
家事(内職含む)	59	7.6%
農林業	57	7.3%
公務員(教員含む)	24	3.1%
団体職員	14	1.8%
その他	12	1.5%
学生	5	0.6%
無回答	8	1.0%
計	781	100.0%



⑨通算居住年数

n=781

	回答数	割合
5年以下	36	4.6%
6~10年	33	4.2%
11~20年	71	9.1%
21~30年	109	14.0%
31~40年	124	15.9%
41~50年	128	16.4%
51年以上	273	35.0%
無回答	7	0.9%
計	781	100.0%



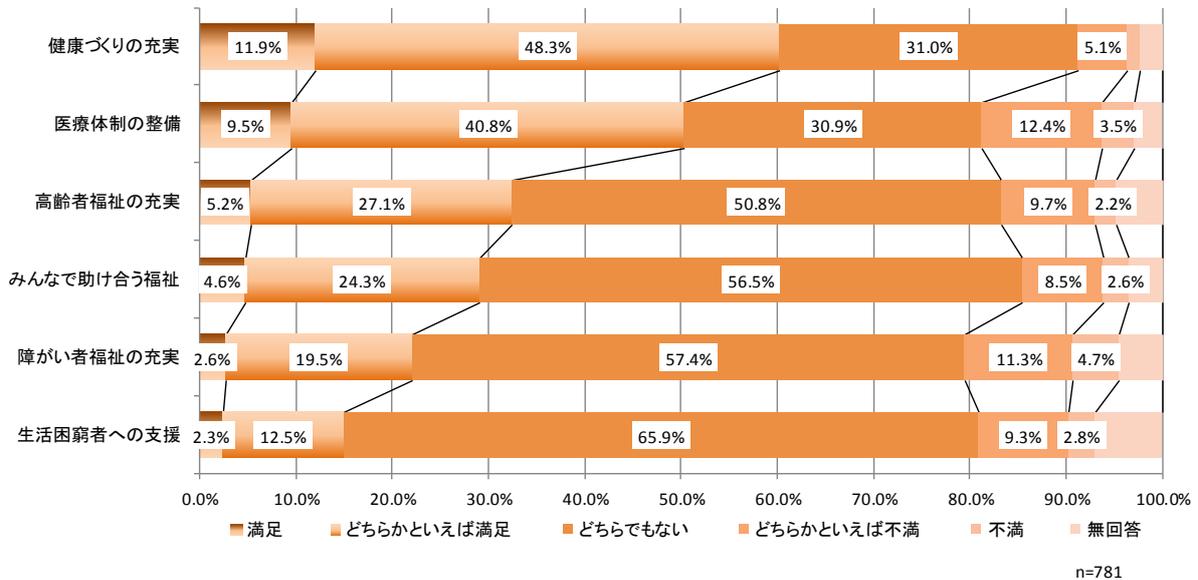
(2) 市の施策全般について

基本目標①「みんなが助け合い、健康に暮らせるまちづくり」に対する評価など

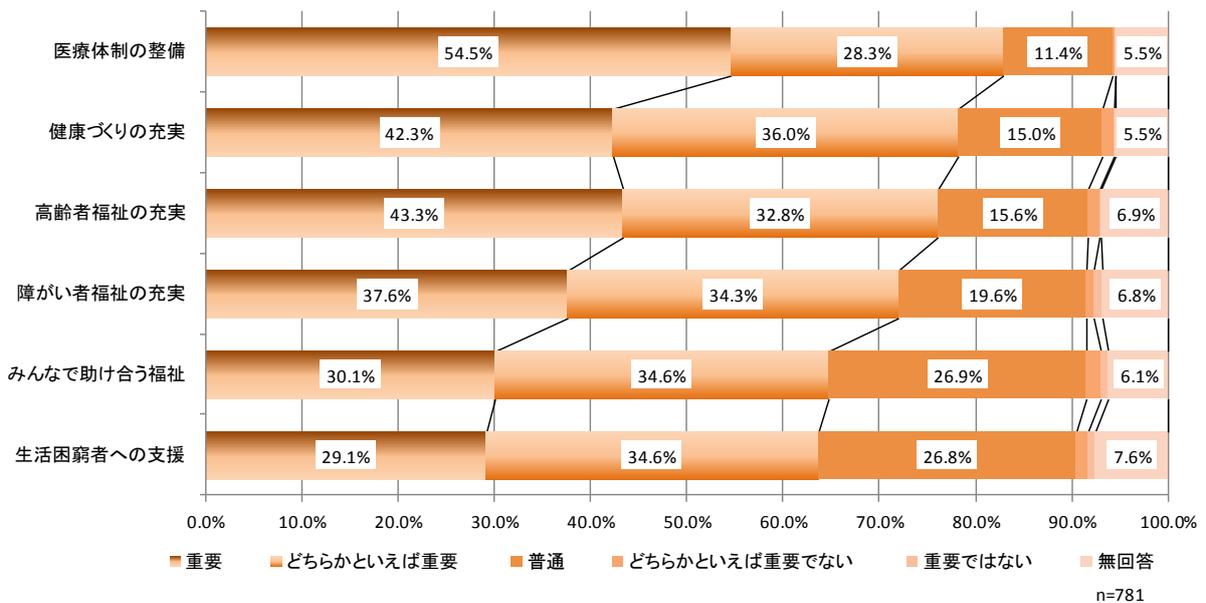
満足度をみると、「満足」、「どちらかといえば満足」の合計で最も割合が高いのは、「健康づくりの充実」で60.2%となっている。次いで、「医療体制の整備」が50.3%と続いている。一方、「生活困窮者への支援」は14.8%と満足度は低い結果となっている。

重要度をみると、「重要」、「どちらかといえば重要」の合計で最も割合が高いのは、「医療体制の整備」で8割を超えている。また、「健康づくりの充実」、「高齢者福祉の充実」、「障がい者福祉の充実」がいずれも7割を超えている。

ア 満足度



イ 重要度



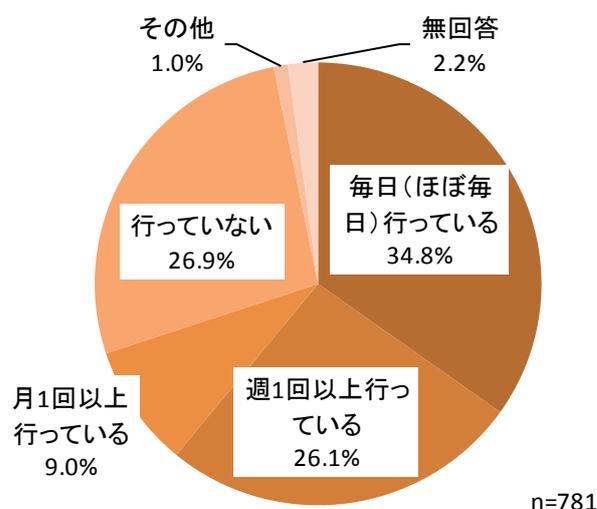
ウ 健康の維持・増進への取組状況

健康の維持・増進への取組状況では、「毎日（ほぼ毎日）行っている」が 34.8%であった。また、「週1回以上行っている」と回答した割合は 26.1%と、半数を超える市民が週1回以上の健康増進を目的とした取組を行っている。一方、「行っていない」と回答した割合は 26.9%であった。

「その他」の回答として、「犬の散歩」、「ラジオ体操」などが挙げられている。

年代別にみると、70代、80代以上は「毎日（ほぼ毎日）行っている」と回答する割合が高くなっている。一方、40代以下では、健康維持・増進の取組を「行っていない」と回答する割合が高く、取組が進んでいないことが窺える。

	回答数	割合
毎日(ほぼ毎日)行っている	272	34.8%
週1回以上行っている	204	26.1%
月1回以上行っている	70	9.0%
行っていない	210	26.9%
その他	8	1.0%
無回答	17	2.2%
計	781	100.0%



< 男女別、年代別の内訳 >

	性別	毎日(ほぼ毎日)行っている		週1回以上行っている		月1回以上行っている		行っていない		その他		無回答		合計	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
性別	男性	123	34.2%	109	30.3%	34	9.4%	88	24.4%	3	0.8%	3	0.8%	360	100.0%
	女性	148	35.6%	95	22.8%	35	8.4%	122	29.3%	5	1.2%	11	2.6%	416	100.0%
	無回答	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	60.0%	5	100.0%
	合計	272	34.8%	204	26.1%	70	9.0%	210	26.9%	8	1.0%	17	2.2%	781	100.0%
年代	20代	6	16.7%	7	19.4%	4	11.1%	17	47.2%	1	2.8%	1	2.8%	36	100.0%
	30代	16	23.2%	16	23.2%	5	7.2%	30	43.5%	2	2.9%	0	0.0%	69	100.0%
	40代	27	21.8%	29	23.4%	6	4.8%	59	47.6%	1	0.8%	2	1.6%	124	100.0%
	50代	31	28.2%	29	26.4%	13	11.8%	35	31.8%	0	0.0%	2	1.8%	110	100.0%
	60代	73	36.5%	61	30.5%	19	9.5%	43	21.5%	0	0.0%	4	2.0%	200	100.0%
	70代	78	50.6%	45	29.2%	10	6.5%	17	11.0%	2	1.3%	2	1.3%	154	100.0%
	80代以上	40	48.2%	17	20.5%	12	14.5%	9	10.8%	2	2.4%	3	3.6%	83	100.0%
	無回答	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	60.0%	5	100.0%
合計	272	34.8%	204	26.1%	70	9.0%	210	26.9%	8	1.0%	17	2.2%	781	100.0%	

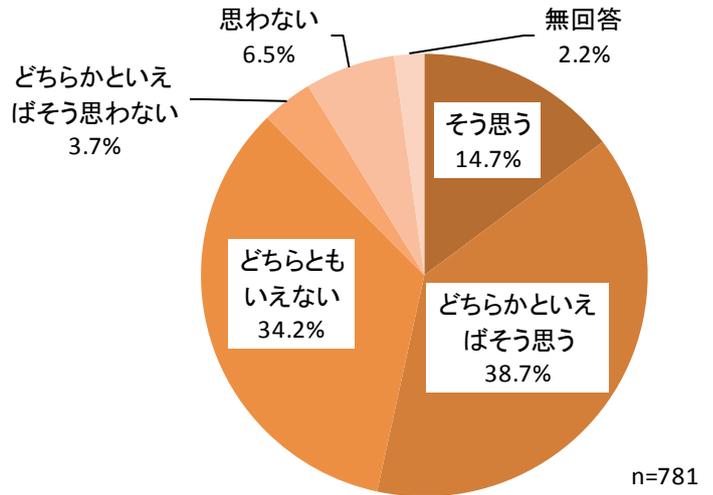
※無回答以外について、合計平均を5%ポイント以上上回るものを網掛けの太字、5%ポイント以上下回るものを網掛けの白抜きで示しています。

エ 高齢者の見守り活動に参加していきたいか

高齢者の見守り活動に対する参加の意向をみると、半数を超える市民が「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答している。一方、「思わない」が6.5%となっている。

年代別にみると、80代は「そう思う」と回答した割合が最も高くなっている。また、20代、50代、60代でも「どちらかといえばそう思う」と回答する割合が高く、高齢者の見守り活動に参加したい意向が強いことが窺える。

n=781		
	回答数	割合
そう思う	115	14.7%
どちらかといえばそう思う	302	38.7%
どちらともいえない	267	34.2%
どちらかといえばそう思わない	29	3.7%
思わない	51	6.5%
無回答	17	2.2%
計	781	100.0%



< 男女別、年代別の内訳 >

		そう思う		どちらかといえばそう思う		どちらともいえない		どちらかといえばそう思わない		思わない		無回答		合計	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
性別	男性	50	13.9%	131	36.4%	141	39.2%	16	4.4%	19	5.3%	3	0.8%	360	100.0%
	女性	64	15.4%	170	40.9%	126	30.3%	13	3.1%	32	7.7%	11	2.6%	416	100.0%
	無回答	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	60.0%	5	100.0%
	合計	115	14.7%	302	38.7%	267	34.2%	29	3.7%	51	6.5%	17	2.2%	781	100.0%
年代	20代	3	8.3%	19	52.8%	10	27.8%	2	5.6%	1	2.8%	1	2.8%	36	100.0%
	30代	10	14.5%	19	27.5%	31	44.9%	2	2.9%	7	10.1%	0	0.0%	69	100.0%
	40代	14	11.3%	41	33.1%	52	41.9%	5	4.0%	11	8.9%	1	0.8%	124	100.0%
	50代	14	12.7%	53	48.2%	39	35.5%	4	3.6%	0	0.0%	0	0.0%	110	100.0%
	60代	29	14.5%	88	44.0%	62	31.0%	6	3.0%	13	6.5%	2	1.0%	200	100.0%
	70代	22	14.3%	63	40.9%	50	32.5%	7	4.5%	9	5.8%	3	1.9%	154	100.0%
	80代以上	22	26.5%	18	21.7%	23	27.7%	3	3.6%	10	12.0%	7	8.4%	83	100.0%
	無回答	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	60.0%	5	100.0%
合計	115	14.7%	302	38.7%	267	34.2%	29	3.7%	51	6.5%	17	2.2%	781	100.0%	

※無回答以外について、合計平均を5%ポイント以上上回るものを網掛けの太字、5%ポイント以上下回るものを網掛けの白抜きで示しています。

オ 基本目標①「みんなが助け合い、健康に暮らせるまちづくり」に対する意見など

- ・プライバシーを尊重し信頼し合う近隣関係の構築が重要。民生委員、保健師等の果たす役割が重要。(男.70 歳代.日野)
- ・地域でやっている(いた)運動会も、高齢者や子どもたちが一緒に楽しめるような、ウォーキングをしながらごみ拾いを兼ねたりしたらどうか。(男.60 歳代.高甫)
- ・誰もが手軽にスポーツができる施設を地区単位で設け、活用できる仕組みを作りたい。(男.60 歳代.仁礼・峰の原)
- ・高齢者ホーム入居に待つ時間がかかる。もっと増やしてほしい。(女.80 歳代以上.日野)
- ・隣近所の人たちと仲良くしたり、顔をあわせて話ができる。近くに気楽に集まれる所があれば良い。(女.60 歳代.旭ヶ丘)
- ・目標が具体的にどのように行っていくか、また、そのための制度をしっかりと市民に浸透するようなものを作ってほしい。(男.30 歳代.須坂)
- ・他の自治体のように休日、夜間の小児救急体制を整えてほしい。子育て中の立場としては、不安を持っている。そういった体制がとれている市町村がうらやましいと感じている。(女.40 歳代.日滝)
- ・職員の皆様が意欲的に取り組んでいるので、心から感謝している。(女.70 歳代.豊丘)
- ・高齢者が主体的に活動できる社会の構築が重要と考える。(時間や能力の活用)(女.60 歳代.豊洲)
- ・高齢者が運動のできる施設をもっと増やしてほしい。(女.70 歳代.高甫)
- ・隣近所のつながりを大切に、助け合っていくことが大事だと思う。(女.20 歳代.仁礼・峰の原)
- ・地域毎が活性化できる場所(施設)が近くにほしい。中央公民館・図書館は遠すぎて井上地区の方はあまり利用できない。(女.60 歳代.井上)
- ・隣近所や隣組関係だと、年齢差が感じられ、いろいろな行事や決まり事などに対し、考え方や意識が希薄になっている。(女.60 歳代.小山)
- ・健康診断など受診できない人も受けられるように市がバスを出して迎えにいったら良いと思う。(女.60 歳代.井上)
- ・医療体制について、須坂病院をもう少し信頼できる病院にしてほしい。何かあっても須坂市外の病院を利用してしまふ。(女.80 歳代以上.豊洲)
- ・高齢者の人たちの仲間作りや毎日誰かと会話できる場所がほしい。(女.60 歳代.日野)
- ・「みんなが助け合い」が具体的にどんな活動なのか、市民が承知しているのか疑問。(男.70 歳代.小山)
- ・体の健康はもとより、心の健康を害する人が増えていると思う。小学生を含む子どもたちをはじめ、心の福祉課が必要。(女.40 歳代.小山)
- ・みんなの助け合いが必要。できれば月 1 回程、外出して健康体操とか、遊びを教えていただき、笑ったり話したり体を動かしたりして楽しく暮らしていきたいと思う。皆様が元気であることは福祉にも役立つと思う。(女.80 歳代以上.須坂)
- ・小学校学区単位くらいの規模と身近さでの健康づくりの講習会が開かれると良いと思う。実

習も含めて。(男.60歳代.井上)

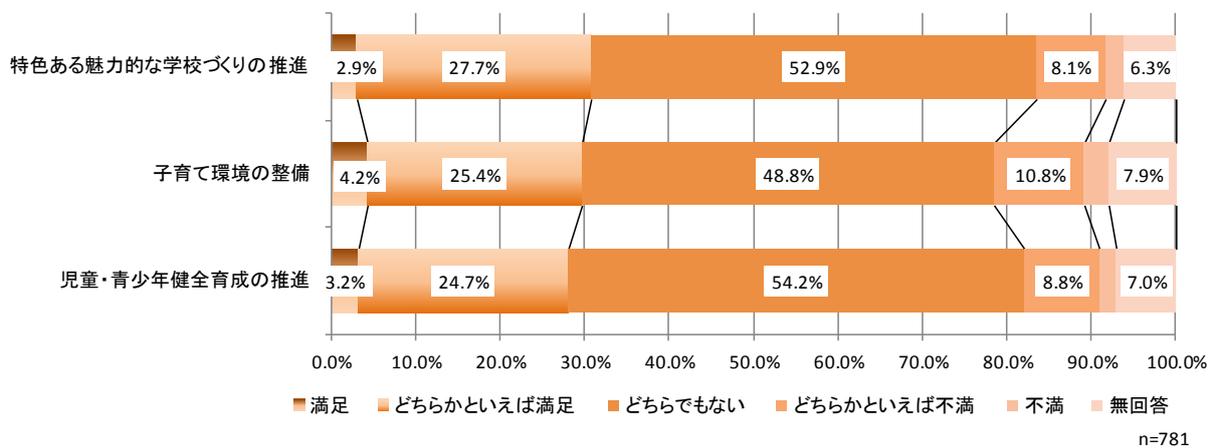
- ・独居者が増えている。高齢者、障がい者ともに地域で孤立しないように「もっとこうしてほしい」という声を上げてもらえるシステムがあると、近くに居る者も補助の手を出しやすいと思う。「おせっかい」ではないかと手を出さない、という声も聞く。(女.60歳代.豊丘)
- ・高齢者が楽しめる催し物を多く企画してほしい。認知症予防教室のようなものを計画的に行ってほしい。デイサービスほどでなくても、高齢者が集って話しができるような場が必要だと思う。(女.40歳代.井上)
- ・一人暮らしで困っている方、または大雪など積もっている時に、各町ぐるみで皆協力してできたら良いと思う。市で呼びかけしてほしい。(1度で良いから)(女.70歳代.須坂)
- ・ラジオ体操みたいにそこに行くと体が動かせるという所がほしい。あまり遠くではなく、各地域で自然と集まって世間話や情報交換、体を動かしたりできる場がほしい。公共の場ではいつも同じ人が集まっている。(女.60歳代.仁礼・峰の原)
- ・地域の横のつながりが希薄。特にアパート、マンションの多い地域は顕著である。(男.50歳代.須坂)
- ・少子高齢化が進む中、家庭や地域で助け合うことは重要である。子どもと高齢者が触れ合い、交流・伝承等が大切と思う。私自身としても健康寿命を心得て生活したいと思う。(男.60歳代.須坂)
- ・休日・夜間対応できる医者がもう少しいると安心できる。(男.30歳代.仁礼・峰の原)
- ・民生委員さんの数を増やし、独居者の人への声掛けをする。寄合所をつくり、お高齢者や子どもたちが気楽に寄れる場を用意してほしい。(女.60歳代.須坂)
- ・救急体制に不安がある。須坂病院をもっと充実させてほしい。一刻を争う脳外科が無いとはもってのほか！(女.80歳代以上.須坂)
- ・ボランティア活動に参加したいと思うが具体的にどのように動いていいのかわからない。(女.50歳代.森上)

基本目標②「子どもたちが未来に夢を持てるまちづくり」に対する評価など

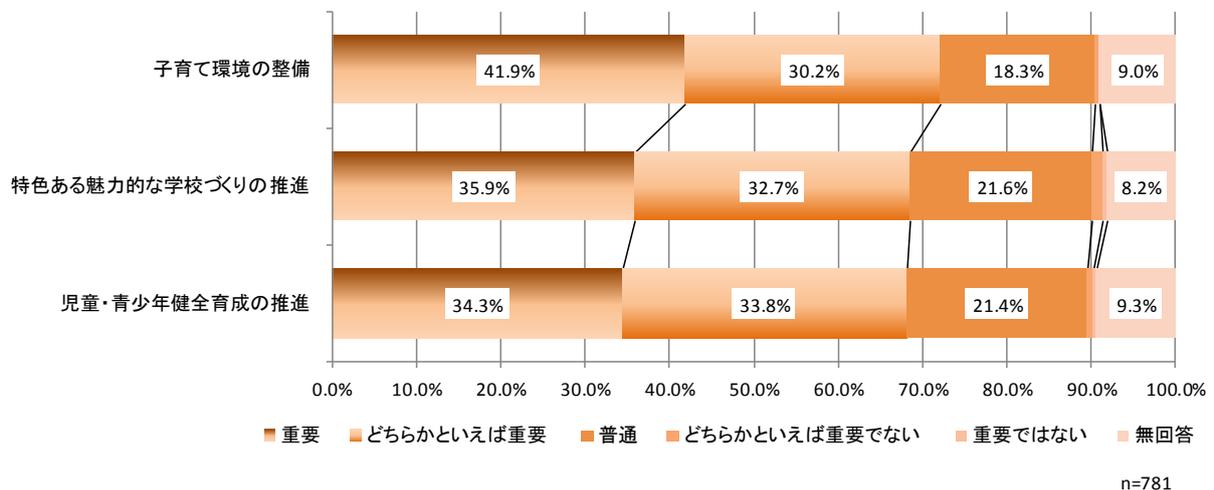
満足度をみると、「満足」、「どちらかといえば満足」を合計した割合がいずれも3割程にとどまっている。

重要度をみると、「重要」、「どちらかといえば重要」を合計した割合が最も高いのは、「子育て環境の整備」で72.1%となっている。次いで、「特色ある魅力的な学校づくりの推進」(68.6%)、「児童・青少年健全育成の推進」(68.1%)の順となっている。

ア 満足度



イ 重要度

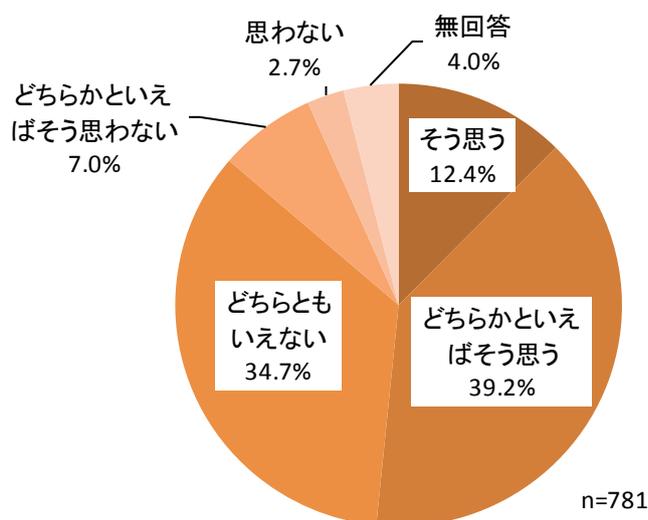


ウ 須坂市は子育てしやすいまちだと思うか

須坂市は子育てしやすいまちだと思うかと尋ねたところ、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と合計した割合が 51.6%であった。一方、「思わない」、「どちらかといえばそう思わない」は、9.7%であった。

年代別にみると、50代は「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が最も高くなっている。一方、30代では「どちらかといえばそう思わない」と回答する割合が高くなっている。

	回答数	割合
そう思う	97	12.4%
どちらかといえばそう思う	306	39.2%
どちらともいえない	271	34.7%
どちらかといえばそう思わない	55	7.0%
思わない	21	2.7%
無回答	31	4.0%
計	781	100.0%



< 男女別、年代別の内訳 >

		そう思う		どちらかといえばそう思う		どちらともいえない		どちらかといえばそう思わない		思わない		無回答		合計	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
性別	男性	36	10.0%	139	38.6%	136	37.8%	27	7.5%	12	3.3%	10	2.8%	360	100.0%
	女性	61	14.7%	166	39.9%	134	32.2%	28	6.7%	9	2.2%	18	4.3%	416	100.0%
	無回答	0	0.0%	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	60.0%	5	100.0%
	合計	97	12.4%	306	39.2%	271	34.7%	55	7.0%	21	2.7%	31	4.0%	781	100.0%
年代	20代	4	11.1%	14	38.9%	12	33.3%	4	11.1%	1	2.8%	1	2.8%	36	100.0%
	30代	9	13.0%	19	27.5%	24	34.8%	13	18.8%	3	4.3%	1	1.4%	69	100.0%
	40代	18	14.5%	46	37.1%	43	34.7%	11	8.9%	6	4.8%	0	0.0%	124	100.0%
	50代	9	8.2%	50	45.5%	42	38.2%	8	7.3%	1	0.9%	0	0.0%	110	100.0%
	60代	20	10.0%	86	43.0%	69	34.5%	15	7.5%	4	2.0%	6	3.0%	200	100.0%
	70代	23	14.9%	58	37.7%	60	39.0%	3	1.9%	3	1.9%	7	4.5%	154	100.0%
	80代以上	14	16.9%	32	38.6%	20	24.1%	1	1.2%	3	3.6%	13	15.7%	83	100.0%
	無回答	0	0.0%	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	60.0%	5	100.0%
合計	97	12.4%	306	39.2%	271	34.7%	55	7.0%	21	2.7%	31	4.0%	781	100.0%	

※無回答以外について、合計平均を5%ポイント以上上回るものを網掛けの太字、5%ポイント以下回るものを網掛けの白抜きで示しています。

エ 子育てしやすいと思わない理由（「どちらかといえばそう思わない」、「思わない」と回答した市民の声）

- ・須坂市だけではなく、日本の社会全体が子育てに対して重要性を感じていなく、子育てに予算がまわっていない。今後未来を支える子どもたちを育てなくて日本の未来はないのではないか。（女.50 歳代.小山）
- ・県道に歩道がなく子どもにとっては、とても危険でもある。自転車を使うとしても不便で、県道以外だと暗く危険。県道の大谷より上の道も歩道を作ってください。（女.40 歳代.日滝）
- ・公園等が充実していない。（木々に虫がいたり、芝でないため、砂ほこり等で安心して遊べない）（女.60 歳代.日野）
- ・子どもたちが遊べる公園遊具が少ない！（女.60 歳代.井上）
- ・親子で遊べる施設（室内・室外）が少なく、公園も少ない。（米持町）（女.30 歳代.井上）
- ・長野市と比べて子育て支援の特典が充実していないと思うから。（女.20 歳代.須坂）
- ・気軽に集える場所がない。センターなどなぜかとても行きにくい感じがある。（男.30 歳代.豊洲）
- ・親、大人同士があいさつ、思いやりがないし、預かり保育もお願いに対して条件がありすぎて預けにくい。（女.60 歳代.須坂）
- ・低所得者への補助等不十分。（男.40 歳代.日野）
- ・住宅街にある小さな公園等では、草が生い茂っていたり遊具が古くなっていることが多いと思う。（長野市はしっかり整備されている印象がある）（女.30 歳代.森上）
- ・高齢者に対してより、未来の子どもを多く育てるために全国一律の施策だけでなく高齢者予算を削減しても独自の施策と予算付け（保育、給食費、医療費など）を進めてほしい。（男.70 歳代.須坂）
- ・集い遊べる場所が少ないため、須坂市外へ出ることが多い。（男.40 歳代.井上）
- ・子どもが遊べる公園や医療費が少なかったり高かったりと感じる。子どもが楽しくすくすく遊べる場所は必要だと思う。（男.30 歳代.森上）
- ・他市町村では、医療費の負担が年齢によって無いところがあるのでうらやましい。もっと、近所に公園がほしい。（女.20 歳代.日滝）
- ・子育てに利用しやすいところが市外（小布施の公園や長野市の科学センター等）にあるが、須坂市内は臥竜公園くらいしかない。センターも利用しやすいとは思えない。（女.30 歳代.日野）

オ 基本目標②「子どもたちが未来に夢を持てるまちづくり」に対する意見など

- ・まずは須坂市を子どもたちがずっと住みたいと思えるようにした方が良い。未来はそこから始まるのでは。(女.50 歳代.仁礼・峰の原)
- ・子どもたちを育てる身近な母親の資質を高めるべく「母親教育」の仕組みが必要だと思う。(男.60 歳代.仁礼・峰の原)
- ・企業が市から流出してしまい、子どもたちが将来この地に住むのか不安である。他の市より商業の大企業、チェーン店などが少ない。(男.40 歳代.旭ヶ丘)
- ・子どもや親たちが須坂市で生活するのが一番と思えるように頑張してほしい。(男.30 歳代.須坂)
- ・親世代がしっかりした考えを持っていないのに子どもにばかり期待するのは間違っていると思う。親世代が夢を持っていないため、子どももそれを見て夢を持ってない。(女.50 歳代.小山)
- ・今、小中学生が電子機器普及のせいかゲームに夢中になり、親子や家族との対話が少なく、外で体を動かして伸び伸び遊ぶことも少なくなっている。そのため、人とのかかわりや思いやり、感謝といった利他的な愛が薄れてきているような気がする。(女.70 歳代.豊丘)
- ・企業誘致を進め、働く場所をもっと増やしてほしい。ほとんどの人は須坂市から長野市へ通勤しているため。(男.40 歳代.須坂)
- ・子育て世代が「須坂市に住みたい」と思えるようなまちづくりにしていくことが大事だと思う。(女.20 歳代.仁礼・峰の原)
- ・高齢者向けの施策が多いと思う。子どもを遊ばせられる公園が少なすぎる。近隣市町村に出向くことが多い。児童センターについては、利用させていただき、日頃より感謝している。(男.40 歳代.須坂)
- ・親が安心して仕事と子育てを両立できる仕組みが必要。家庭のあり方の多様性（シングルマザー、ファザー）も広がりより柔軟性のあるサポート体制が必要。(男.40 歳代.小山)
- ・出生率の向上。例えば、現在の 1.5～1.8 人からまた 2.0 人以上を目標にしたらどうか。親と子の同居促進を提案したい。特に祖父母による子女教育の充実促進を。(女.80 歳代以上.森上)
- ・子どもたちに自分の生まれ育った地に夢を持っているよう、地区のいろいろなボランティアなどに参加し、意識を持つのはどうか。例えば、自分たちの地区に花を植えて世話をする、など。(女.50 歳代.日野)
- ・子どもたちに自分の夢を実現できるように数々の行事、イベントの参加に大人の押し付けでなく、子どもの声を生かして子どもたちに行動する力をつけてあげてほしい。(女.60 歳代.豊丘)
- ・子どもたちが夢を持ち育っていくが、須坂の地への思いが薄い（将来育った地へ根をおろさない）のが気がかり。(女.60 歳代.日野)
- ・結婚した若い人が安心して育児、安い教育費など、他の市町村にはない施策をとって安全で安心な町をアピールしてほしい。子どもが屋外で遊べる緑の多い広場を提供し、元気な子どもを育てること。(男.70 歳代.須坂)
- ・以前のアンケートでも回答したが、安心して子育てできる環境づくりを。例えば、24 時間で

の子どもの診療ができるとか。(女.30歳代.日野)

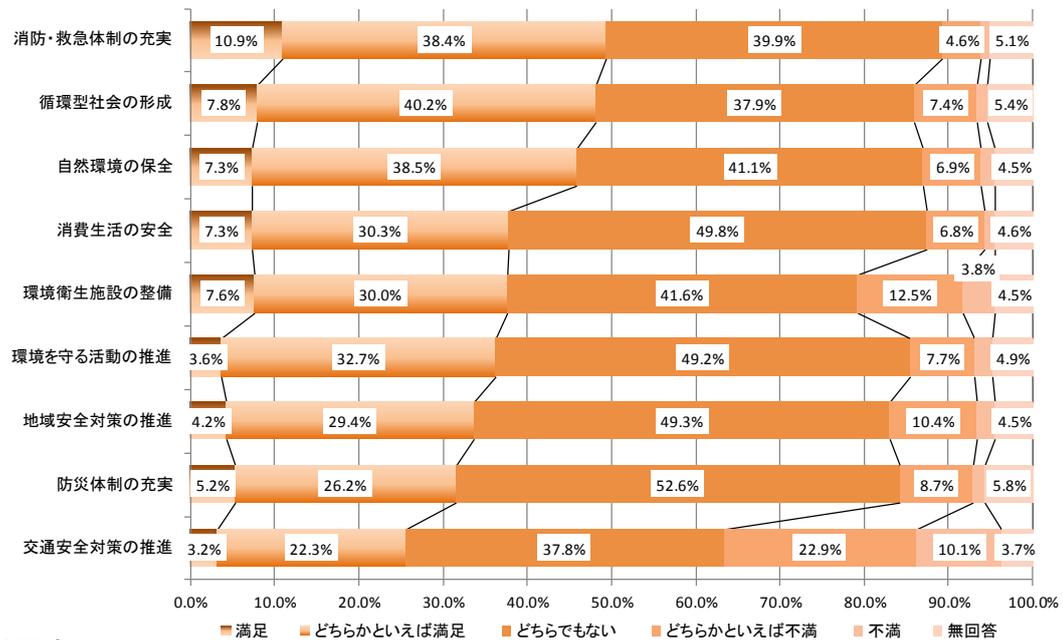
- ・保育料について、27年度から須坂市の保育料見直しは好ましくない。(女.30歳代.日野)
 - ・駅前シルキーの活用し、子育て支援の拠点のほか、コミュニティーセンターなどに活用できないのか。(女.30歳代.日野)
 - ・他の地域にない須坂モデルの子育てシステムができると安心して定住できると思う。(女.30歳代.日野)
- 学校経営にもっと地域の特色を盛り込む。基礎学力の向上。教師の質の向上。(男.60歳代.高甫)
- ・今の子どもたちがおもいきり遊んだり、汚したりできる場所を作ってほしい。マナーを守ることばかり求められていて、かわいそうだなと感じることが多い。(女.30歳代.日野)

基本目標③「豊かな自然あふれる地域環境を守り、安心して安全に暮らせるまちづくり」に対する評価など

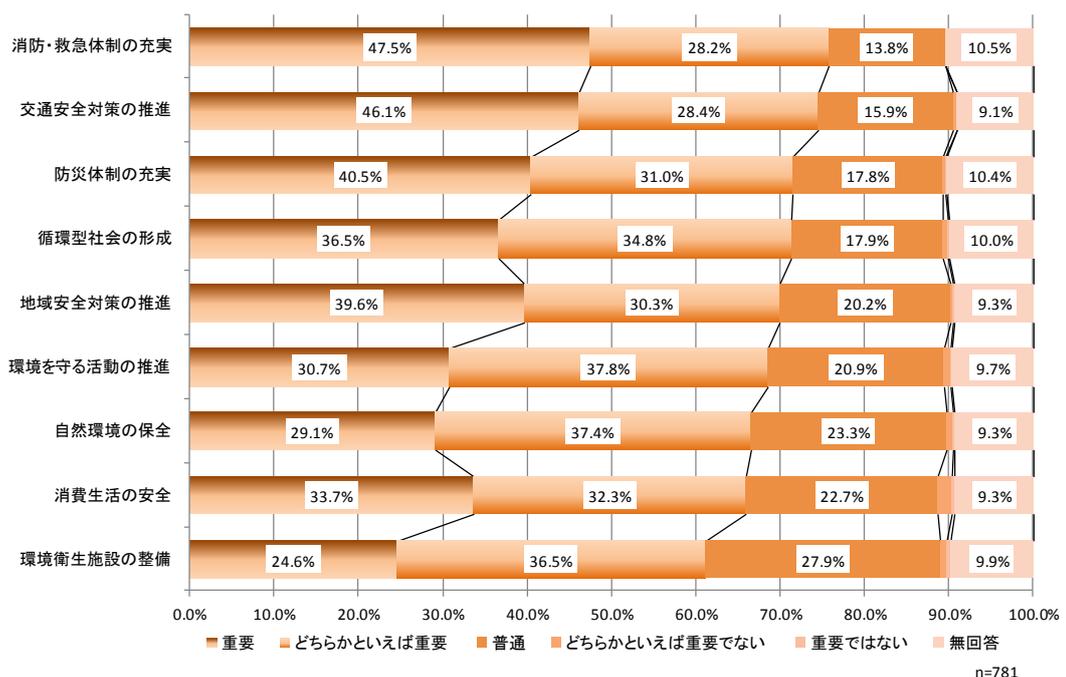
満足度をみると、「満足」、「どちらかといえば満足」を合計した割合が最も高いのは、「消防・救急体制の充実」で49.3%となっている。2番目に高いのが「循環型社会の形成」で48.0%となっている。一方、最も低いのは「交通安全対策の推進」で25.5%であった。

重要度をみると、「重要」、「どちらかといえば重要」を合計した割合が最も高いのは、「消防・救急体制の充実」で75.7%となっている。次いで、「交通安全対策の推進」(74.5%)、「防災体制の充実」(71.5%)、「循環型社会の形成」(71.3%)の順となっている。

ア 満足度



イ 重要度



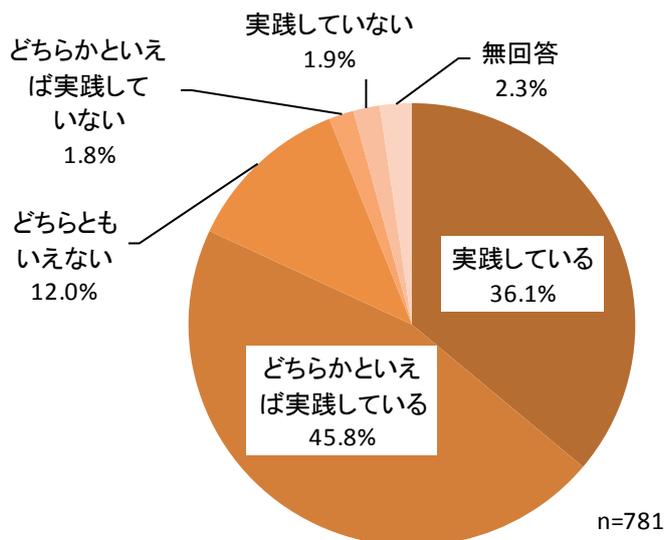
ウ 環境にやさしい生活（活動）の実践状況

環境にやさしい生活（活動）の実践状況をみると、8割を超える市民が「実践している」、「どちらかといえば実践している」と回答している。一方、「実践していない」、「どちらかといえば実践していない」を合計した割合は3.7%と低い結果となっている。

男女別にみると、女性が男性に比べ「実践している」と回答する割合は高くなっている。

年代別にみると、50代は「実践している」、「どちらかといえば実践している」を合計した割合が86.4%と最も高くなっている。一方、80代以上が低い結果となっている。

		n=781	
		回答数	割合
実践している		282	36.1%
どちらかといえば実践している		358	45.8%
どちらともいえない		94	12.0%
どちらかといえば実践していない		14	1.8%
実践していない		15	1.9%
無回答		18	2.3%
計		781	100.0%



< 男女別、年代別の内訳 >

		実践している		どちらかといえば実践している		どちらともいえない		どちらかといえば実践していない		実践していない		無回答		合計	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
性別	男性	101	28.1%	178	49.4%	58	16.1%	7	1.9%	8	2.2%	8	2.2%	360	100.0%
	女性	179	43.0%	180	43.3%	36	8.7%	7	1.7%	7	1.7%	7	1.7%	416	100.0%
	無回答	2	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	60.0%	5	100.0%
	合計	282	36.1%	358	45.8%	94	12.0%	14	1.8%	15	1.9%	18	2.3%	781	100.0%
年代	20代	12	33.3%	19	52.8%	2	5.6%	0	0.0%	3	8.3%	0	0.0%	36	100.0%
	30代	19	27.5%	32	46.4%	16	23.2%	0	0.0%	2	2.9%	0	0.0%	69	100.0%
	40代	42	33.9%	61	49.2%	15	12.1%	2	1.6%	1	0.8%	3	2.4%	124	100.0%
	50代	43	39.1%	52	47.3%	12	10.9%	2	1.8%	0	0.0%	1	0.9%	110	100.0%
	60代	73	36.5%	98	49.0%	22	11.0%	3	1.5%	2	1.0%	2	1.0%	200	100.0%
	70代	60	39.0%	70	45.5%	14	9.1%	5	3.2%	3	1.9%	2	1.3%	154	100.0%
	80代以上	31	37.3%	26	31.3%	13	15.7%	2	2.4%	4	4.8%	7	8.4%	83	100.0%
	無回答	2	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	60.0%	5	100.0%
合計	282	36.1%	358	45.8%	94	12.0%	14	1.8%	15	1.9%	18	2.3%	781	100.0%	

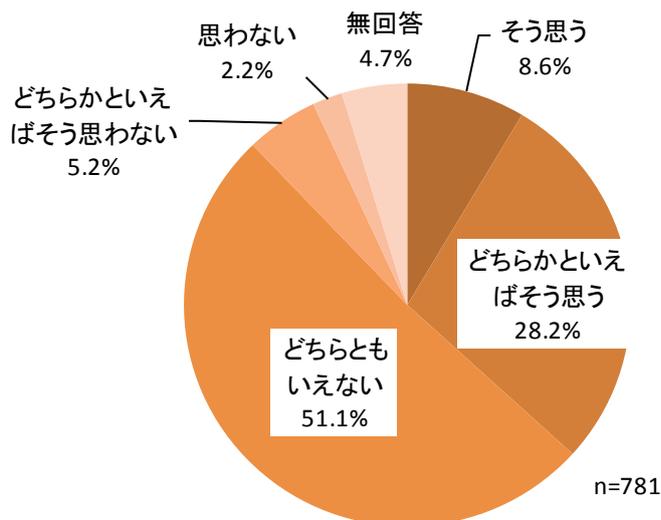
※無回答以外について、合計平均を5%ポイント以上上回るものを網掛けの太字、5%ポイント以上下回るものを網掛けの白抜きで示しています。

エ 須坂市の防災体制について充実していると思うか

須坂市の防災体制について充実しているか尋ねたところ、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合計した割合は 36.8%となっている。一方、「思わない」、「どちらかといえばそう思わない」を合計した割合は 1 割を下回っている。防災体制について「どちらともいえない」と回答する割合は 51.1%であった。

年代別にみると、70 代、80 代以上は「そう思う」と回答する割合が高くなっている。一方、年代が下がると防災体制が充実していると思わないと感じる傾向がある。

n=781		
	回答数	割合
そう思う	67	8.6%
どちらかといえばそう思う	220	28.2%
どちらともいえない	399	51.1%
どちらかといえばそう思わない	41	5.2%
思わない	17	2.2%
無回答	37	4.7%
計	781	100.0%



< 男女別、年代別の内訳 >

	性別	そう思う		どちらかといえばそう思う		どちらともいえない		どちらかといえばそう思わない		思わない		無回答		合計	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
性別	男性	22	6.1%	114	31.7%	179	49.7%	19	5.3%	9	2.5%	17	4.7%	360	100.0%
	女性	44	10.6%	106	25.5%	219	52.6%	22	5.3%	8	1.9%	17	4.1%	416	100.0%
	無回答	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	60.0%	5	100.0%
	合計	67	8.6%	220	28.2%	399	51.1%	41	5.2%	17	2.2%	37	4.7%	781	100.0%
年代	20代	1	2.8%	9	25.0%	21	58.3%	5	13.9%	0	0.0%	0	0.0%	36	100.0%
	30代	2	2.9%	14	20.3%	49	71.0%	3	4.3%	0	0.0%	1	1.4%	69	100.0%
	40代	5	4.0%	26	21.0%	76	61.3%	10	8.1%	3	2.4%	4	3.2%	124	100.0%
	50代	5	4.5%	32	29.1%	62	56.4%	6	5.5%	3	2.7%	2	1.8%	110	100.0%
	60代	13	6.5%	64	32.0%	104	52.0%	8	4.0%	4	2.0%	7	3.5%	200	100.0%
	70代	22	14.3%	51	33.1%	57	37.0%	8	5.2%	6	3.9%	10	6.5%	154	100.0%
	80代以上	18	21.7%	24	28.9%	29	34.9%	1	1.2%	1	1.2%	10	12.0%	83	100.0%
	無回答	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	60.0%	5	100.0%
合計	67	8.6%	220	28.2%	399	51.1%	41	5.2%	17	2.2%	37	4.7%	781	100.0%	

※無回答以外について、合計平均を5%ポイント以上上回るものを網掛けの太字、5%ポイント以上下回るものを網掛けの白抜きで示しています。

オ 基本目標③「豊かな自然あふれる地域環境を守り、安心して安全に暮らせるまちづくり」に対する意見など

- ・交差点の時差式など活用して、無理な右折などがないようにしてほしい。(男.30 歳代.森上)
- ・市民が自然を守る活動、まちづくりに参加したほうが良い。(女.50 歳代.仁礼・峰の原)
- ・高齢者の電動四輪車が増えているが、歩道が凸凹の場所がまだ多く、歩行者も危険が多い。(男.60 歳代.高甫)
- ・自然と環境の保全、自然の大切さを見直し、教育に生かして若い人を定着させることが大事。(男.60 歳代.高甫)
- ・ユニバーサルデザインがまだまだ遅れていると感じる。特に歩道などは子ども、高齢者だけでなく車椅子利用者、妊婦さんもいる。どんな状態の人でも対応できる歩道は観光客にもやさしいまちづくりになると思う。(女.40 歳代.日滝)
- ・道幅の狭い箇所が多く、とても安心して安全に暮らせる街ではない。(市の方には再三お願いしているが…) (男.40 歳代.日滝)
- ・外灯が少ない上に歩道が整備されていない。市役所まで駅からベビーカーを使うのが大変だった。駅からメセナホールや臥竜公園へ行った時は後悔した。(女.40 歳代.小山)
- ・最近、ウォーキングする人が増えている。安心・安全に歩けるような歩道を作ってほしい。(女.60 歳代.仁礼・峰の原)
- ・省エネ、リサイクル活動に対する意識の向上など、市民がもっと意識して行動するような活動を進めてほしい。(男.30 歳代.須坂)
- ・須坂は自然に恵まれているが、街灯が非常に少なく、夜は不安である。(男.60 歳代.小山)
- ・車のマナーが悪く子どもたちに何かあったらと思う時がある。(男.30 歳代.旭ヶ丘)
- ・通学路に安全な歩道が設置されていなく、都市計画・道路の整備も中途半端。(男.40 歳代.須坂)
- ・坂道の多い狭い道では、誰もが危険を感じる。歩道の確保をぜひ実現したい。雪片付けなどのボランティアポイント制度なども必要だと思う。(男.60 歳代.小山)
- ・市が保有する防災備蓄品を充実させてほしい。毛布の数など少ないと思ったから。(女.40 歳代.日野)
- ・高齢化と一人住まいが増え、荒れた家庭や片づけられない状態など目立つようになってきたため、不安になる。(女.60 歳代.小山)
- ・町会の避難所に行っても、なにも備品がなく、軽いケガの手当てもできない。3 日位の備蓄品は準備してほしい。(女.70 歳代.小山)
- ・高齢者世帯が多く、地域の安全防犯パトロール等に努めてほしい。(女.80 歳代以上.須坂)
- ・地盤(地震・土砂崩れ)の調査で、もっとも安全と思える場所への避難所の設置、自然を生かした環境づくり。(女.30 歳代.仁礼・峰の原)
- ・市のシンボルでもある須坂市動物園や臥竜公園の整備と活用を進め、素晴らしい公園をもっとアピールしてほしい。(男.40 歳代.小山)
- ・歩道整備は遅れている。自転車と歩行者の住み分けもできていない。道路整備も計画的に進んでおらず使いづらい道が多くある。(男.40 歳代.仁礼・峰の原)

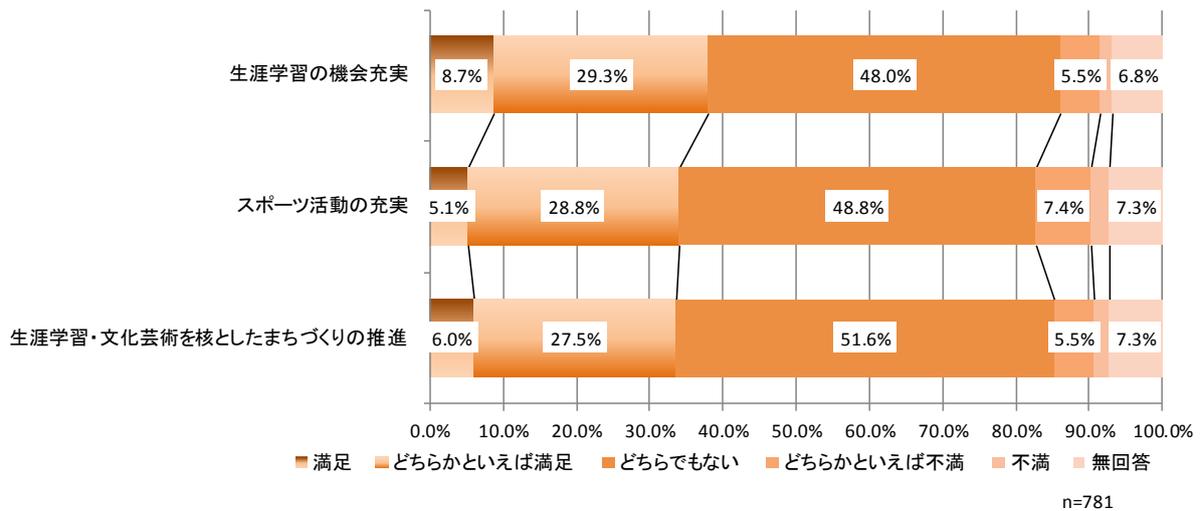
- ・歩道にガードレールをつくってほしい。木製のガードレールができるといいと思う。「歩ける須坂市」ができるといい。(女.40 歳代.小山)
- ・他の市町村に比べて落ち着いて利用できる公衆トイレが少ないように感じる。美しい公衆トイレの設置を。(女.70 歳代.未記入)
- ・須坂市のマレット場には県内外から、たくさん来ているが百々川コースにはトイレが少なく困る時がある。ウォーキングをしても同じ。(男.70 歳代.森上)
- ・臥竜山の桜、米子の紅葉、山田温泉紅葉、北信五岳、遠くは北アルプス等々、自然に恵まれている。これらを生かして観光に力を入れてほしい。(女.70 歳代.小山)
- ・現在の防災ラジオ、有線放送などの音量は、高齢者と聴覚者が聞こえにくいため、電波の強化が必要。(モバイル、自宅向け電子放送、公園、学校など)(男.30 歳代.井上)
- ・犯罪の抑制に防犯カメラの設置が必要。マイバック推進。(女.60 歳代.仁礼・峰の原)
- ・公民館のバリアフリーと駐車場の整備。(今の場所では困難か) 小さな箱ものが分散しており、交通の便など加味して中心部に活性化を。(女.70 歳代.豊洲)
- ・窓を開けたり外に出ても、防災行政無線の音声が何を言っているのか全く聞こえない。(男.40 歳代.日野)

基本目標④「多様な文化を学び育て、交流する創造的なまちづくり」に対する評価など

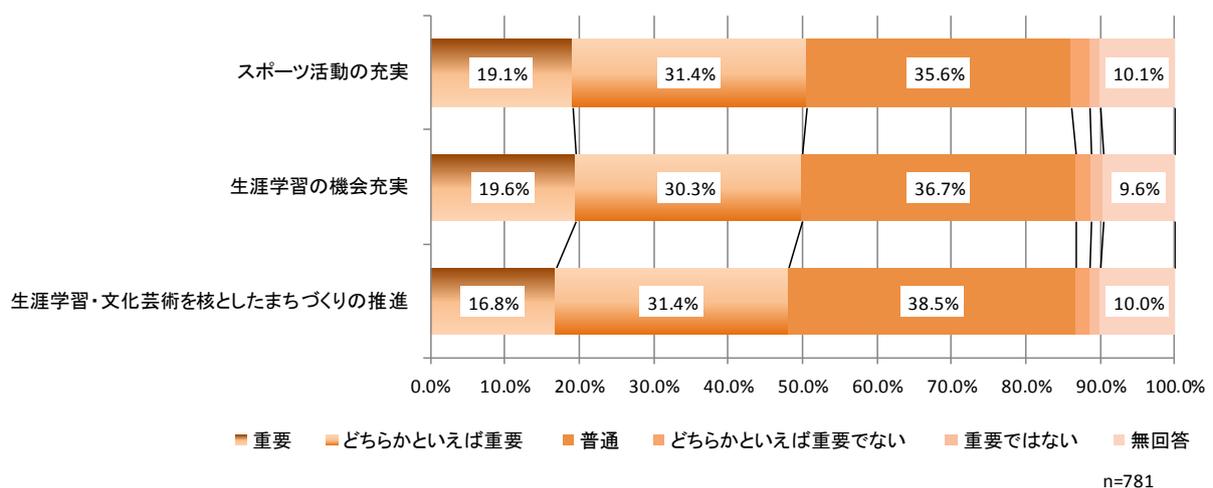
満足度をみると、「満足」、「どちらかといえば満足」を合計した割合が最も高いのは「生涯学習の機会充実」で38.0%となっている。次いで、「スポーツ活動の充実」(33.9%)、「生涯学習・文化芸術を核としたまちづくりの推進」(33.5%)の順となっている。

重要度をみると、「重要」、「どちらかといえば重要」を合計した割合は「スポーツ活動の充実」、「生涯学習の機会充実」で5割程であった。

ア 満足度



イ 重要度

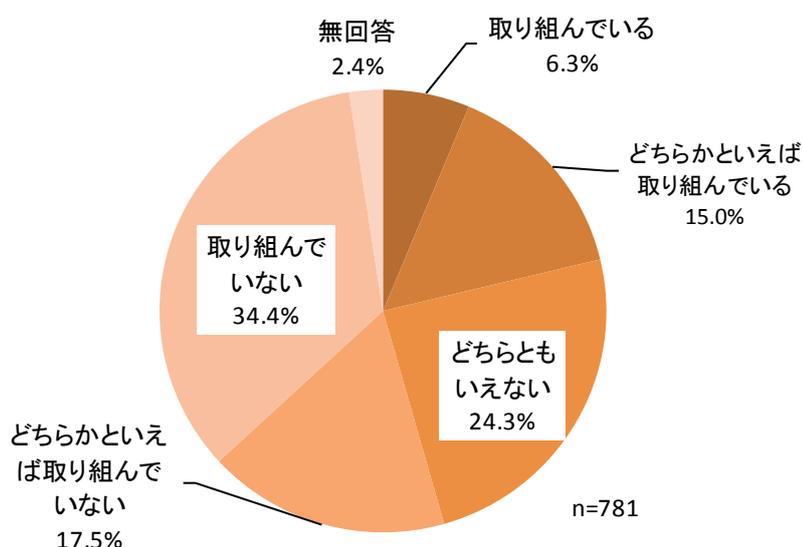


ウ 公民館などにおける自主学習の取組状況

公民館などにおける自主学習の取組状況をみると、「取り組んでいる」、「どちらかといえば取り組んでいる」を合計した割合が 21.3%となっている。一方、「取り組んでいない」、「どちらかといえば取り組んでいない」は 51.9%と半数を占めている。

年代別にみると、70代、80代以上は取り組んでいる傾向が窺える。一方、30代、40代では取組が進んでいないことが窺える。

	回答数	割合
取り組んでいる	49	6.3%
どちらかといえば取り組んでいる	117	15.0%
どちらともいえない	190	24.3%
どちらかといえば取り組んでいない	137	17.5%
取り組んでいない	269	34.4%
無回答	19	2.4%
計	781	100.0%



< 男女別、年代別の内訳 >

		取り組んでいる	割合	どちらかといえば取り組んでいる	割合	どちらともいえない	割合	どちらかといえば取り組んでいない	割合	取り組んでいない	割合	無回答	割合	合計	割合
性別	男性	18	5.0%	51	14.2%	84	23.3%	71	19.7%	126	35.0%	10	2.8%	360	100.0%
	女性	31	7.5%	66	15.9%	104	25.0%	66	15.9%	143	34.4%	6	1.4%	416	100.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	2	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	60.0%	5	100.0%
	合計	49	6.3%	117	15.0%	190	24.3%	137	17.5%	269	34.4%	19	2.4%	781	100.0%
年代	20代	0	0.0%	5	13.9%	13	36.1%	4	11.1%	14	38.9%	0	0.0%	36	100.0%
	30代	4	5.8%	8	11.6%	14	20.3%	12	17.4%	31	44.9%	0	0.0%	69	100.0%
	40代	6	4.8%	17	13.7%	26	21.0%	22	17.7%	52	41.9%	1	0.8%	124	100.0%
	50代	3	2.7%	21	19.1%	25	22.7%	18	16.4%	41	37.3%	2	1.8%	110	100.0%
	60代	13	6.5%	25	12.5%	50	25.0%	46	23.0%	63	31.5%	3	1.5%	200	100.0%
	70代	15	9.7%	28	18.2%	41	26.6%	25	16.2%	42	27.3%	3	1.9%	154	100.0%
	80代以上	8	9.6%	13	15.7%	19	22.9%	10	12.0%	26	31.3%	7	8.4%	83	100.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	2	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	60.0%	5	100.0%
	合計	49	6.3%	117	15.0%	190	24.3%	137	17.5%	269	34.4%	19	2.4%	781	100.0%

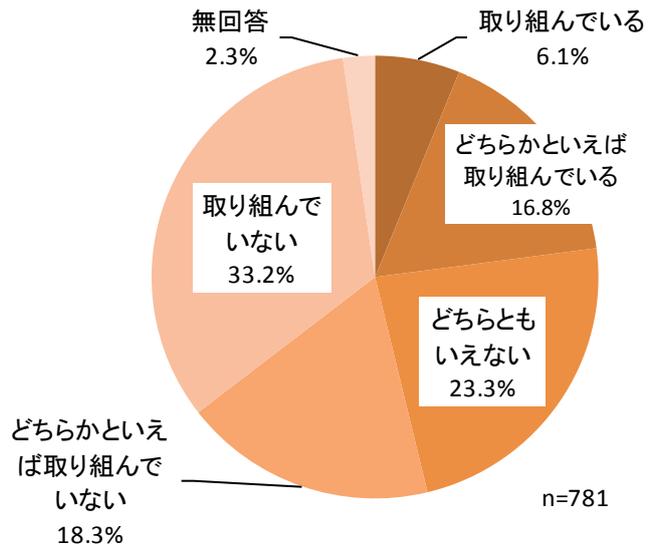
※無回答以外について、合計平均を5%ポイント以上上回るものを網掛けの太字、5%ポイント以上下回るものを網掛けの白抜きで示しています。

エ 生涯学習や文化芸術の活動状況

生涯学習や文化芸術の活動状況を見ると、「取り組んでいる」、「どちらかといえば取り組んでいる」を合計した割合は 22.9%となっている。一方、「取り組んでいない」、「どちらかといえば取り組んでいない」は 5 割を超えている。

年代別にみると、70 代、80 代以上は「取り組んでいる」、「どちらかといえば取り組んでいる」と回答する割合が高くなっている。一方、20 代、30 代、40 代では「取り組んでいない」と回答する割合が高くなっている。

n=781		
	回答数	割合
取り組んでいる	48	6.1%
どちらかといえば取り組んでいる	131	16.8%
どちらともいえない	182	23.3%
どちらかといえば取り組んでいない	143	18.3%
取り組んでいない	259	33.2%
無回答	18	2.3%
計	781	100.0%



< 男女別、年代別の内訳 >

	性別	取り組んでいる		どちらかといえば取り組んでいる		どちらともいえない		どちらかといえば取り組んでいない		取り組んでいない		無回答		合計	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
性別	男性	18	5.0%	58	16.1%	85	23.6%	68	18.9%	122	33.9%	9	2.5%	360	100.0%
	女性	30	7.2%	73	17.5%	95	22.8%	75	18.0%	137	32.9%	6	1.4%	416	100.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	2	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	60.0%	5	100.0%
	合計	48	6.1%	131	16.8%	182	23.3%	143	18.3%	259	33.2%	18	2.3%	781	100.0%
年代	20代	0	0.0%	3	8.3%	9	25.0%	7	19.4%	17	47.2%	0	0.0%	36	100.0%
	30代	1	1.4%	8	11.6%	14	20.3%	10	14.5%	36	52.2%	0	0.0%	69	100.0%
	40代	7	5.6%	13	10.5%	30	24.2%	20	16.1%	53	42.7%	1	0.8%	124	100.0%
	50代	3	2.7%	16	14.5%	33	30.0%	19	17.3%	38	34.5%	1	0.9%	110	100.0%
	60代	13	6.5%	32	16.0%	46	23.0%	50	25.0%	56	28.0%	3	1.5%	200	100.0%
	70代	11	7.1%	38	24.7%	36	23.4%	28	18.2%	38	24.7%	3	1.9%	154	100.0%
	80代以上	13	15.7%	21	25.3%	12	14.5%	9	10.8%	21	25.3%	7	8.4%	83	100.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	2	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	60.0%	5	100.0%
	合計	48	6.1%	131	16.8%	182	23.3%	143	18.3%	259	33.2%	18	2.3%	781	100.0%

※無回答以外について、合計平均を 5%ポイント以上上回るものを網掛けの太字、5%ポイント以上下回るものを網掛けの白抜きで示しています。

オ 日頃からのスポーツへの取組状況

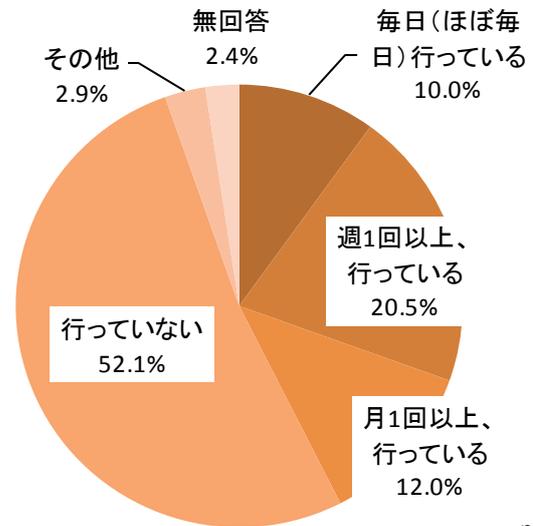
日頃からのスポーツへの取組状況を見ると、「毎日（ほぼ毎日）行っている」と回答した割合は1割にとどまっている。また、「週1回以上、行っている」が2割となっている。一方、5割を超える市民が「行っていない」と回答している。

「その他」の回答として、「ウォーキングを毎日行っている」、「ジョギング」、「ラジオ体操」、「ゴルフ」、「犬の散歩」などが挙げられている。

男女別にみると、女性が男性に比べ「行っていない」と回答する割合は高くなっている。

年代別にみると、70代は「毎日（ほぼ毎日）行っている」と回答する割合が最も高くなっている。一方、30代では回答する割合が最も低くなっている。全体として、年代が下がるとスポーツを行っていない傾向があるといえる。

n=781		
	回答数	割合
毎日（ほぼ毎日）行っている	78	10.0%
週1回以上、行っている	160	20.5%
月1回以上、行っている	94	12.0%
行っていない	407	52.1%
その他	23	2.9%
無回答	19	2.4%
計	781	100.0%



< 男女別、年代別の内訳 >

n=781

	性別	年代	毎日（ほぼ毎日）行っている	割合	週1回以上行っている	割合	月1回以上行っている	割合	行っていない	割合	その他	割合	無回答	割合	合計	割合
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
性別	男性		40	11.1%	88	24.4%	53	14.7%	160	44.4%	11	3.1%	8	2.2%	360	100.0%
	女性		37	8.9%	72	17.3%	41	9.9%	246	59.1%	12	2.9%	8	1.9%	416	100.0%
	無回答		1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	3	60.0%	5	100.0%
	合計		78	10.0%	160	20.5%	94	12.0%	407	52.1%	23	2.9%	19	2.4%	781	100.0%
年代	20代		0	0.0%	8	22.2%	9	25.0%	19	52.8%	0	0.0%	0	0.0%	36	100.0%
	30代		3	4.3%	11	15.9%	13	18.8%	42	60.9%	0	0.0%	0	0.0%	69	100.0%
	40代		8	6.5%	25	20.2%	13	10.5%	75	60.5%	2	1.6%	1	0.8%	124	100.0%
	50代		7	6.4%	23	20.9%	15	13.6%	63	57.3%	1	0.9%	1	0.9%	110	100.0%
	60代		23	11.5%	47	23.5%	26	13.0%	92	46.0%	9	4.5%	3	1.5%	200	100.0%
	70代		25	16.2%	35	22.7%	9	5.8%	75	48.7%	7	4.5%	3	1.9%	154	100.0%
	80代以上		11	13.3%	11	13.3%	9	10.8%	40	48.2%	4	4.8%	8	9.6%	83	100.0%
	無回答		1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	3	60.0%	5	100.0%
合計		78	10.0%	160	20.5%	94	12.0%	407	52.1%	23	2.9%	19	2.4%	781	100.0%	

※無回答以外について、合計平均を5%ポイント以上上回るものを網掛けの太字、5%ポイント以上下回るものを網掛けの白抜きで示しています。

カ 基本目標④「多様な文化を学び育て、交流する創造的なまちづくり」に対する意見など

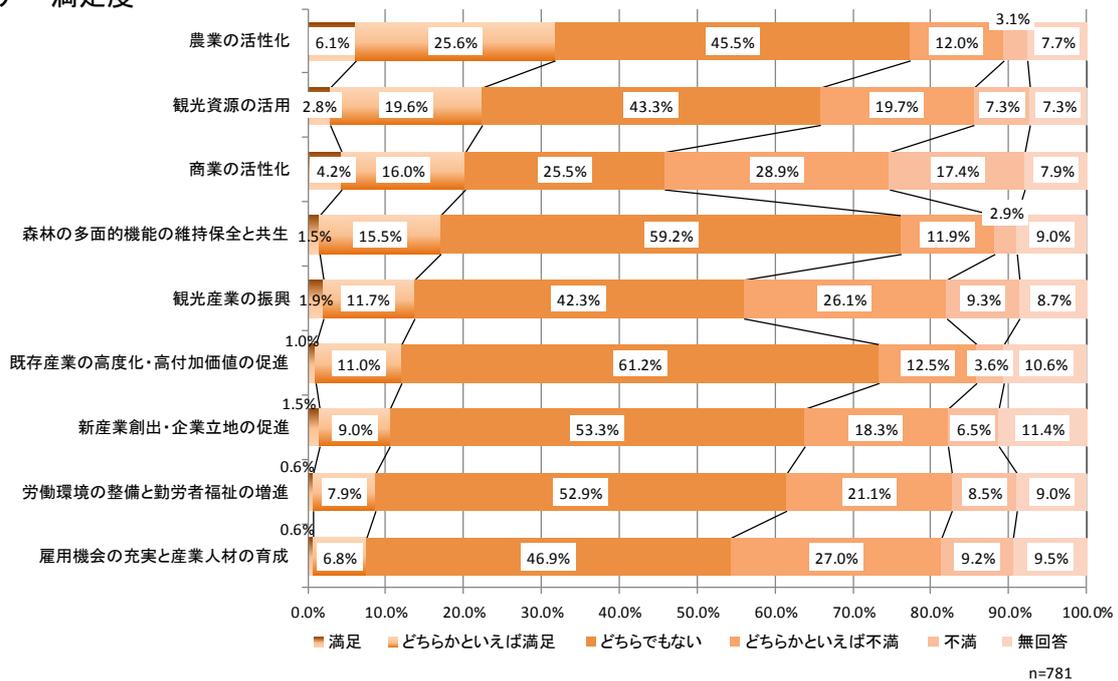
- ・まだまだ市民は文化や生涯学習について理解していないのでは。(女.50 歳代.仁礼・峰の原)
- ・地域独自の文化を地道に育て、継承していくことが基本。(男.60 歳代.高甫)
- ・この目標は必要ないと思う。この予算を福祉など他の方面にまわすべきだ。(男.40 歳代.日滝)
- ・やりたい気持ちはあるが、平日夜は子ども優先。子育て中の会社員には利用できない。(女.40 歳代.小山)
- ・広いスペースで多機能の利用しやすい図書館があれば学習機会が拡大するのではないか。(男.60 歳代.高甫)
- ・子どもがスポーツに親しめるような活動を増やしてほしいと思う。(女.40 歳代.日滝)
- ・須坂にはメセナホールがあるので、メセナホールに行けば何かを学べるようになればいいと思う。(女.60 歳代.日滝)
- ・「広報すざか」をもっと幅広い年齢層で見えるような工夫が必要ではないかと思う。若い世代はきっと読んでいないと思う。(女.20 歳代.仁礼・峰の原)
- ・箱物の建設ではないものにしてほしい。既存の建物や人的資源を有効活用してほしい。(女.40 歳代.日野)
- ・他市町村との交流をもっと広げていくことが市の発展につながると思う。(男.60 歳代.豊洲)
- ・創造の家は 60 代や 70 代も利用させてほしい。青年の家は年齢制限があり、参加したいスポーツがあっても利用できない。ヨガ、エアロビ等の教室があるとうれしい。(女.40 歳代.小山)
- ・図書館の充実してほしい。特に施設、ハード面が不満。この規模では小さいし、本をゆっくり読める環境ではなく、とても残念。(女.40 歳代.日滝)
- ・「八丁鎧塚古墳」のように市内に埋もれている文化財を取り上げて広く発信していく努力が足りないように思う。(男.60 歳代.井上)
- ・スポーツ施設の充実で子どもが体を動かせる場所の整備をもっと行ってほしい。(男.40 歳代.日野)
- ・市民が歴史文化芸術などにふれあえる施設の充実を図ってほしい。(例：蚕糸博物館、美術館、鉄道博物館、植物園等の開設、図書館の充実) など。(男.60 歳代.須坂)
- ・メセナホールの活性化。高齢者が行きたくなる企画をお願いしたい。(女.40 歳代.井上)
- ・須坂市は臥竜山、動物園があるのに上手く生かしたイベントが少ないと感じている。(女.70 歳代.高甫)
- ・高山村の YOU 遊ランドのようなプール・ジム・温泉の一体化した施設が須坂にもあればと思う。(男.40 歳代.日滝)
- ・子ども、大人含めて興味関心を引くような活動内容、広報の仕方を考えた方がいい。指導者などのリーダー教育も必要。(男.30 歳代.小山)
- ・子どもを通して須坂の町の文化や交流をすることがあり子どもたちにとってもいろいろな体験(草履を作ったり)ができて良かった。お年寄りと接する機会も少ないので良いと思う。(女.40 歳代.井上)

基本目標⑤「みんなの活力があふれるまちづくり」に対する評価など

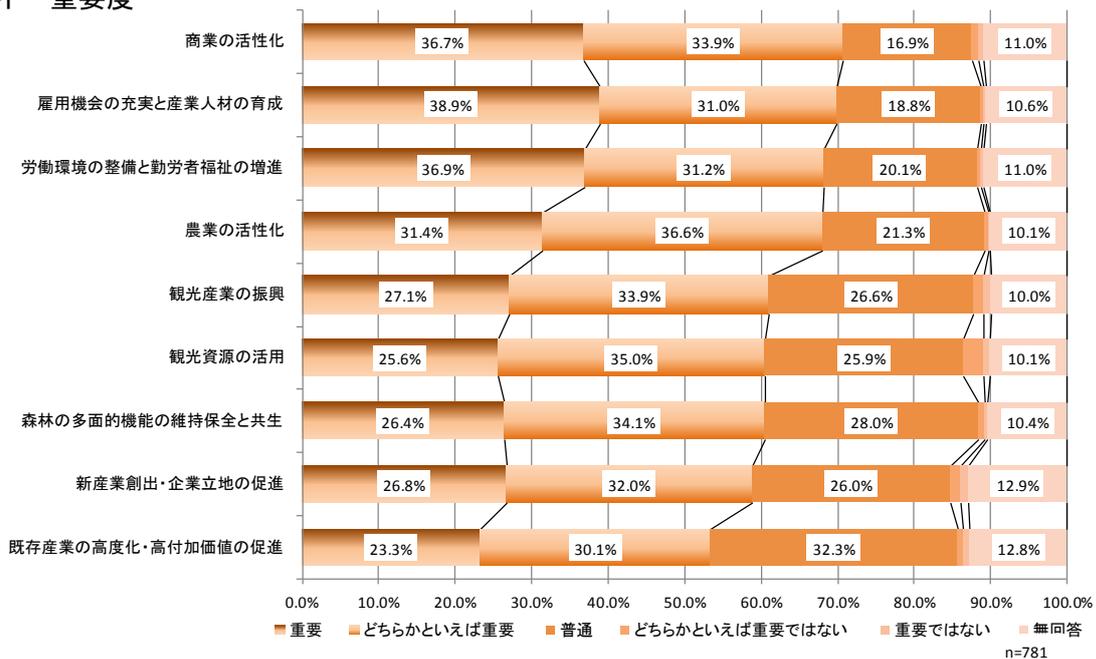
満足度をみると、「満足」、「どちらかといえば満足」を合計した割合が最も高いのは、「農業の活性化」で31.7%であった。一方、「雇用機会の充実と産業人材の育成」(7.4%)、「労働環境の整備と勤労者福祉の増進」(8.5%)は、いずれも1割を下回っている。全体的に満足度は低い傾向にある。

重要度をみると、「重要」、「どちらかといえば重要」を合計した割合が最も高いのは、「商業の活性化」で70.6%となっている。次いで、「雇用機会の充実と産業人材の育成」(69.9%)、「労働環境の整備と勤労者福祉の増進」(68.1%)、「農業の活性化」(68.0%)の順となっている。

ア 満足度



イ 重要度

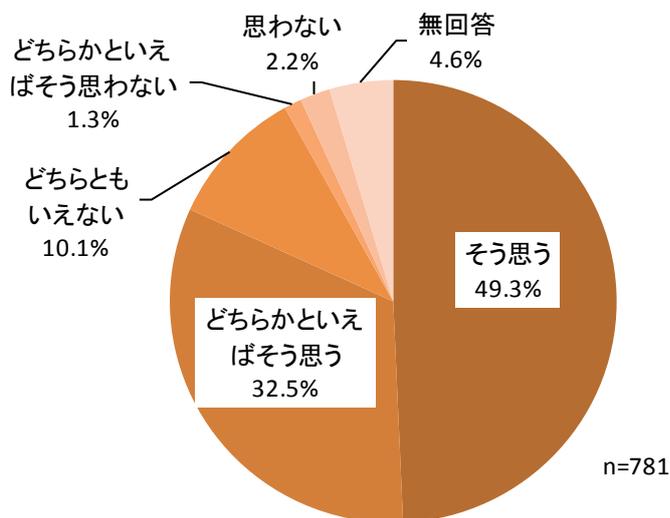


ウ 市内で生産された農産物を市外の方におすすめしたいかと思うか

市内で生産された農産物を市外の方におすすめしたいか尋ねたところ、5割近くが「そう思う」と回答している。「どちらかといえばそう思う」を合計すると8割を超える結果となっている。

年代別にみると、40代は「そう思う」と回答する割合が最も高くなっている。一方、50代が最も低い結果となっている。

	回答数	割合
そう思う	385	49.3%
どちらかといえばそう思う	254	32.5%
どちらともいえない	79	10.1%
どちらかといえばそう思わない	10	1.3%
思わない	17	2.2%
無回答	36	4.6%
計	781	100.0%



< 男女別、年代別の内訳 >

		そう思う	割合	どちらかといえばそう思う	割合	どちらともいえない	割合	どちらかといえばそう思わない	割合	思わない	割合	無回答	割合	合計	割合
性別	男性	167	46.4%	122	33.9%	45	12.5%	3	0.8%	10	2.8%	13	3.6%	360	100.0%
	女性	218	52.4%	131	31.5%	34	8.2%	7	1.7%	7	1.7%	19	4.6%	416	100.0%
	無回答	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	80.0%	5	100.0%
	合計	385	49.3%	254	32.5%	79	10.1%	10	1.3%	17	2.2%	36	4.6%	781	100.0%
年代	20代	16	44.4%	14	38.9%	5	13.9%	1	2.8%	0	0.0%	0	0.0%	36	100.0%
	30代	34	49.3%	22	31.9%	8	11.6%	3	4.3%	2	2.9%	0	0.0%	69	100.0%
	40代	68	54.8%	33	26.6%	20	16.1%	0	0.0%	3	2.4%	0	0.0%	124	100.0%
	50代	44	40.0%	48	43.6%	8	7.3%	2	1.8%	3	2.7%	5	4.5%	110	100.0%
	60代	101	50.5%	65	32.5%	23	11.5%	1	0.5%	3	1.5%	7	3.5%	200	100.0%
	70代	83	53.9%	49	31.8%	10	6.5%	3	1.9%	4	2.6%	5	3.2%	154	100.0%
	80代以上	39	47.0%	22	26.5%	5	6.0%	0	0.0%	2	2.4%	15	18.1%	83	100.0%
	無回答	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	80.0%	5	100.0%
合計	385	49.3%	254	32.5%	79	10.1%	10	1.3%	17	2.2%	36	4.6%	781	100.0%	

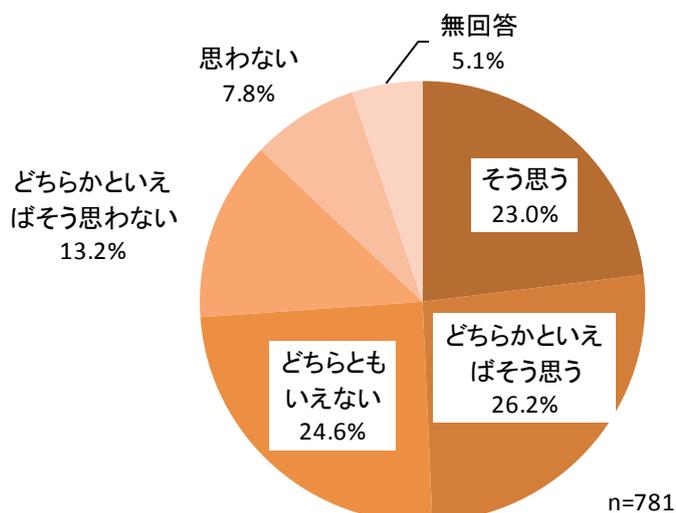
※無回答以外について、合計平均を5%ポイント以上上回るものを網掛けの太字、5%ポイント以上下回るものを網掛けの白抜きで示しています。

エ 市外の方に須坂市を観光地としておすすめしたいと思うか

市外の方に須坂市を観光地としておすすめしたいと思うか尋ねたところ、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合計した割合は 46.2%となっている。一方、「思わない」、「どちらかといえばそう思わない」は 21.0%であった。

年代別にみると、70代、80代以上は「そう思う」と回答する割合が高くなっている。

	回答数	割合
そう思う	180	23.0%
どちらかといえばそう思う	205	26.2%
どちらともいえない	192	24.6%
どちらかといえばそう思わない	103	13.2%
思わない	61	7.8%
無回答	40	5.1%
計	781	100.0%



< 男女別、年代別の内訳 >

		そう思う	割合	どちらかといえばそう思う	割合	どちらともいえない	割合	どちらかといえばそう思わない	割合	思わない	割合	無回答	割合	合計	割合
性別	男性	90	25.0%	89	24.7%	90	25.0%	49	13.6%	30	8.3%	12	3.3%	360	100.0%
	女性	90	21.6%	116	27.9%	101	24.3%	54	13.0%	31	7.5%	24	5.8%	416	100.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	80.0%	5	100.0%
	合計	180	23.0%	205	26.2%	192	24.6%	103	13.2%	61	7.8%	40	5.1%	781	100.0%
年代	20代	6	16.7%	7	19.4%	6	16.7%	13	36.1%	4	11.1%	0	0.0%	36	100.0%
	30代	16	23.2%	11	15.9%	16	23.2%	13	18.8%	13	18.8%	0	0.0%	69	100.0%
	40代	13	10.5%	28	22.6%	43	34.7%	22	17.7%	17	13.7%	1	0.8%	124	100.0%
	50代	19	17.3%	32	29.1%	31	28.2%	16	14.5%	5	4.5%	7	6.4%	110	100.0%
	60代	45	22.5%	65	32.5%	48	24.0%	23	11.5%	11	5.5%	8	4.0%	200	100.0%
	70代	53	34.4%	44	28.6%	28	18.2%	15	9.7%	9	5.8%	5	3.2%	154	100.0%
	80代以上	28	33.7%	18	21.7%	19	22.9%	1	1.2%	2	2.4%	15	18.1%	83	100.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	80.0%	5	100.0%
合計	180	23.0%	205	26.2%	192	24.6%	103	13.2%	61	7.8%	40	5.1%	781	100.0%	

※無回答以外について、合計平均を5%ポイント以上上回るものを網掛けの太字、5%ポイント以上下回るものを網掛けの白抜きで示しています。

オ 基本目標⑤「みんなの活力があふれるまちづくり」に対する意見など

- ・閉店後ビルや会社、学校などそのまま数年経過したままの施設が目立つ。(男.30 歳代.森上)
- ・クリスマスのイルミネーション(シンガポールのオーチャードロードのような)を市内の人々が通りやすい場所、環境の良い通りで行ったほうが良いのではと思う。(男.60 歳代.高甫)
- ・若い人が意欲を持って取組める農業の再生、地域独自の歴史と産業を長い目で育てる。(男.60 歳代.高甫)
- ・大型ショッピングモールを誘致するなどしてお金が須坂市内で多く流通するようにすればもっと活力のある街になると思う。(男.40 歳代.日滝)
- ・だんだんお店がなくなっていくのは寂しいので空いた店舗などを活用して生かしてほしい。(女.40 歳代.小山)
- ・農産物直売所を設置し、通年販売できるところがほしい。(男.70 歳代.小山)
- ・数十年前の須坂は果樹園が盛んで最高の街だと感じ居住した。今農家の人たちは高齢化が進みぶどう、りんごの木が切られ空地が増えて残念。須坂は最高に美味しい果物の産地であり、ぜひこれを生かしてほしい。(女.70 歳代.豊丘)
- ・須坂の特産品をお土産にしようと思っても1か所でいろいろな商品が手に入らず各お店に行かなくてはならない。シルキーなどに1か所でいろいろな物が買えるとうれしい。(女.50 歳代.仁礼・峰の原)
- ・須坂駅周辺が寂しい。店の充実、駐車場の整備等により活気ある状態になることを期待。(男.40 歳代.森上)
- ・市内道路は迷路で観光者は迷子になる。建物を壊しても幹線整備を行う必要がある。(女.60 歳代.日野)
- ・企業誘致をして若者がしっかり根付く土壌を作してほしい。高齢者も働ける場を確保し長年の技術等を生かせる場所が必要。(女.70 歳代.高甫)
- ・須坂市に買い物をする所がない。長野市や中野市に行ってしまう。須坂の農産物をもっとPRすることが大事。(女.20 歳代.仁礼・峰の原)
- ・農産物や観光地としての魅力を高めていくよりも、長野市のベットタウン化を目指す方が現実的だと思う。(男.40 歳代.小山)
- ・きれいな宿泊施設が須坂にない。友人・知人を須坂に呼んでも宿泊は須坂以外になり、オススメできない。インターネットが使えない宿泊設備では観光地にならない。(男.60 歳代.小山)
- ・人が集まる道の駅をつくる。耕作していない土地に花などを植える。(女.60 歳代.井上)
- ・高齢者ばかりでは活力などは生まれないと思う。子どもたちを含む老若の交流の機会が必要。(男.70 歳代.須坂)
- ・須坂ショッピングセンターを活性化させてほしい。買い物、食事をするカフェなどが少なすぎる。(女.20 歳代.須坂)
- ・市の総合発信力が弱い。近隣の高山村、小布施町に負けている。「キャッチコピー」や「シンボルマーク」がない。須坂百景を選定したがその活用ができていない。(男.60 歳代.井上)
- ・駅前がさびしいのでどうにかしてほしい。塩尻市の「えんぱーく」のような皆が集まれる施

設を建設できないか。(女.30歳代.須坂)

・近隣の市町村と比較すると活気がない。蔵の町としては、これで蔵の町と言えるでしょうか？

(女.60歳代.須坂)

・自然を生かした新産業計画（太陽・水・風）や動物園を充実した産業にする計画。(男.60歳代.森上)

・若者（小・中学生を含む）の声を聞く機会を設ける。須坂市外から通学してくる高校生に「須坂市」について自由に意見・要望を聞いてみてはどうか。(男.60歳代.須坂)

・1か所で用が済ませられる大型ショッピングモールや映画館があれば活性化すると思う。

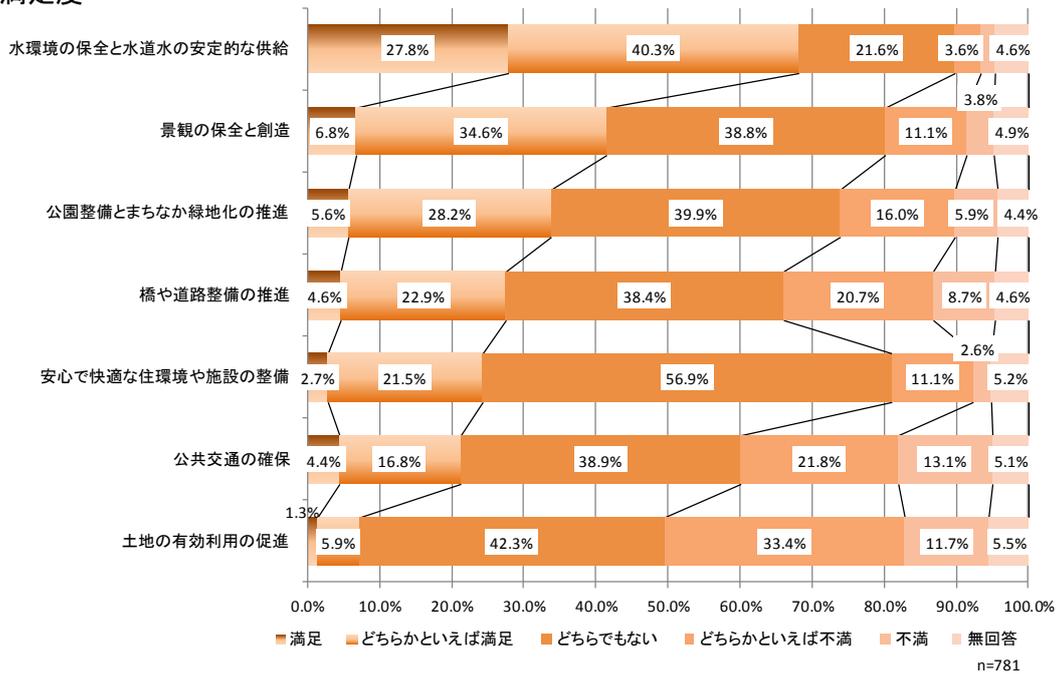
(女.30歳代.須坂)

基本目標⑥「みんなが快適に生活できるまちづくり」に対する評価など

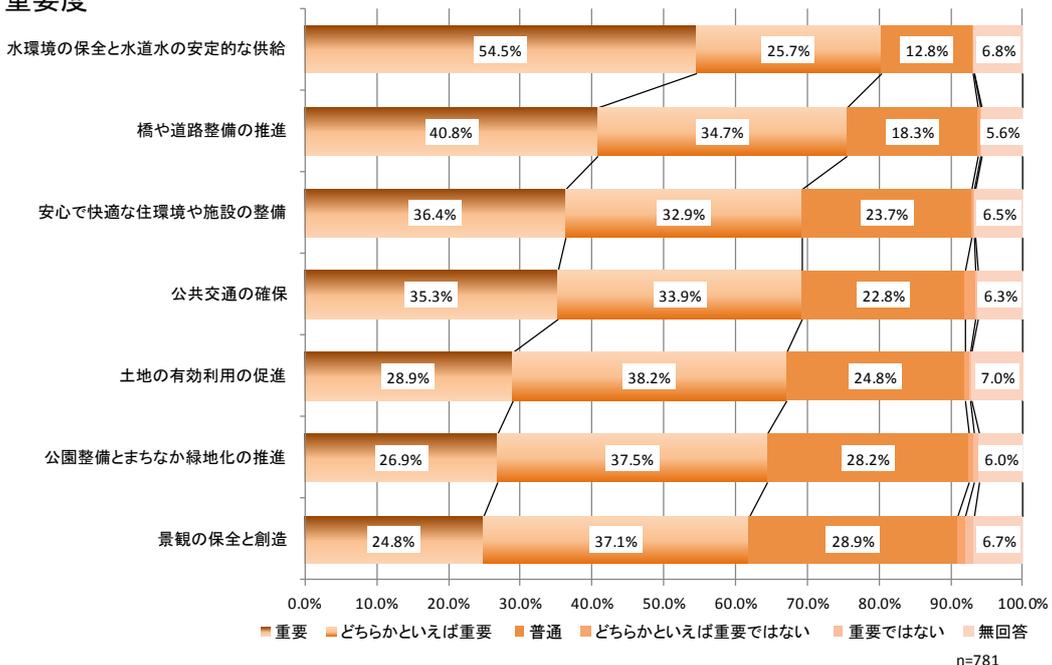
満足度をみると、「満足」、「どちらかといえば満足」を合計した割合が最も高いのは、「水環境の保全と水道水の安定的な供給」で68.1%となっている。一方、最も低いのは「土地の有効利用の促進」で7.2%となっている。

重要度をみると、「重要」、「どちらかといえば重要」を合計した割合が最も高いのは、「水環境の保全と水道水の安定的な供給」で80.2%となっている。次いで、「橋や道路の整備」（75.5%）、「安心で快適な住環境や施設の整備」（69.3%）、「公共交通の整備」（69.2%）の順となっている。

ア 満足度



イ 重要度

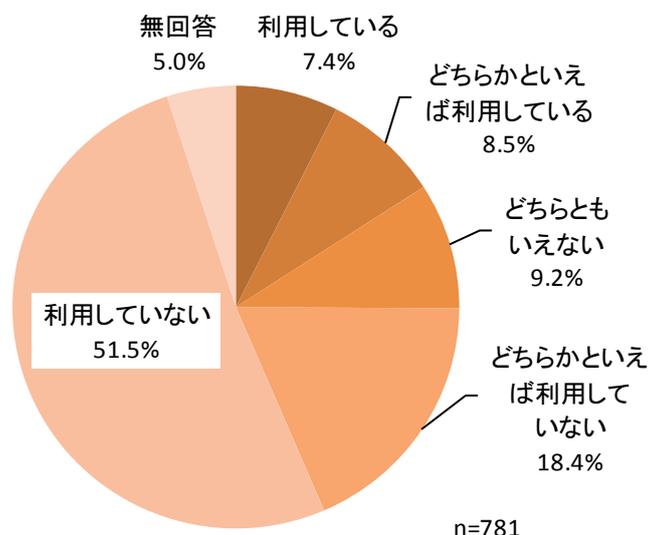


ウ 普段から意識して電車や市民バスなど利用しているか

普段から意識して電車や市民バスなどの利用状況を見ると、「利用している」、「どちらかといえば利用している」を合計した割合は 15.9%と低い結果となっている。一方、「利用していない」と回答した割合は 51.5%となっている。

年代別にみると、30代、40代、50代は「利用していない」と回答する割合が高くなっている。一方、70代、80代以上では電車や市民バスなど利用している傾向が窺える。

n=781		
	回答数	割合
利用している	58	7.4%
どちらかといえば利用している	66	8.5%
どちらともいえない	72	9.2%
どちらかといえば利用していない	144	18.4%
利用していない	402	51.5%
無回答	39	5.0%
計	781	100.0%



< 男女別、年代別の内訳 >

	性別	年代	利用している	割合	どちらかといえば利用している	割合	どちらともいえない	割合	どちらかといえば利用していない	割合	利用していない	割合	無回答	割合	合計	割合
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
性別	男性		15	4.2%	35	9.7%	45	12.5%	72	20.0%	180	50.0%	13	3.6%	360	100.0%
	女性		43	10.3%	31	7.5%	26	6.3%	72	17.3%	221	53.1%	23	5.5%	416	100.0%
	無回答		0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%	3	60.0%	5	100.0%
	合計		58	7.4%	66	8.5%	72	9.2%	144	18.4%	402	51.5%	39	5.0%	781	100.0%
年代	20代		2	5.6%	4	11.1%	5	13.9%	8	22.2%	17	47.2%	0	0.0%	36	100.0%
	30代		3	4.3%	5	7.2%	3	4.3%	8	11.6%	48	69.6%	2	2.9%	69	100.0%
	40代		5	4.0%	7	5.6%	8	6.5%	26	21.0%	78	62.9%	0	0.0%	124	100.0%
	50代		6	5.5%	10	9.1%	9	8.2%	11	10.0%	69	62.7%	5	4.5%	110	100.0%
	60代		12	6.0%	15	7.5%	19	9.5%	41	20.5%	107	53.5%	6	3.0%	200	100.0%
	70代		17	11.0%	17	11.0%	19	12.3%	40	26.0%	52	33.8%	9	5.8%	154	100.0%
	80代以上		13	15.7%	8	9.6%	8	9.6%	10	12.0%	30	36.1%	14	16.9%	83	100.0%
	無回答		0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%	3	60.0%	5	100.0%
合計		58	7.4%	66	8.5%	72	9.2%	144	18.4%	402	51.5%	39	5.0%	781	100.0%	

※無回答以外について、合計平均を5%ポイント以上上回るものを網掛けの太字、5%ポイント以上下回るものを網掛けの白抜きで示しています。

エ 基本目標⑥「みんなが快適に生活できるまちづくり」に対する意見など

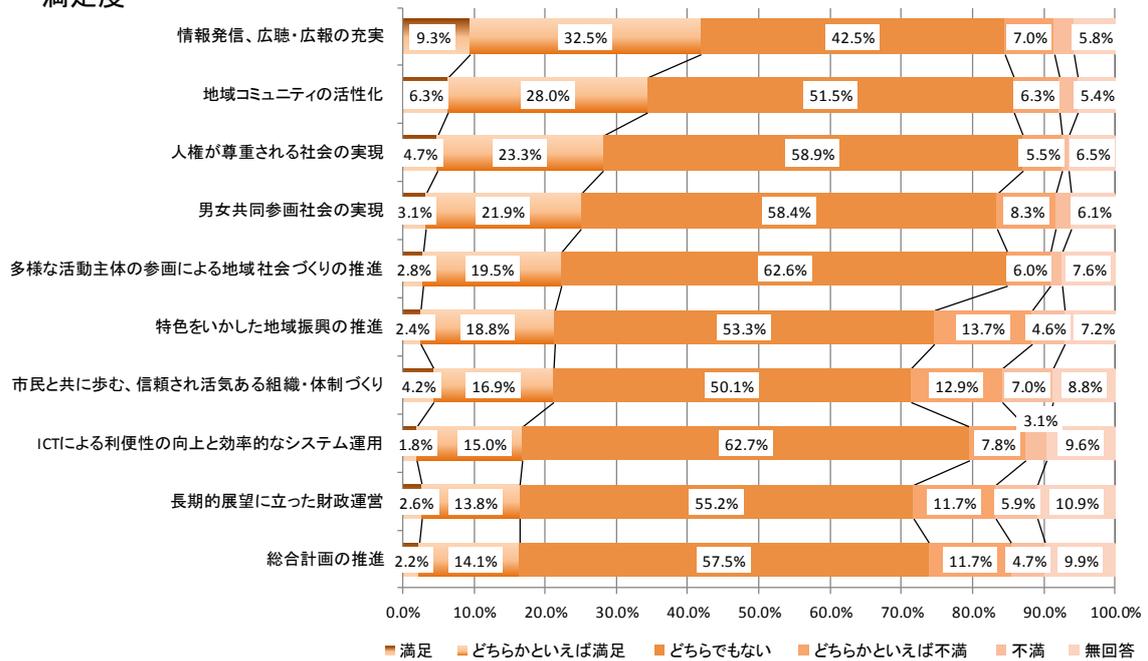
- ・多少便利さを犠牲にしても環境を整え、自然を守ることが望ましい。(男.60 歳代.高甫)
- ・長野市のように、70 歳から市内バス 100 円で乗れるなど、また、もっと多く周遊していたら無理に車で行かなくても買い物も気軽に行けると思う。(女.70 歳代.小山)
- ・年配者や車の運転のできない者はどこへ行くにも不便すぎる。(男.30 歳代.須坂)
- ・車に乗れない私には、移動はタクシー又は自転車しかなく、道の側は(舗装の積み重ねにより)段差があり危険であり、道路整備をお願いしたい。(女.70 歳代.小山)
- ・市民バスの本数を増やす。(高齢者のために)(男.50 歳代.須坂)
- ・仁礼地区に住んでいるが公共交通機関が不便(本数、乗り継ぎ)なため、自家用車に頼っている。(男.60 歳代.仁礼・峰の原)
- ・歩道の段差をなくしてほしい。(女.60 歳代.小山)
- ・長電跡地の活用。バス専用道に作り変えれば普通道路の活用の仕方も変わらず荒れ果てた場所を無くせると思う。(男.40 歳代.仁礼・峰の原)
- ・公共交通機関の運賃が高すぎて利用しにくい。もう少しバスの本数を増やしてもらいたい。(男.40 歳代.日滝)
- ・周囲の市町村に比べると太陽光発電、雨水タンクなどの設置への補助が少ないと思う。(男.60 歳代.日滝)
- ・駅前に広がる中途半端な商業施設は思い切って緑地公園化してみたらどうか。(男.40 歳代.小山)
- ・道路整備は地域によって格差がある気がする。(男.30 歳代.小山)
- ・車の運転のできない高齢者のために乗り合いタクシーが整備されていけば良いと思う。(女.40 歳代.日滝)
- ・駅南交差点(ドコモショップ角)は昔から朝夕大変な混雑が発生している。通学路でもあり早急な改善が必要。(女.50 歳代.森上)
- ・通学路の街灯をもっと増やしてほしい。冬期だけでも良いのでお願いしたい。中学生の女の子が真暗で怖いと思う。(女.30 歳代.日野)

基本目標⑦「みんなが主役のまちづくり」に対する評価など

満足度をみると、「満足」、「どちらかといえば満足」を合計した割合が最も高いのは、「情報発信、広聴・広報の充実」で41.8%となっている。「地域コミュニティの活性化」が34.3%と2番目に高い割合となっている。

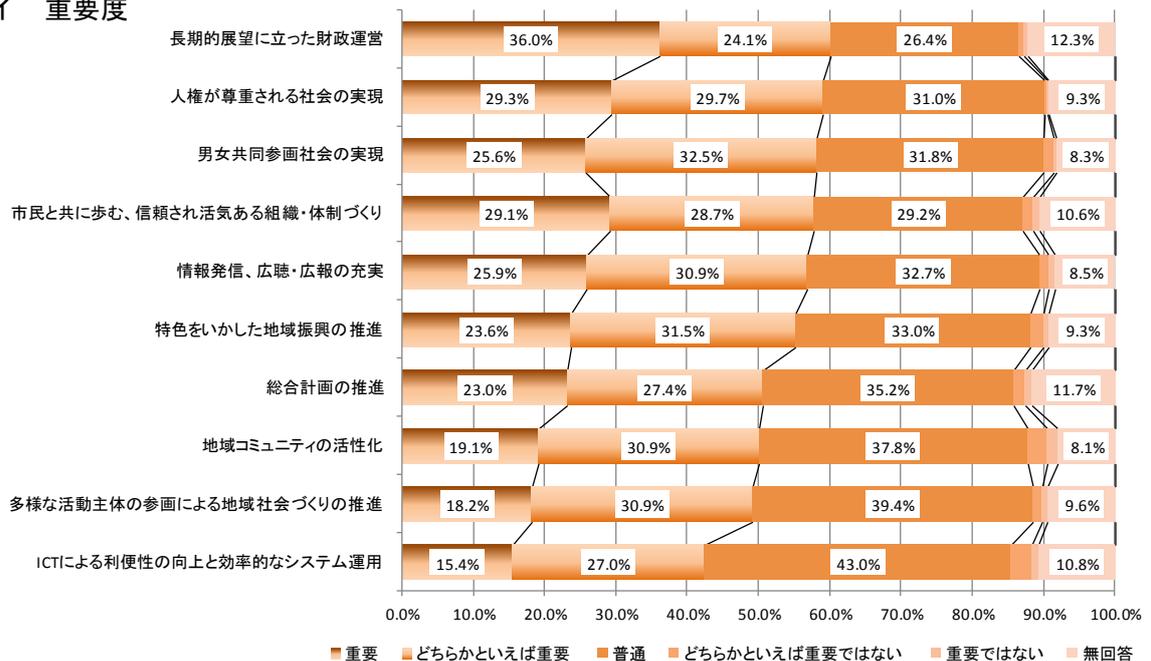
重要度をみると、「重要」、「どちらかといえば重要」を合計した割合が最も高いのは「長期的展望に立った財政運営」で60.1%となっている。次いで、「人権が尊重される社会の実現」(59.0%)、「男女共同参画社会の実現」(58.1%)、「市民と共に歩む、信頼される活気ある組織・体制づくり」(57.8%)の順となっている。

ア 満足度



n=781

イ 重要度



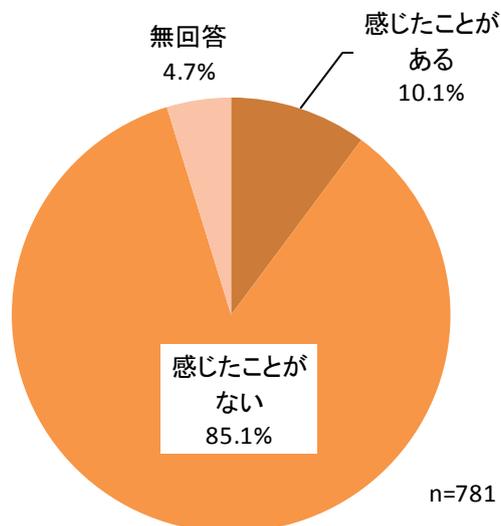
n=781

ウ 人権を侵害されたと感じたことがあるか

人権を侵害されたと感じたことがあるかと尋ねたところ、「感じたことがある」と回答した割合は10.1%となっている。一方、「感じたことがない」は8割を超えている。

男女別にみると、男性が女性に比べ「感じたことがない」と回答する割合が高くなっている。

n=781		
	回答数	割合
感じたことがある	79	10.1%
感じたことがない	665	85.1%
無回答	37	4.7%
計	781	100.0%



< 男女別、年代別の内訳 >

		感じたことがある	割合	感じたことがない	割合	無回答	割合	合計	割合
性別	男性	24	6.7%	327	90.8%	9	2.5%	360	100.0%
	女性	54	13.0%	337	81.0%	25	6.0%	416	100.0%
	無回答	1	20.0%	1	20.0%	3	60.0%	5	100.0%
	合計	79	10.1%	665	85.1%	37	4.7%	781	100.0%
年代	20代	1	2.8%	35	97.2%	0	0.0%	36	100.0%
	30代	5	7.2%	61	88.4%	3	4.3%	69	100.0%
	40代	10	8.1%	111	89.5%	3	2.4%	124	100.0%
	50代	15	13.6%	91	82.7%	4	3.6%	110	100.0%
	60代	21	10.5%	170	85.0%	9	4.5%	200	100.0%
	70代	14	9.1%	135	87.7%	5	3.2%	154	100.0%
	80代以上	12	14.5%	61	73.5%	10	12.0%	83	100.0%
	無回答	1	20.0%	1	20.0%	3	60.0%	5	100.0%
合計	79	10.1%	665	85.1%	37	4.7%	781	100.0%	

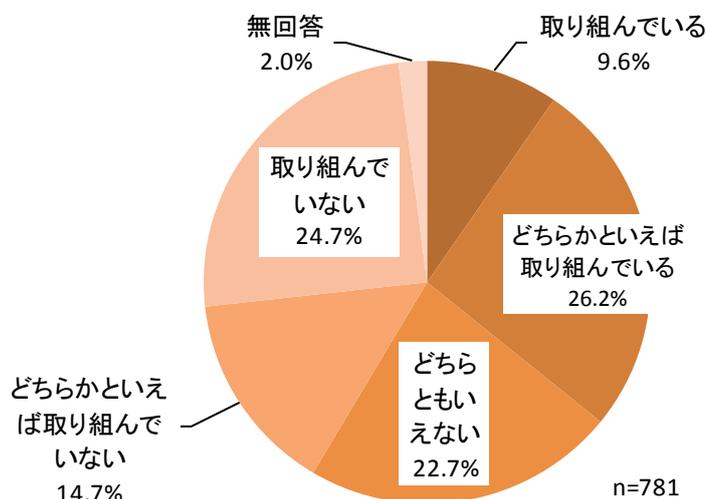
※無回答以外について、合計平均を5%ポイント以上上回るものを網掛けの太字、5%ポイント以上下回るものを網掛けの白抜きで示しています。

エ ボランティア活動などの取組状況

ボランティア活動などの取組状況をみると、「取り組んでいる」が1割程にとどまっており、「どちらかといえば取り組んでいる」を合計しても35.8%にとどまっている。

年代別にみると、30代は「取り組んでいない」と回答する割合が最も高くなっている。30代を中心に若い世代では取組が進んでいないことが窺える。

n=781		
	回答数	割合
取り組んでいる	75	9.6%
どちらかといえば取り組んでいる	205	26.2%
どちらともいえない	177	22.7%
どちらかといえば取り組んでいない	115	14.7%
取り組んでいない	193	24.7%
無回答	16	2.0%
計	781	100.0%



< 男女別、年代別の内訳 >

	性別	取り組んでいる		どちらかといえば取り組んでいる		どちらともいえない		取り組んでいない		無回答		合計	割合		
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合		
性別	男性	39	10.8%	102	28.3%	89	24.7%	52	14.4%	73	20.3%	5	1.4%	360	100.0%
	女性	36	8.7%	102	24.5%	88	21.2%	63	15.1%	119	28.6%	8	1.9%	416	100.0%
	無回答	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	3	60.0%	5	100.0%
	合計	75	9.6%	205	26.2%	177	22.7%	115	14.7%	193	24.7%	16	2.0%	781	100.0%
年代	20代	0	0.0%	6	16.7%	11	30.6%	8	22.2%	10	27.8%	1	2.8%	36	100.0%
	30代	2	2.9%	16	23.2%	12	17.4%	11	15.9%	28	40.6%	0	0.0%	69	100.0%
	40代	11	8.9%	26	21.0%	33	26.6%	23	18.5%	31	25.0%	0	0.0%	124	100.0%
	50代	12	10.9%	37	33.6%	24	21.8%	12	10.9%	24	21.8%	1	0.9%	110	100.0%
	60代	23	11.5%	60	30.0%	46	23.0%	27	13.5%	43	21.5%	1	0.5%	200	100.0%
	70代	21	13.6%	46	29.9%	32	20.8%	23	14.9%	30	19.5%	2	1.3%	154	100.0%
	80代以上	6	7.2%	13	15.7%	19	22.9%	11	13.3%	26	31.3%	8	9.6%	83	100.0%
	無回答	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	3	60.0%	5	100.0%
合計	75	9.6%	205	26.2%	177	22.7%	115	14.7%	193	24.7%	16	2.0%	781	100.0%	

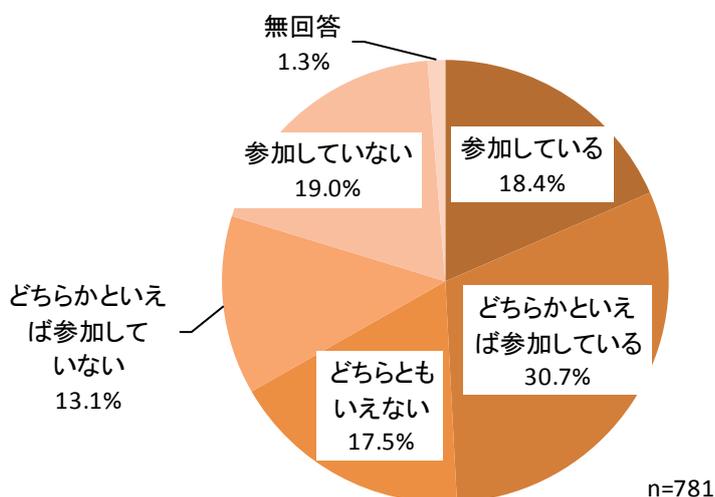
※無回答以外について、合計平均を5%ポイント以上上回るものを網掛けの太字、5%ポイント以上下回るものを網掛けの白抜きで示しています。

オ 自治会活動への取組状況

自治会活動への取組状況をみると、「参加している」、「どちらかといえば参加している」を合計した割合は半数近くとなっている。一方、「参加していない」は約2割となっている。

年代別にみると、70代は「参加している」と回答する割合が最も高くなっている。一方、20代、30代、40代では「参加していない」と回答する割合が高くなっている。

	回答数	割合
参加している	144	18.4%
どちらかといえば参加している	240	30.7%
どちらともいえない	137	17.5%
どちらかといえば参加していない	102	13.1%
参加していない	148	19.0%
無回答	10	1.3%
計	781	100.0%



< 男女別、年代別の内訳 >

		参加している		どちらかといえば参加している		どちらともいえない		どちらかといえば参加していない		参加していない		無回答		合計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
性別	男性	77	21.4%	111	30.8%	69	19.2%	38	10.6%	63	17.5%	2	0.6%	360	100.0%
	女性	67	16.1%	128	30.8%	67	16.1%	64	15.4%	85	20.4%	5	1.2%	416	100.0%
	無回答	0	0.0%	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	60.0%	5	100.0%
	合計	144	18.4%	240	30.7%	137	17.5%	102	13.1%	148	19.0%	10	1.3%	781	100.0%
年代	20代	1	2.8%	3	8.3%	7	19.4%	7	19.4%	18	50.0%	0	0.0%	36	100.0%
	30代	9	13.0%	18	26.1%	10	14.5%	5	7.2%	27	39.1%	0	0.0%	69	100.0%
	40代	23	18.5%	34	27.4%	19	15.3%	17	13.7%	31	25.0%	0	0.0%	124	100.0%
	50代	22	20.0%	45	40.9%	19	17.3%	11	10.0%	12	10.9%	1	0.9%	110	100.0%
	60代	33	16.5%	69	34.5%	40	20.0%	32	16.0%	26	13.0%	0	0.0%	200	100.0%
	70代	43	27.9%	48	31.2%	28	18.2%	20	13.0%	14	9.1%	1	0.6%	154	100.0%
	80代以上	13	15.7%	22	26.5%	13	15.7%	10	12.0%	20	24.1%	5	6.0%	83	100.0%
	無回答	0	0.0%	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	60.0%	5	100.0%
合計	144	18.4%	240	30.7%	137	17.5%	102	13.1%	148	19.0%	10	1.3%	781	100.0%	

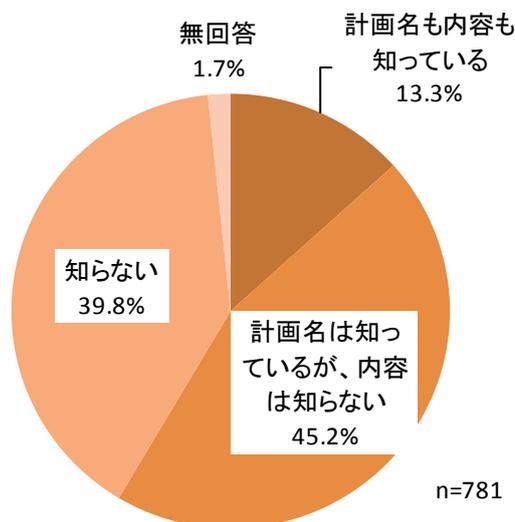
※無回答以外について、合計平均を5%ポイント以上上回るものを網掛けの太字、5%ポイント以上下回るものを網掛けの白抜きで示しています。

カ 「すぎか男女共同参画計画」の認知度

「すぎか男女共同参画計画」の認知度をみると、「計画名も内容も知っている」が13.3%にとどまっている。「計画名は知っているが、内容は知らない」が45.2%であった。一方、「知らない」と回答した割合は約4割となっている。

年代別にみると、30代は「計画名も内容も知っている」と回答する割合が最も高くなっている。一方、20代、30代、40代では「知らない」と回答する割合が高くなっている。

n=781		
	回答数	割合
計画名も内容も知っている	104	13.3%
計画名は知っているが、内容は知らない	353	45.2%
知らない	311	39.8%
無回答	13	1.7%
計	781	100.0%



< 男女別、年代別の内訳 >

		計画名も内容も知っている	割合	知らないが、内容は知っている	割合	知らない	割合	無回答	割合	合計	割合
性別	男性	57	15.8%	155	43.1%	146	40.6%	2	0.6%	360	100.0%
	女性	46	11.1%	198	47.6%	165	39.7%	7	1.7%	416	100.0%
	無回答	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	80.0%	5	100.0%
	合計	104	13.3%	353	45.2%	311	39.8%	13	1.7%	781	100.0%
年代	20代	2	5.6%	9	25.0%	25	69.4%	0	0.0%	36	100.0%
	30代	1	1.4%	22	31.9%	45	65.2%	1	1.4%	69	100.0%
	40代	11	8.9%	56	45.2%	57	46.0%	0	0.0%	124	100.0%
	50代	13	11.8%	54	49.1%	42	38.2%	1	0.9%	110	100.0%
	60代	32	16.0%	98	49.0%	70	35.0%	0	0.0%	200	100.0%
	70代	30	19.5%	78	50.6%	46	29.9%	0	0.0%	154	100.0%
	80代以上	14	16.9%	36	43.4%	26	31.3%	7	8.4%	83	100.0%
	無回答	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	80.0%	5	100.0%
	合計	104	13.3%	353	45.2%	311	39.8%	13	1.7%	781	100.0%

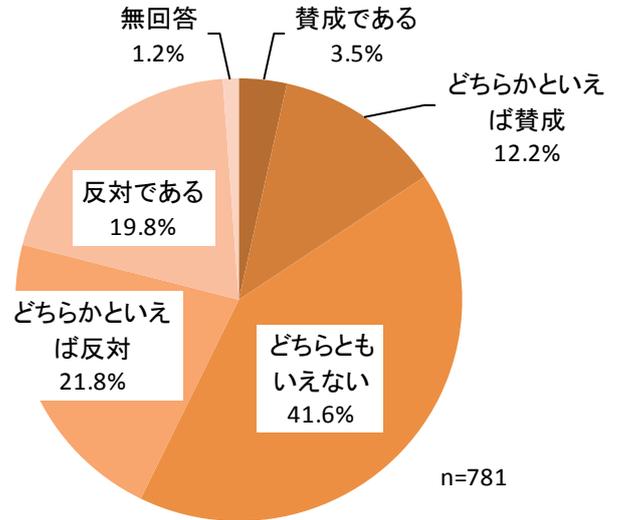
※無回答以外について、合計平均を5%ポイント以上上回るものを網掛けの太字、5%ポイント以上下回るものを網掛けの白抜きで示しています。

キ 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思うか

「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思うか尋ねたところ、「賛成である」、「どちらかといえば賛成」を合計した割合は 15.7%となっている。一方、「反対である」、「どちらかといえば反対」は 4 割程となっている。

年代別にみると、70 代、80 代以上は「どちらかといえば賛成」と回答する割合が高くなっている。一方、20 代では「反対である」と回答する割合が最も高くなっている。

		n=781	
	回答数	割合	
賛成である	27	3.5%	
どちらかといえば賛成	95	12.2%	
どちらともいえない	325	41.6%	
どちらかといえば反対	170	21.8%	
反対である	155	19.8%	
無回答	9	1.2%	
計	781	100.0%	



< 男女別、年代別の内訳 >

	性別	賛成である		どちらかといえば賛成		どちらともいえない		どちらかといえば反対		反対である		無回答		合計	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
性別	男性	17	4.7%	49	13.6%	146	40.6%	85	23.6%	62	17.2%	1	0.3%	360	100.0%
	女性	10	2.4%	45	10.8%	178	42.8%	85	20.4%	93	22.4%	5	1.2%	416	100.0%
	無回答	0	0.0%	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	60.0%	5	100.0%
	合計	27	3.5%	95	12.2%	325	41.6%	170	21.8%	155	19.8%	9	1.2%	781	100.0%
年代	20代	3	8.3%	3	8.3%	11	30.6%	4	11.1%	15	41.7%	0	0.0%	36	100.0%
	30代	1	1.4%	8	11.6%	34	49.3%	12	17.4%	13	18.8%	1	1.4%	69	100.0%
	40代	2	1.6%	12	9.7%	52	41.9%	27	21.8%	31	25.0%	0	0.0%	124	100.0%
	50代	1	0.9%	7	6.4%	52	47.3%	21	19.1%	28	25.5%	1	0.9%	110	100.0%
	60代	8	4.0%	18	9.0%	78	39.0%	57	28.5%	39	19.5%	0	0.0%	200	100.0%
	70代	5	3.2%	28	18.2%	63	40.9%	40	26.0%	18	11.7%	0	0.0%	154	100.0%
	80代以上	7	8.4%	18	21.7%	34	41.0%	9	10.8%	11	13.3%	4	4.8%	83	100.0%
	無回答	0	0.0%	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	60.0%	5	100.0%
合計	27	3.5%	95	12.2%	325	41.6%	170	21.8%	155	19.8%	9	1.2%	781	100.0%	

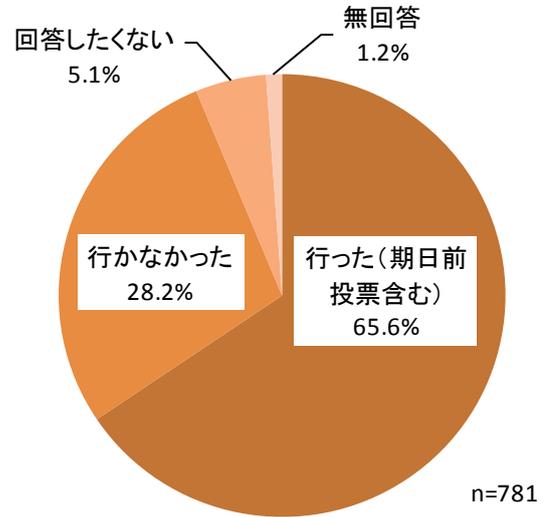
※無回答以外について、合計平均を5%ポイント以上上回るものを網掛けの太字、5%ポイント以上下回るものを網掛けの白抜きで示しています。

ク 平成 26 年 8 月 10 日の県知事選で投票に行きましたか

平成 26 年 8 月の県知事選で投票に行ったか尋ねたところ、6 割を超える市民が「行った（期日前投票含む）」と回答している。一方、「行かなかった」と回答した割合は約 3 割であった。

年代別にみると、70 代は「行った（期日前を含む）」と回答する割合が最も高くなっている。一方、20 代、30 代では「行かなかった」と回答する割合が高い傾向にある。

	回答数	割合
行った(期日前投票含む)	512	65.6%
行かなかった	220	28.2%
回答したくない	40	5.1%
無回答	9	1.2%
計	781	100.0%



< 男女別、年代別の内訳 >

	性別	年代	行った(期日前投票含む)	割合	行かなかった	割合	回答したくない	割合	無回答	割合	合計	割合
			人数		人数		人数		人数		人数	
性別	男性		241	66.9%	97	26.9%	20	5.6%	2	0.6%	360	100.0%
	女性		270	64.9%	123	29.6%	20	4.8%	3	0.7%	416	100.0%
	無回答		1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	80.0%	5	100.0%
	合計		512	65.6%	220	28.2%	40	5.1%	9	1.2%	781	100.0%
年代	20代		20	55.6%	14	38.9%	2	5.6%	0	0.0%	36	100.0%
	30代		38	55.1%	27	39.1%	4	5.8%	0	0.0%	69	100.0%
	40代		79	63.7%	41	33.1%	4	3.2%	0	0.0%	124	100.0%
	50代		67	60.9%	36	32.7%	6	5.5%	1	0.9%	110	100.0%
	60代		135	67.5%	52	26.0%	13	6.5%	0	0.0%	200	100.0%
	70代		114	74.0%	34	22.1%	5	3.2%	1	0.6%	154	100.0%
	80代以上		58	69.9%	16	19.3%	6	7.2%	3	3.6%	83	100.0%
	無回答		1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	80.0%	5	100.0%
合計		512	65.6%	220	28.2%	40	5.1%	9	1.2%	781	100.0%	

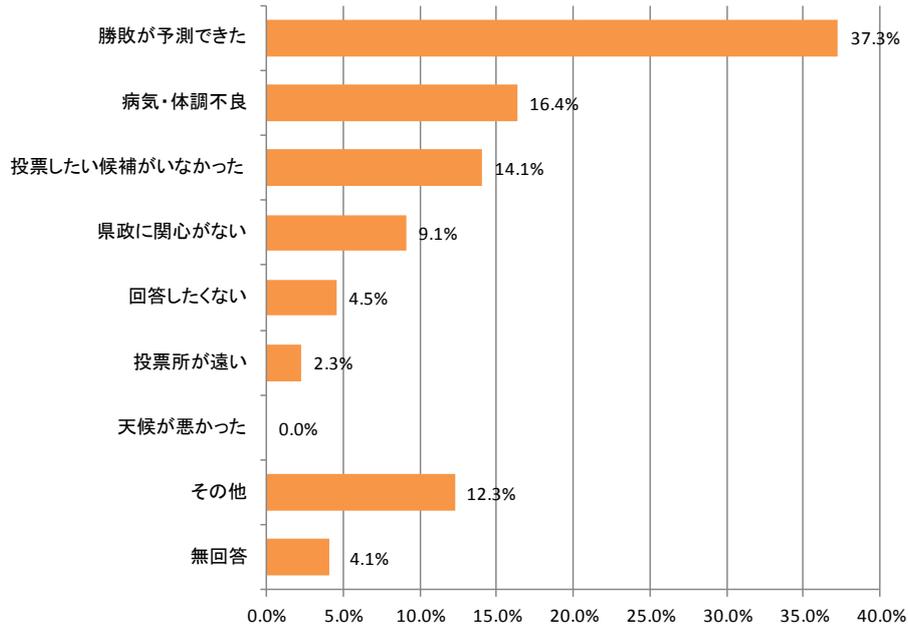
※無回答以外について、合計平均を 5%ポイント以上上回るものを網掛けの太字、5%ポイント以下回るものを網掛けの白抜きで示しています。

ケ 県知事選に行かなかった理由（「行かなかった」と回答した市民の声）

県知事選に行かなかった理由をみると、「勝敗が予測できた」が 37.3%と最も割合が高くなっている。次いで、「病気・体調不良」（16.4%）、「投票したい候補がいなかった」（14.1%）、「県政に関心がない」（9.1%）の順となっている。

「その他」の回答として、「仕事のため投票に行けなかった」、「母の介護のため」などの理由が挙げられている。

年代別にみると、50代、60代、70代は「勝敗が予測できた」と回答する割合が高くなっている。一方、「投票したい候補者がいなかった」では30代、40代で回答する割合が高かった。



< 男女別、年代別の内訳 >

n=220

		勝敗が予測できた	割合	病気・体調不良	割合	投票したい候補者が	割合	天候が悪かった	割合	県政に関心がない	割合	投票所が遠い	割合	その他	割合	回答したくない	割合	無回答	割合	合計	割合
性別	男性	40	41.2%	12	12.4%	13	13.4%	0	0.0%	7	7.2%	2	2.1%	11	11.3%	7	7.2%	5	5.2%	97	100.0%
	女性	42	34.1%	24	19.5%	18	14.6%	0	0.0%	13	10.6%	3	2.4%	16	13.0%	3	2.4%	4	3.3%	123	100.0%
	無回答	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
	合計	82	37.3%	36	16.4%	31	14.1%	0	0.0%	20	9.1%	5	2.3%	27	12.3%	10	4.5%	9	4.1%	220	100.0%
年代	20代	3	21.4%	1	7.1%	2	14.3%	0	0.0%	4	28.6%	0	0.0%	2	14.3%	1	7.1%	1	7.1%	14	100.0%
	30代	6	22.2%	4	14.8%	7	25.9%	0	0.0%	2	7.4%	0	0.0%	5	18.5%	2	7.4%	1	3.7%	27	100.0%
	40代	15	36.6%	1	2.4%	9	22.0%	0	0.0%	3	7.3%	0	0.0%	8	19.5%	3	7.3%	2	4.9%	41	100.0%
	50代	18	50.0%	6	16.7%	4	11.1%	0	0.0%	4	11.1%	1	2.8%	3	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	36	100.0%
	60代	24	46.2%	9	17.3%	8	15.4%	0	0.0%	2	3.8%	0	0.0%	4	7.7%	4	7.7%	1	1.9%	52	100.0%
	70代	15	44.1%	8	23.5%	1	2.9%	0	0.0%	3	8.8%	3	8.8%	2	5.9%	0	0.0%	2	5.9%	34	100.0%
	80代以上	1	6.3%	7	43.8%	0	0.0%	0	0.0%	2	12.5%	1	6.3%	3	18.8%	0	0.0%	2	12.5%	16	100.0%
	無回答	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
合計	82	37.3%	36	16.4%	31	14.1%	0	0.0%	20	9.1%	5	2.3%	27	12.3%	10	4.5%	9	4.1%	220	100.0%	

※無回答以外について、合計平均を5%ポイント以上上回るものを網掛けの太字、5%ポイント以上下回るものを網掛けの白抜きで示しています。

コ 基本目標⑦「みんなが主役のまちづくり」に対する意見など

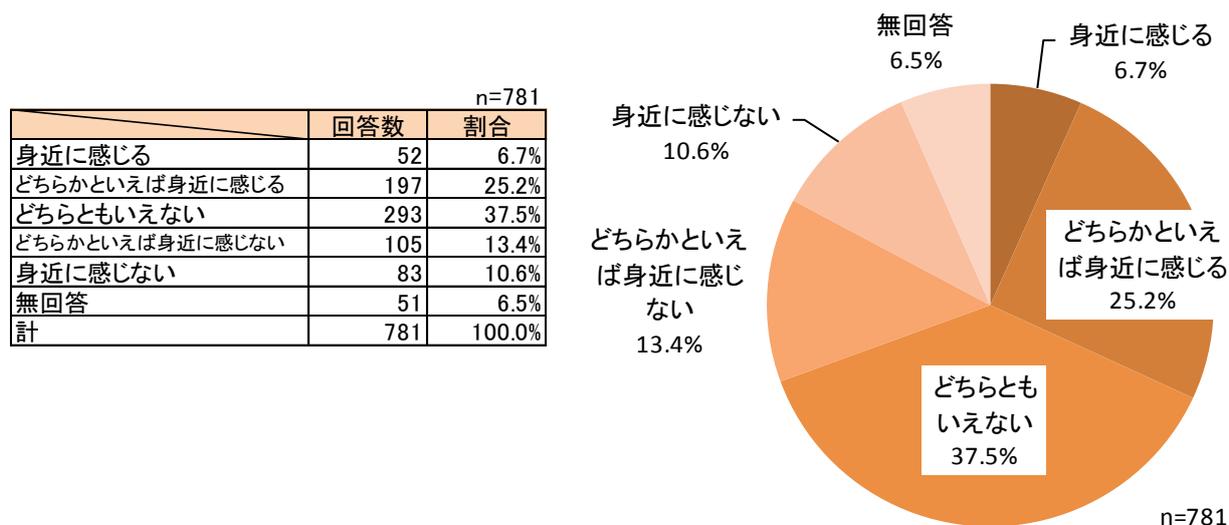
- ・施策の内容がわからないことが多い。(女.50 歳代.仁礼・峰の原)
- ・イメージしにくい目標だと思う。(男.40 歳代.旭ヶ丘)
- ・市職員全体にまちづくりに協力する意識を教育すべき。(男.70 歳代.日野)
- ・須坂は素晴らしい。もっと宣伝したら良いと思う。(女.60 歳代.日滝)
- ・市民がもっと自由に役所の職員と気軽に話せる環境作りが大切だと思う。(女.70 歳代.高甫)
- ・若者が参加する気にさせる施策が必要。まちづくりにこれからの若い人の参加は欠かせない。(男.40 歳代.須坂)
- ・具体的に市が何をしているのか見えてこない。(男.40 歳代.小山)
- ・仁礼のコミュニティは充実しているが、井上地域にもほしい。井上地域公民館は交通量が激しく危険な場所、保育園もできるが、広い場所で皆が安心して憩える場所であってほしい。(女.60 歳代.井上)
- ・須坂市民の特徴で、主役になる人が力強く引っ張らないと市民が主役にはならない。また、リーダーの育成が必要。(男.70 歳代.高甫)
- ・自治体活動はなるべく参加するようにしているが、参加者が少ないと感じている。(女.60 歳代.旭ヶ丘)
- ・「みんなが主役」という意識を高めるには市政担当者と市民の交流の充実、情報交換等が必要だと思う。(男.80 歳代以上.日滝)
- ・女性が仕事をしながら安心して妊婦、子育てができるよう、施策を充実してほしい。(男.60 歳代.須坂)
- ・久しぶりに菊展を見に行ったところ、大変町の中も綺麗になって気持ちよく散歩できた。(女.80 歳代以上.小山)
- ・地域振興については、方向性が見えない。須坂市単体で目玉となる観光要素を見出せないのであれば、近隣都市のベッドタウンの役割を担っていくのも悪くない。(男.30 歳代.小山)
- ・やらされていると思わずに、気づいたらまちづくりに関わっていたという人が増えていくような仕組みがあれば良い。(男.30 歳代.豊洲)
- ・主役になりたくても、主役になれる環境が少ないと思う。(男.30 歳代.森上)
- ・「働く女性」や「働きながら子育てする女性」、「一人親」に対する支援があると良い。(女.20 歳代.須坂)
- ・みんなが主役と言っても現実はまだなかなか市民の声を聞き入れてもらうことは少ないと思う。(女.40 歳代.井上)

(3) 須坂市のまちづくりや、市政に対する意見等

① 市政について身近に感じるか

市政について身近に感じるか聞いたところ、「身近に感じる」、「どちらかといえば身近に感じる」を合計した割合は 31.9%となっている。一方、「身近に感じない」、「どちらかといえば身近に感じない」は 24.0%であった。

年代別にみると、70代、80代以上は「身近に感じる」と回答する割合が高くなっている。一方、「身近に感じない」では20代、30代などの若い年代が「身近に感じない」と回答している。



< 男女別、年代別の内訳 >

		身近に感じる	割合	どちらかといえば身近に感じる	割合	どちらともいえない	割合	どちらかといえば身近に感じない	割合	身近に感じない	割合	無回答	割合	合計	割合
性別	男性	23	6.4%	100	27.8%	136	37.8%	47	13.1%	36	10.0%	18	5.0%	360	100.0%
	女性	29	7.0%	96	23.1%	157	37.7%	58	13.9%	47	11.3%	29	7.0%	416	100.0%
	無回答	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	80.0%	5	100.0%
	合計	52	6.7%	197	25.2%	293	37.5%	105	13.4%	83	10.6%	51	6.5%	781	100.0%
年代	20代	1	2.8%	5	13.9%	10	27.8%	7	19.4%	13	36.1%	0	0.0%	36	100.0%
	30代	3	4.3%	13	18.8%	21	30.4%	13	18.8%	19	27.5%	0	0.0%	69	100.0%
	40代	6	4.8%	20	16.1%	58	46.8%	19	15.3%	17	13.7%	4	3.2%	124	100.0%
	50代	3	2.7%	23	20.9%	49	44.5%	17	15.5%	12	10.9%	6	5.5%	110	100.0%
	60代	10	5.0%	58	29.0%	85	42.5%	26	13.0%	13	6.5%	8	4.0%	200	100.0%
	70代	18	11.7%	52	33.8%	46	29.9%	17	11.0%	6	3.9%	15	9.7%	154	100.0%
	80代以上	11	13.3%	25	30.1%	24	28.9%	6	7.2%	3	3.6%	14	16.9%	83	100.0%
	無回答	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	80.0%	5	100.0%
合計	52	6.7%	197	25.2%	293	37.5%	105	13.4%	83	10.6%	51	6.5%	781	100.0%	

※無回答以外について、合計平均を5%ポイント以上上回るものを網掛けの太字、5%ポイント以上下回るものを網掛けの白抜きで示しています。

②市政が身近に感じない理由（「どちらかといえば身近に感じない」、「身近に感じない」と回答した市民の声）

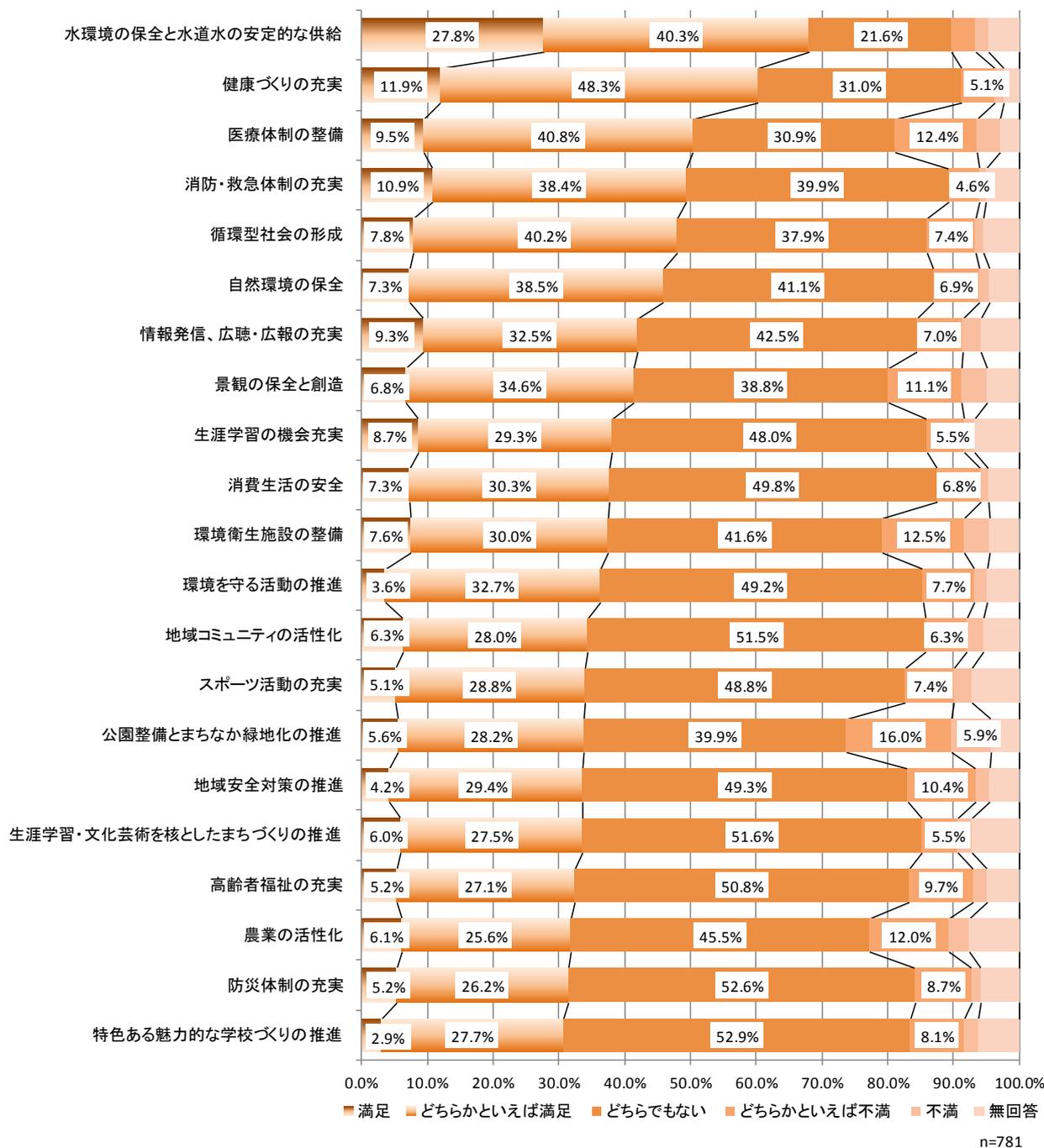
- ・どのような方向に進もうとしているのか不明確で将来への展望が見えない。（男.40 歳代.日滝）
- ・どのような活動をしていくのか、市民に伝えるべき。全然浸透していない。（男.30 歳代.須坂）
- ・市民として、市政からの情報を受けてないと感じるから。（女.40 歳代.日滝）
- ・関心がないからだと思う。反対に不満もないからでしょう。（女.60 歳代.森上）
- ・広報など読んではあるが、市政にあまり興味が湧かない。（男.40 歳代.旭ヶ丘）
- ・自分が行事に参加していないのか、市長さんの動きがよくわからない。どういう方なのかもよくわからない。（女.30 歳代.須坂）
- ・市役所の窓口は非常によくなってきている。しかし、政策については会議等で定めても改善されず前年と同じことをしている。民間では考えられない。意見等どう生かしていくべきか検討していく必要がある。（男.70 歳代.須坂）
- ・買い物、図書館等も長野市内の施設を利用することが多いから。（女.40 歳代.日野）

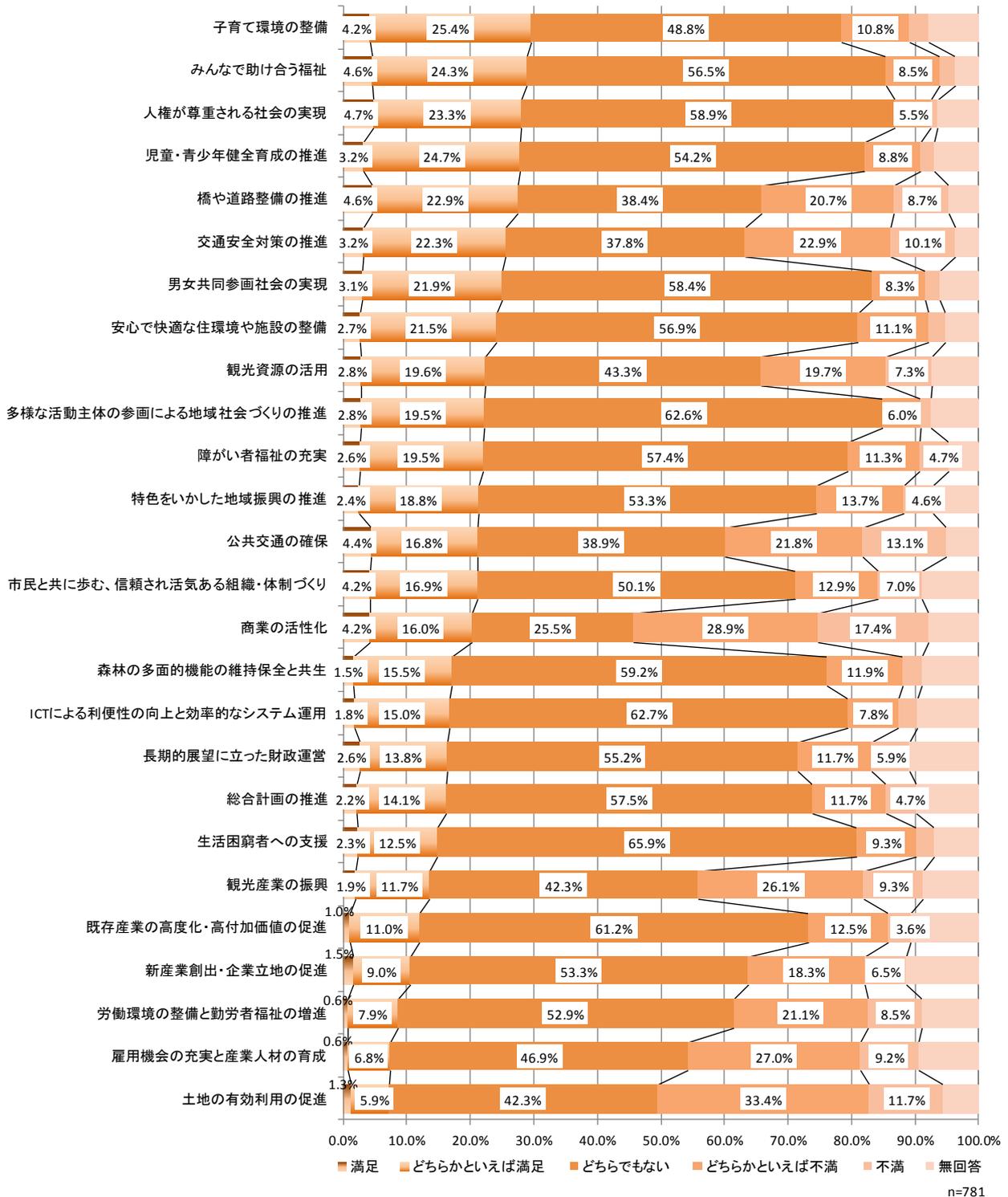
2. 市の全般的な施策に対する評価

(1) 施策に対する満足度

「満足」、「どちらかといえば満足」を合計した割合が最も高いのは、「水環境の保全と水道水の安定的な供給」で68.1%となっている。次いで、「健康づくりの充実」(60.2%)、「医療体制の整備」(50.3%)、「消防・救急体制の充実」(49.3%)の順となっている。

一方、「土地の有効利用の促進」が7.2%と最も満足度が低い結果となった。また、「雇用機会の充実と産業人材の育成」(7.4%)、「労働環境の整備と勤労者福祉の増進」(8.5%)、「新産業創出・企業立地の促進」(10.5%)がいずれも1割程にとどまっている。

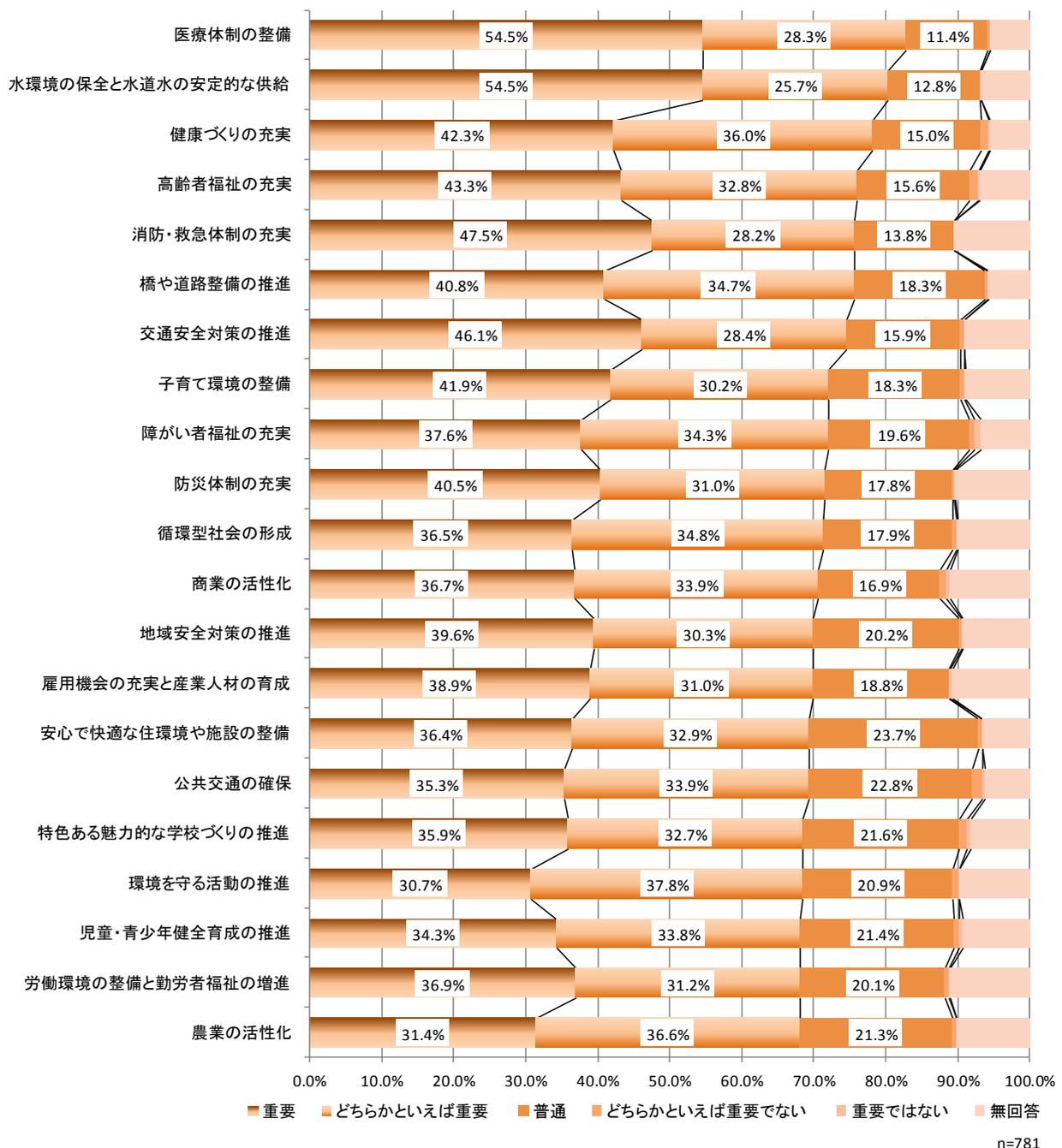


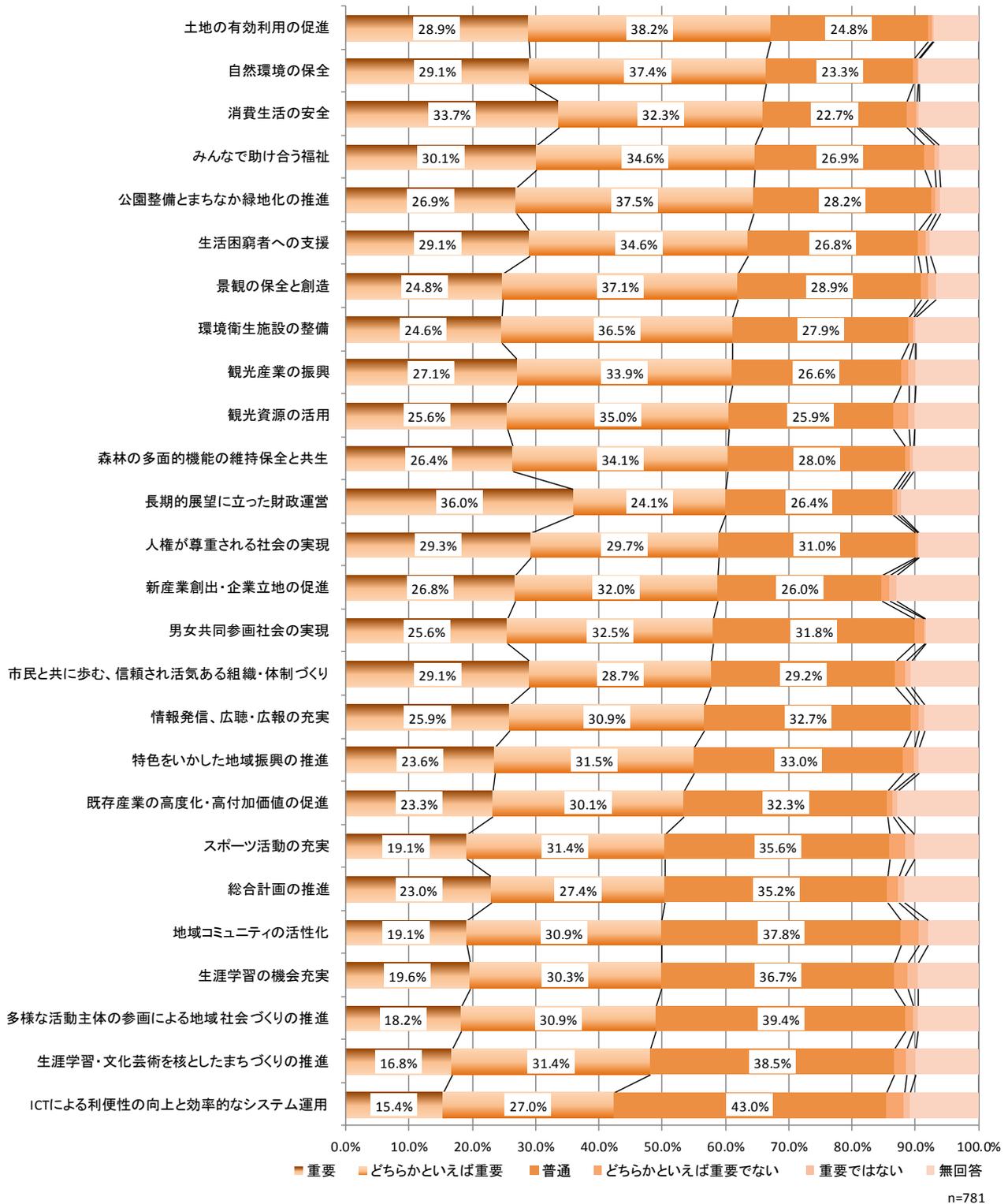


(2) 施策に対する重要度

施策に対する重要度をみると、「重要」、「どちらかといえば重要」を合計した割合が最も高いのは、「医療体制の整備」で82.8%となっている。次いで、「水環境の保全と水道水の安定的な供給」(80.3%)、「健康づくりの充実」(78.3%)、「高齢者福祉の充実」(76.1%)の順となっている。

一方、「ICTによる利便性の向上と効率的なシステム運用」が42.4%と最も重要度が低い結果となっている。また、「生涯学習・文化芸術を核としたまちづくりの推進」(48.2%)、「多様な活動主体の参画による地域社会づくりの推進」(49.1%)、「生涯機会の機会充実」(49.9%)、「地域コミュニティの活性化」(50.0%)、「総合計画の推進」(50.4%)、「スポーツ活動の充実」(50.5%)がいずれも5割程となっている。





(3) 施策に対する満足度と重要度の関係

47 施策について満足度（横軸）と重要度（縦軸）の関係を、以下のグラフのとおり表した。グラフ作成にあたり、各施策に対する得点（満足 2 点、どちらかといえば満足 1 点、どちらでもない 0 点、どちらかといえば不満 -1、不満 -2 点 / 重要 2 点、どちらかといえば重要である 1 点、普通 0 点、どちらかといえば重要ではない -1、重要ではない -2 点）を計算し、満足度、重要度の平均値をそれぞれ縦軸、横軸とした。平均値以上の場合は「満足度・重要度が高い」とし、平均値以下の場合は「満足度・重要度が低い」としている。

特に、「重要度が高い」にも関わらず「満足度が低い」点線のタイプに該当する 8 施策について、優先的に取り組むべき施策といえる。

< 重要度が高い / 満足度が低い施策 >

商業活性化、雇用機会・人材育成、勤労者福祉、公共交通、交通安全対策、橋・道路整備、財政運営、障がい者福祉



第3章 自由意見

1 須坂市の強みや魅力について

(1) 健康・福祉・子育て

- ・市内には病院が多くあり、助かる。(男.40 歳代.旭ヶ丘)
- ・保健指導員の活動が素晴らしく、健康長寿を自慢できるくらいに皆で更に健康教室とか健康講座をどんどんやってください。(女.60 歳代.小山)
- ・保健指導員への市民の参画(家庭での実践)他県市にはないと思う。やっていることが充実につながる。(女.50 歳代.森上)
- ・須坂市は地域包括ケアシステムを実践するにはちょうどよい広さと考える。ボランティアの数の多さ、またサロン、公民館活動の延長線上での活動の後方支援がしやすいこと。(女.60 歳代.豊洲)
- ・子育て支援の充実。保育所が素晴らしいこと。(女.40 歳代.日野)
- ・他の市政や環境と比べる事ができなかったが、ある機会から須坂市の子育て支援、保育園の環境などの良い部分を知り、細かい部分まで親の立場の目線で配慮がされている。大きい市(長野市など)より、目を配らせやすいのではないかと。(女.60 歳代.日野)
- ・豊かな自然の中で子育てして生きていけるのはとても幸せなことだと思う。須坂市は他の市に比べて弱者にやさしい所が魅力だと思う。(男.40 歳代.豊洲)
- ・長野県は全国1位の長寿県になり、須坂も保健指導員の制度のおかげで(先輩)今に至っている。自分の生き方を大切に生活していきたい。(女.70 歳代.小山)

(2) 教育・文化・スポーツ

- ・歴史と自然(男.60 歳代.高甫)
- ・自然豊かで歴史ある所。素晴らしい歴史を知り誇りに思える。(女.50 歳代.須坂)
- ・塩の道や紅葉、若葉の時期に見える山々。坂を利用したマラソンや足をつかうスポーツのトレーニング。(女.30 歳代.仁礼・峰の原)
- ・信州岩波講座、農業小学校はぜひ続けてほしい。公民館活動や保健指導員の活動は活発と言えると思う。(男.60 歳代.須坂)
- ・竜の里須坂健康マラソン全国大会は大変よいと思う。桜の百選になっている所が自慢。(女.60 歳代.豊洲)

(3) 環境・景観

- ・豊かな自然。静かな環境。果物がおいしい。(女.50 歳代.仁礼・峰の原)
- ・自然豊かな環境と農産物(りんご、ぶどう他)、静かな住居、文化都市として住みやすい町。(男.60 歳代.高甫)
- ・東京より移住して37年になる。変な観光意識にとらわれず、今まで通りの自然環境を守ってください。(例:木塀を黒塗りにする等)(男.70 歳代.須坂)
- ・果物や野菜がおいしい。水がおいしい。空気もきれい。(女.50 歳代.日滝)

- ・水が美味しく豊富である。長野市に近い。(男.40 歳代.須坂)
- ・須坂市は他の都市と比べて空気も果物もおいしいので結構住みやすいと思う。(女.70 歳代.高甫)

(4) 都市基盤・駅前整備

- ・毎日、百々川緑地公園でマレットをしているが、整備がされていて気持ちいい。これからも続けていきたい。(女.60 歳代.豊丘)
- ・自然、臥竜公園はすばらしい。(女.40 歳代.小山)
- ・長野市のベッドタウンとして一定の需要があり、住みやすい。(女.40 歳代.日野)

(5) 産業・経済・農業振興

- ・果樹や野菜などのブランド化は進んできている。田舎の良さがある。(男.30 歳代.森上)
- ・須坂市の果物はとてもおいしいので、もっと全国の人に知ってもらいたい。(女.40 歳代.日滝)
- ・生産量が全国 1 位の「巨峰」など、おいしい果物がたくさんあること。(女.20 歳代.仁礼・峰の原)
- ・ぶどうやりんごなどおいしい果物がたくさんある。(男.60 歳代.小山)
- ・シャインマスカット。りんご。臥竜公園の桜。(女.40 歳代.小山)
- ・農産物の豊富さ、ブランド力を磨いていこうとする姿勢。(女.40 代.日野)
- ・各所での花壇がとってもきれいで、他から来た人がほめている。果物がとてもおいしいので、他県の友人に送ると喜ばれる！(女.20 歳代.高甫)
- ・須坂市は果樹生産には条件（気候・土壌・技術）に恵まれた地帯。生産されるものは非常に付加価値の高いものができる。須高ブランドの強化を図り、国内はもとより、海外にも売り込む積極的な政策を進めてほしい。(男.70 歳代.須坂)
- ・果物＝桃・ぶどう・りんご。景観＝臥竜公園・破風高原・米子瀑布・坂田山共生の森。(男.70 歳代.小山)
- ・歴史ある町並み・豊富な果物。高校生が地元のものを使って商品開発していることもすばらしい。(女.40 歳代.日滝)
- ・まわりの緑に囲まれた田園都市が須坂のいい所。毎年私は「巨峰」と「りんご」を 20 箱近く友人知人に送っている。(男.70 歳代.須坂)
- ・とても果物がおいしい。いつでも県外の人にも買えるように、須坂長野東インターチェンジの近くに農産物直売所など出店した方がいいと思う。(女.30 歳代.日滝)
- ・私は須坂と長野のぶどうとりんごの農家の仕事のお手伝いをしているが、須坂の方がりんごは大きく育ち、寒さもあるので赤い色がつく。そこが良いところだと思う。(女.30 歳代.日滝)

(6) 安全・交通・生活基盤

- ・子どもが安心して暮らせる (男.40 歳代.旭ヶ丘)
- ・須坂市に高速道路のインターチェンジがあること。(女.20 歳代.仁礼・峰の原)
- ・仁礼地域の水害発生以降、自然災害また犯罪発生も極めて少なく住みやすい環境の中での日常生活に日々満足している。これからも市民生活が安全で豊かな毎日が送れるよう、市政に対して大いに期待している。(女.80 歳代以上.森上)

(7) まちづくり・観光

- ・臥竜山、須坂市動物園、須坂温泉古城荘、須坂には良い所がたくさんある。古城荘の風呂はとてとても温まり大きな木の下での露天風呂あり、料理もおいしい。(女.60 歳代.日滝)
- ・果物がおいしい。スキー場があり、秋から冬にもっと人が集まってくれれば良い。便利な面よりも少し不便な所(時間がゆったりしている所や田舎の良さ)を売りにしてみてもと思う。(男.30 歳代.旭ヶ丘)
- ・市で行っている活性化はとてとてもいいのでこれからも続けてほしい。(女.80 歳代以上.高甫)
- ・歴史のある町だから、いろんなイベントや記念日などをつくって PR してほしい。(男.50 歳代.森上)
- ・桜百選の臥竜公園。(女.50 歳代.豊丘)
- ・町めぐりやオープンガーデンなどの企画が行われ市外からも多くの参加者がある。(女.60 歳代.日滝)
- ・桜の臥竜池、紅葉の米子の滝、つつじの破風高原とても良い観光地だと思う。高山の高原、温泉地の中に加えてアピールしてほしいと思う。(女.60 歳代.旭ヶ丘)

(8) 交流・コミュニティ

- ・団結力の強いグループや仲間がたくさん存在していること。横同士がつながれば大きなグループになると思う。(女.40 歳代.小山)
- ・小さいながらも蔵の町として、「須坂の文化は奥が深い」と言われたこと。(男.60 歳代.日野)
- ・町並み、駅前の活性化、人の歩いている町に、市、商工会議所などが本気で行ってほしい。(男.60 歳代.小山)
- ・自治会の活動に参加することで市政の取組が見えてくる。役がつかない時はなかなか参加できないのが現状だが、協力しようという地域の方の姿勢は感じられるので自分自身もそうありたいと思う。(女.40 歳代.日野)
- ・自然・ボランティア活動・地域役員・自治活動など。(男.50 歳代.日野)
- ・須坂の人はかなりのテレ屋が多いので親しくなるまでに時間がかかるが一度信頼関係を築くと裏切らないので人の良さが魅力的。(女.50 歳代.井上)
- ・自治会活動等に住民が比較的協力的である。消防団の構成年齢が近隣市町村に比べて若い。(男.40 歳代.日滝)

(9) 市職員等

- ・市役所、郵便局、銀行等の職員の皆様とても親切に対応していただき、心から感謝している。これからも市民に愛される職員として頑張りたい。(女.70 歳代.豊丘)
- ・障害を持っている子どものことで相談に行った時、対応がとてもよく相談に乗ってくれた。今でも役所へ行った時、その方に会うと声をかけてくれてとても心強い。(女.60 歳代.日滝)
- ・夫が長野市出身だが、市役所の方がとても親切だと感激した。(女.20 歳代.高甫)
- ・市役所に行くと皆さんとても親切で感じが良い。他市と比べてもずっと良い感じ。全体としてこじんまりしていて暮らしやすいと思う。(女.40 歳代.仁礼・峰の原)

(10) 広報広聴・PR

- ・市長への要望を一般市民が訴えられ、それに対して回答をいただけることはすばらしい。即決・即断、市民の声が市政へ届くという事はとても親しみが沸き、魅力の一つではないかと思う。(女.30 歳代.小山)
- ・おいしい果物。県外の方に贈ると本当に喜んでもらえ、自慢できる。市の広報も読んでいて楽しく、市の現状を知らせてくれる良い内容になっていて身近に感じる。(女.40 歳代.日滝)

(11) その他

- ・今回のアンケートは須坂発展のためにいい企画だと思う。私は須坂を本当に愛している。(女.80 歳代以上.須坂)
- ・コンビニが多くて助かる。(男.森上.旭ヶ丘)
- ・良いところだと思う。住んで 45 年になるが、他の市へ行きたくない。(女.80 歳代.旭ヶ丘)
- ・須坂市に嫁いで 60 年、人情に厚くとても住みよい環境。60 年前に比べると生活環境も素晴らしく良くなったし、毎日が快適。(女.80 歳代以上.小山)
- ・親切で温かい人によく会うような気がする。人口がそんなに多くないせいか、市や保健センターなど丁寧に接して下さる。(女.30 歳代.日野)
- ・臥竜公園、動物園の名前が有名。果物が豊富。雪は降るが生活に困るほど積もらない。災害危険地域が少ない。(男.50 歳代.森上)
- ・自然環境が揃っている。眺望が素晴らしい(扇状地故え)。これらを外へ自信を持って発信していく努力が必要。高速道のアクセスもどちらかといえば良いと思う。小布施、高山、須坂を面としての施策も必要になってくる。(男.60 歳代.井上)
- ・各団体が活躍していると思う。(女.80 歳代.高甫)
- ・至らないことがあっても常に前進していこうとする前向きな姿勢があること。もっとマラソンのように全国的なレベルで催しを行っていったら良いのではないか。市長に自由に意見がかける手紙があること。(まだやったことはないが書き始めたことはあった)(女.60 歳代.高甫)
- ・臥竜公園、田中本家、ぶどう、りんご、他の野菜。自慢できるものはたくさんある。この魅力に加え、新しいものが、やはりほしい気がする。その他、感じることは道路状況など地元の人にも優しい町であってほしい。(女.50 歳代.須坂)

- ・昨年新築で移り住んできたが、20年前よりも文化のまち、蔵の町という印象が強くなり、他にはないカラーで魅力を感じる。須坂市動物園も人気で動物園のあるまちという魅力もある。イベントも多く、集客にもつながっている。カピバラも目玉になると感じる。果物、蔵、文化をバランスよくPRしていったら良いと思う。(女.30歳代.日野)
- ・四季折々の観光地や施設、歴史や文化を大切にイベントや講演・講座等、健康を重視したさまざまな取組、保健指導員の活動、地産地消をめざす果物・野菜等の振興等、インター周辺、日滝原工場誘致等の開拓。(男.60歳代.森上)
- ・現在の須坂市に感謝している(変わらない須坂が良い)。都会でも田舎でもなく自然が豊かであり、買い物にも不自由しないし、どちらかといえば満足である。山ノ内町在住の友人などから「須坂は都会だ」と言われている。(女.80歳代以上.須坂)
- ・自然、人権、福祉、果物、4つのイメージが強いので一層の発展を期待。(男.30歳代.井上)
- ・遠藤酒造場の蔵開きがされていることが強みだと思う。(女.30歳代.日野)
- ・須坂病院、須高医師会、保健師を中心に健康増進のための活動ができている。活気ある須坂市のために、いろいろと取り組んでいただいてありがたい。(女.40歳代.森上)

2 須坂市の改善点について

(1) 健康・福祉・子育て

- ・高齢者もたくさんいるので、高齢者ホームをお願いしたい。(女.80歳代以上.日野)
- ・医療費の子どもの補助を高校までにしてほしい。(女.40歳代.小山)
- ・社会福祉サービスの充実を。(男.30歳代.須坂)
- ・書類が複雑で高齢者には書くのがつらいため、改善できないか。(女.60歳代.井上)
- ・須坂病院は須高地区の中核病院にもかかわらず、あまり良い話が聞こえてこない。もっと市民が安心して通院できる病院にしてほしい。(女.80歳代以上.豊洲)
- ・公園がないので、小さい子連れの親との交流の場が少ない。(男.40歳代.須坂)
- ・私は高齢者で、一人暮らしのため、安心して福祉を利用できればありがたい。交通面でバスの本数が少ないので現在は車の運転をしているが、老後を考えると心配。(女.70歳代.高甫)
- ・千曲市のようにセカンドブックも無料配布をしてほしい。児童クラブを学校内につくってほしい。(女.30歳代.小山)
- ・保育園はみんなきれいになって国の手当でも行き届いているので、子どもたちの心のケアが十分であれば子どもたちは安心できる。(女.40歳代.小山)
- ・市の健康診断等は健康センターの外にもう12~14カ所位公民館等でできればと思う。なぜなら高齢化しているので遠くまで行かれないため。(女.80歳代以上.須坂)
- ・須坂病院の夜間診療の先生に必ず小児科の先生がいるようにしてほしい。(女.30歳代.日滝)
- ・子どもを育てる家族への負担を軽減してほしい。(男.40歳代.須坂)
- ・健康づくりなどはとても良いと思う。予防によって医療費も少なくなるので保健指導員の制度はとても良いと思う。(女.60歳代.日滝)
- ・小布施町で仕事をしているので、あまり須坂市へは目を向けていなくてアンケートの回答者としては適任じゃないかと思う。小布施町は医療費が高校卒まで無料ということで、子どもの出産から高卒まで小布施町に移住・定住される方も多い。(女.50歳代.井上)
- ・歩道の点字ブロックを郊外にも設置するべきだと思う。(町中は比較的良いのだが)(女.60歳代.豊丘)
- ・小学校が近い範囲に多すぎて須坂小学校は特に支援学校の方が主体になってしまっているように感じる。(女.40歳代.須坂)
- ・子どもが小さいとき、延長保育の時間が少し長くなり助かったので、もう少し延長できたら良いと思う。(女.40歳代.森上)
- ・児童クラブについて時間延長や人数などについて改善をお願いしたい。(女.40歳代.日野)

(2) 教育・文化・スポーツ

- ・もっと世の中を広く見る目をもってください。転勤族であったため、いろいろな場所に住んだが、須坂はあまり生活しやすすくないと感じた。(子どもたちが全ていじめに苦しんだことがある)(女.50歳代.小山)
- ・メセナホールに芸術に関する企画を増やしてほしい。(男.40歳代.須坂)
- ・親子で芸術に気軽にふれることができる機会を増やしてほしい。(男.40歳代.須坂)
- ・協会マレットゴルフ場の周囲の松も年々枯れてきている。至急手当をしなければ、立派なコースであると言われているのに残念。消毒も数回行う事で見事な松に生まれ変わると信じている。(男.80歳代以上.日野)
- ・隣接する中野市、長野市、千曲市はプロないしはセミプロの野球、サッカー、バスケットボールの本拠地となっている。その中間に位置する須坂市はスポーツに対する取り組みが弱いと感じている。市と体育協会等が前面に立ってスポーツを通して市の活発化を図ってほしい。(男.60歳代.小山)
- ・製糸業の歴史に魅力を感じているので、養蚕で町おこしをする。小学校等で蚕の飼育を体験させるなど、須坂の歴史として養蚕に触れる機会があれば良いと思う。(女.30歳代.森上)
- ・サッカーが好きということもあるが、隣接している市に長野パルセイロがある。ホームタウンとして須坂市も入っているが、一度、須坂市デーをやったくらいで他に何かをやったのか？人が集まり活気ある事業であるので、有効に活用してほしい。松本市は塩尻市などとなげている。ぜひ須坂市もパルセイロとともに活気ある市になってください。(男.30歳代.森上)
- ・使っていない土地にもっと人を呼べる公園広場スポーツ施設などを造ったほうが良いと思う。子どもたちをもっとのびのび育つ環境を作り、希望や夢を育てられる環境を作してほしい。(女.40歳代.井上)

(3) 環境・景観

- ・耕作放棄地が多い。また、隣りが空き屋敷なので困っている。空き家対策課等をつくり、近所に迷惑にならないように推進していただきたい。(女.60歳代.豊丘)
- ・今年2月の大雪の時、歩道は通学の子もたちが通れない状況の中、このようなことは緊急事態と考えるが、市の方から区長や公報で連絡して全戸対象に雪かきを実施しても良かったのではと感じた。数人で何百メートルもやったりしたが地域全体でできる体制にしてほしい。(男.60歳代.高甫)
- ・数年前、近所の雑草問題で市役所に相談したとき、すぐ対応してくれた。しかし、その時限りで、数年間、雑草による害虫問題で困っている。(女.40歳代.井上)
- ・川のゴミを片付けることにより市のイメージが良くなる(男.60歳代.高甫)
- ・カンナの花をやめてほしい(疲れている時に見ても癒されません)。(女.40歳代.仁礼・峰の原)
- ・健康づくりとしてほぼ毎日歩いているが、道に犬の糞が落ちているのをよく見かけるので何とかならないか。(男.60歳代.日野)

- ・風水害に襲われることが少ない。自然の美しさ。果物農作物の味の良さ。その他たくさん。
(男.80歳代以上.小山)
- ・ごみ処理施設について、住宅の目と鼻の先に建設する必要はあるか？安全とはいえそこで一生暮らしていく人間の気持ちをどうかどうか察してほしい。(女.30歳代.仁礼・峰の原)
- ・駅、トイレ等の公共施設をきれいにしてほしい。観光地とするための新しい何かがあればいい。空地、空き家をなくしてほしい。(女.20歳代.日滝)
- ・CO2問題に関連して、車の使用を控えよう、公共交通機関を使用しよう、自転車に乗ろう、歩こうと思うが安全な歩道、自転車道がない所が多い。(女.40歳代.井上)
- ・東京より移住して37年になるが、今まで通りの自然環境や街並みを守ってください。(例：木塀を黒塗りにする等) (男.70歳代.須坂)

(4) 都市基盤・駅前整備

- ・電鉄を重視した都市計画の見直し、長野市等近隣自治体との連携強化し、運動施設、動物園等を充実させる。千曲川右岸に大学を設置してはどうか。(男.70歳代.日野)
- ・道幅を広げる。迷路のような町並みを改善する。大型ショッピングモールを誘致する。若者が働ける会社を誘致する。(男.40歳代.日滝)
- ・道路のアスファルトの凸凹しているところが多すぎる。障がい者や妊婦にとっては振動で体に負担がかかってしまう。(女.30歳代.須坂)
- ・年度末になるといたるところで道路工事をしているのが少し気になる。以前にも同じ場所を工事していたのにどうして何度も工事するのか説明をしてほしい。予算の消化？と思ってしまう。(女.60歳代.仁礼・峰の原)
- ・豊かな自然、桜と紅葉の素晴らしさ、災害の少ないところは須坂に住んでいて良かったと思う。駅前の整備が進めば誇れる街になると思う。(女.40歳代.小山)
- ・シルキーの中に図書館の分室を置いてはどうか。フジ会館が閉鎖されてお年寄りの衣料品の買い物が不便になっていると思うので、ナガイさんのようなお店を誘致してほしい。気軽に停められる駐車場がほしい。街中の活性化を考えることで高齢化対策、観光にもつながると思う。(男.60歳代.日滝)
- ・衣料品や飲食店など入るシルキービルや須坂駅前の活性化を進めてほしい。
(女.20歳代.日野)
- ・須坂駅前をもっと充実したものにしてほしい。人が気軽に集まれる空間があれば良い。
(女.30歳代.日滝)
- ・駅前にあまりお店がなく、活気がない。以前、作家の椎名誠さんが訪れ「食べるところがなくコンビニで済ませた」と書かれていた。やはりもう少しお店等があればと思う。観光面でも昔より頑張っているが、もっと告知したほうが良いと思う。(女.50歳代.須坂)
- ・須坂市の景観保全と創造、公園整備とまちなか緑地促進、道路整備など増強する。(男.70歳代.豊丘)
- ・駅前の元ショッピングセンターや元ナガイ、フジ会館の跡地をきちんと考えて市民のより良い駅前にしてもらいたい。飲み屋の夜の時間は結構人が歩いているけど昼間はあまりいな

い。高齢者がかわいそう。(男.40 歳代.須坂)

- ・トイレの洋式化バリアフリー化をお願いしたい。自動車のアイドリングストップを徹底してください。(男.50 歳代.須坂)
- ・須坂の玄関口である須坂駅前、シルキー、パルムの外観が気になる。塗装をやり直すだけでも効果はあると思う。(女性.20 歳代.高甫)

(5) 産業・経済・農業振興

- ・他市に買い物客が流れてしまう。大規模ショッピング店などの建設、駐車場の整備が大切。(女.50 歳代.仁礼・峰の原)
- ・独自の野菜果物、食肉等、自然農法の定着、育成、特に若い人たちが魅力を感じる地場産業の育成が必要。(男.60 歳代.高甫)
- ・観光分野が弱い。農産物の販売所と生産者が協力して後継者を育てる機関を設置しもっと盛り上げてほしい。(男.70 歳代.小山)
- ・特に夏の季節にイベントなどをたくさん開催してほしい。(女.60 歳代.旭ヶ丘)
- ・田んぼが減って子どもが自然に触れる機会がなくなりつつある。(女.30 歳代.日滝)
- ・須坂はたくさんの果物を作っていておいしい物が多いが、情報発信、宣伝力がない。6月～11月は観光農園化するとか、郊外の耕作放棄地を整備して、活用方法を考える。(宿泊施設を併用して週末に農業体験ができるなど)(男.40 歳代.小山)
- ・静かで自然豊かで住みやすいが活気がない。特に駅周辺はさみしい。廃線路の活用が進み山々が見渡せる何か特色のある場所がほしい。須坂に戻って1年半になるが、私はあの線路から見渡す景色が大好き。(女.60 歳代.森上)
- ・大型店が無く買い物を考えた時、つい長野市まで買い物に行ってしまう。駅周辺や須坂ショッピングセンター、劇場通り周辺など昔はにぎやかだったが、さびれていくのはさみしい限り。なんとか活性化できないものかと考える。(男.40 歳代.森上)
- ・衣料品、電化製品などを購入できる商業施設が無いので、できれば大型店舗や複合店舗の誘致を積極的に検討してほしい。(男.40 歳代.小山)
- ・須坂市で作っている農産物が市内のスーパーで扱っていない。もっと力を入れて農産物を売り込めば良いと思う。(女.40 歳代.日滝)
- ・蔵の町並みなど力を入れているように思うが、実際住んでいる私たちが観光したいかかと考えると疑問に思う。子育てしやすければ、子どもたちが帰って来て暮らしたいと思えるし、農地を守っても、子どもが帰って来たいと思わなければどんどん若い人も減ってしまう。(女.50 歳代.森上)
- ・おいしいものがたくさんあるのに、PR 不足で小布施町や高山村へ人が流れてしまうこと。道路整備もしっかり行ってほしい。須坂市で働ける場所をたくさんつくってほしい。(女.20 歳代.仁礼・峰の原)
- ・先細りが目に見えている農業や観光振興のための政策を進めていくよりも、長野市のベットタウン化や雇用の創出に力を入れてほしい。(男.40 歳代.小山)
- ・若い世代が農業をやりたい環境を作ってほしい。田畑の休部の活用の取組と推進を。(男.60

歳代.仁礼・峰の原)

- ・空き店舗が多い。買い物をしたい場所が少ない。(女.40 歳代.仁礼・峰の原)
- ・最大の弱みは雇用だと思う。働く場所があって初めて生活の基盤が須坂にできると思う。雇用、子育て世代にどんどん移り住んでもらえるようなまちづくりをお願いしたい。(男.40 歳代.小山)
- ・年金に不安を感じる今、60 歳を過ぎても安心して働ける職場がたくさんある。健康であれば少しは安心できる老後になると思う。若い人のためにも県外の企業が須坂に来てくれたら県外の学校に出た若者も帰って来てくれると思う。(女.50 歳代.日滝)
- ・商店街に活気が全く感じられない。何か県外から来ていただける名産品を考えた方が良い。(女.30 歳代.仁礼・峰の原)
- ・須坂長野東インターチェンジ付近にコストコやイオンモールやイケアなどの大型店を誘致してほしい。(女.30 歳代.日滝)
- ・外国人の妻の時給が他の日本人パートの時給より安かった会社があった。(男.50 歳代.森上)
- ・須坂は空店舗が多くてさびしい限り。空いているところを活用して活気のある須坂市にぜひしてほしい。観光案内の説明など標示がわかりにくい、と遠方者からの声。(女.70 歳代.仁礼・峰の原)
- ・上田アリオのような大型ショッピングセンターなどが須坂にも誘致できれば嬉しい。(女.40 歳代.須坂)
- ・何でも買える大きな店(デパート等)があると良い。(女.70 歳代.小山)
- ・もう少し商店街に魅力的な施設があると長野市や中野市へショッピングに行くこともなく、地元で活気が戻ると思う。駅前の開発も進め、活気ある街に戻してほしい。(女.60 歳代.豊丘)
- ・駅前、個人商店の活性化については早急にしてください。(男.30 歳代.小山)
- ・果物の街道等があり、確かに果物や野菜はたくさん採れるが、それを安く観光客に売る設備がない。近くの小布施町、中野市に見本があるのでまねをしたらどうか。(男.70 歳代.森上)
- ・人口もほどほどで果樹も豊かだが、後継者がいないのが心配。(女.60 歳代.日野)
- ・観光バス対策だけでなく、須坂駅に降り立つ人々も多くいる。駅前の活性化はぜひ進めていただきたいと思う。駅の下、シルキービル内の現状があまりにひどい。(女.20 歳代.須坂)
- ・米子の滝やナガノパープルを誕生させた農業試験場など、底力はあると思う。あとはアピールだけ。(女.40 歳代.小山)
- ・積極的に企業誘致をしていただき、地場産業の活性化を。また、子どもがのびのびと遊べる公園、施設を充実させてほしい。(男.40 歳代.森上)
- ・中心市街地の空洞化の対策と駅前の活性化を。高齢者が歩いて買い物に行ける、安全なまちづくを進めことで、交流の輪づくりにつながると思う。北陸新幹線延伸に伴う、長野駅での乗降客も増えると思われるが、少しでも須坂へ引き込む PR や積極策を考えてほしい。(男.60 歳代.須坂)
- ・須坂長野東インター、流通センター周辺の宅地化をもっと進めてほしい。(男.70 歳代.須坂)
- ・地場産業に力を入れてほしい。若い人たちが須坂市内で生活できる社会。(女.70 歳代.小山)
- ・日滝原工業団地周辺の整備。新規就農者の受け入れの強化および就農者の住宅確保(須坂市

民が増える)。(男.60 歳代.日滝)

- ・農業の担い手が増えていくように市が取り組んでほしい。(女.40 歳代.日滝)
- ・市内を見ると銀座通り、駅前通り等、道路は舗装され、きれいに整備されてきたが、通る人の姿が少ない。店を開けていてもお客さんが通ってくれないと聞く。活気あるまちづくり、魅力の店を誘致してほしい。(女.60 歳代.須坂)
- ・果物、農作物を須坂ブランドとして売ってほしい。(男.40 歳代.井上)
- ・農地と宅地の混雑を解消したい。須坂の川で釣りが気軽にできるようにしてほしい。キャンプ場や小布施町のように道の駅を作してほしい。(男.30 歳代.小山)
- ・あらゆる意味で閉鎖的な地域だと感じている。個人の店がいきいきと経営できるような工夫がほしい。休日のメインストリートが閑散としているので、魅力のある店を増やして「須坂で1日のんびり過ごしたい」と思えるまちにできたら嬉しい。(女.30 歳代.森上)
- ・最近では24時間営業のコンビニが増えて買い物は楽になったが、夜の騒音や光が気になる。銀座通りに若い店ができてきて、ちょっと歩いて寄ってみる雰囲気が生まれつつあるのは嬉しい。(男.20 歳代.須坂)

(6) 安全・交通・生活基盤

- ・私は歩き・自転車での行動が多いが、歩道によっては凸凹の所がある。(女.70 歳代.森上)
- ・そろそろ「道路」について本気で考えてほしい。本当に必要な道路はあると思うが、必要以上に広い道路や環状線はいらないのでは。ラウンドアバウトも五差路を四差路にすればそれだけで良かったと思う。畑の近くの道で高齢者も多く簡単な方がよいこともある。(男.40 歳代.小山)
- ・北須坂―長野間の電車の本数を多くし、運賃をもう少し安くしてほしい。市民バスの本数が少なすぎる。スーパーが遠く買い物に困る。(女.80 歳代以上.旭ヶ丘)
- ・水道水の改善をお願いしたい。(男.50 歳代.高甫)
- ・墓を維持できない人が多くなってくるので、納骨場所が必要になってくる。墓管理費の前納など、いろいろ高齢者のために考えることがある。(男.60 歳代.小山)
- ・車に乗れない高齢者にはバスが一番。バス停を増やしてください。(女.80 歳代以上.旭ヶ丘)
- ・バス路線がなくなり不自由と感じている。(女.70 歳代.日滝)
- ・歩道が歩きづらいところを減らしてほしい。平らではなく斜めになっていて歩きづらいところがある。(男.40 歳代.日滝)
- ・市内に公衆トイレのきれいなものがほしい。市内には公衆トイレが少なすぎる。道路の狭さに困っている。人、自転車、車が安心して通れるような道路がほしい。大人も子どもも一日中遊び買物が楽しめるような商業施設を誘致してほしい。市民が市外へ行かなくても良いように市外から市内に来てもらえるような魅力あるものをお願いしたい。(男.60 歳代.小山)
- ・カンナを意識した道路に力を入れているのはわかるが、十字路のぎりぎりまで植えてあるので見通しが悪い。交差点付近は草丈の低い植物にしてほしい。(男.60 歳代.高甫)
- ・野辺にできたラウンドアバウトは良いが、下八町入り口バス停に設置してある看板が下から来る時に邪魔で目視できない。場所の移動をお願いしたい。(女.20 歳代.高甫)

- ・歩道や信号の工事期間を減らしてほしい。(男.30 歳代.豊洲)
- ・道路をもっと綺麗にしてほしい。歩道の部分が駐車場になっていたり、自転車が通行していたり、歩行者が歩きにくい。市道が昔と同じで狭く、介護送迎車などが安心して送迎しにくい。道路の拡幅が無理ならゆっくり待つように市民の意識の向上を図ってほしい。また、商業の活性化を図ってほしい。(男.60 歳代.須坂)
- ・道路と（書いてもどうしようもないと思うが）交通網がわかりづらい。県内全市の中では知名度も特色も最低だと思う。(男.80 歳代以上.小山)
- ・中心市街地だけでなく、周辺部分の基盤整備に力を入れてほしい。災害に対する考え方をもっと強固なものとしてほしい。(男.70 歳代.日野)
- ・とにかく変則的な交差点が多く常々危険を感じている。観光にしても観光地としてアピールするためには危険な交差点の改良、歩道の整備が不可欠。長野市に近いがために大きな店や他の機関（保健所、法務局いろいろな支店）などが閉鎖されてしまい不便。それを解消できる活性化が必要。(女.40 歳代.旭ヶ丘)
- ・私は、外出、買物弱者である。病院巡りのみでなく、週に 1 回ほど市民バスがあればと夢見ている。(女.80 歳代以上.須坂)
- ・道路の整備をお願いしたい（国道 406 号）。(男.50 歳代.日滝)
- ・自宅の前の道路が通学路になっているが、歩道もなく交通量も多い。そして歩いている方もお年寄りがショッピングカーを引いておりとても危ない。早めに歩道の整備をお願いしたい。(女.60 歳代.小山)
- ・高齢になり、車の運転免許を返上した後も安心して地域に住み続けられる町を目指してほしい。そのためには買い物の手段（出張マーケットを増やす）や、近くに宅老所などがあればありがたい。(女.70 歳代.豊洲)

(7) まちづくり・観光

- ・観光スポットが離れている。(マップがわかりにくい)。駅にエレベーターやスロープ設置をお願いしたい。(男.30 歳代.森上)
- ・蔵の町としての特色をもう一段と整備する。田中本家から臥竜公園間を周遊するような仕掛けを考える必要がある。旧市街、新市街の特徴を出し、魅力ある食べ物、お土産を考えていくことも重要。(男.70 歳代.日野)
- ・観光資源は数多くあるが、須坂もそれらを生かす施策を進めてほしい。若者が定着できる魅力ある町になればと思うが、蔵の町と言ってもイメージしにくく、若者の感覚とマッチングしていないと思う。(男.60 歳代.高甫)
- ・臥竜公園の桜や動物園、蔵の町並み、田中本家、各博物館などあるので観光客が多く来てもらえるようにもっと工夫をしてほしい。(女.60 歳代.仁礼・峰の原)
- ・米子大瀑布、ハッチで再生した須坂市動物園、臥竜公園など、季節によって多くの人を訪れる場所が多い。ぶどうやりんごなど地元の特産物の果物にも恵まれている。小布施町を観光した後に須坂へという人が多いと思うが、須坂も主役になりうる観光資源を増やしてほしい。(男.40 歳代.森上)
- ・米子大瀑布で地方からの来客に大瀑布というからナイアガラの滝をイメージして見学に行ったら滝が二本あるだけで大瀑布とはいえない現状がある。(男.60 歳代.小山)
- ・桜百選の臥竜公園を中心に観光客を集める。臥竜山を芝桜の山にとか、臥竜公園に温泉施設をつくる。(狭い所に集中させる) 小布施町のように 1 年中観光客が来るように望む。(男.60 歳代.森上)
- ・観光面では五味池、峰の原等もっと生かしてほしい。(女.70 歳代.高甫)
- ・春の桜しかない。蔵の町といってもあっちにポツン、こっちにポツン、これでは何も魅力がないと思う。もっと活気のある町にしてほしい。(女.60 歳代.森上)
- ・小布施町と比較すると、須坂の発展が弱いと感じており、多くの観光客が小布施町を訪れている。善光寺から乗れるバス運行が必要ではないか(例えば、田中邸～池～米子方面周遊バス)。(女.70 歳代.小山)
- ・蔵の町を大切に残そうと若い方が努力している。(JC の方) (女.30 歳代.須坂)
- ・蔵の町といえど他地区と比較して全体的に景観が悪いので改善してほしい。市の中心に道の駅のような拠点をつくり地産地消の販売と観光地を巡るシャトルバスなどあれば良い。(男.70 歳代.豊洲)
- ・臥竜公園を中心とした周辺の整備を進めてほしい。(男.60 歳代.高甫)
- ・もっとよその市町を見てきて、蔵の町づくりは見直した方が良い。税金を使って蔵の町づくりはもう良い。(男.70 歳代.小山)
- ・財政等厳しいと思うが、他の市町村は他の自治体のまねをせずに、独自の路線を目指すしか須坂市を発展させていく道はないと思う。アイデアを持っている人はたくさんいる。小さな声にも耳を傾けて真剣に取り組んでほしい。(男.50 歳代.森上)
- ・観光客向けの大きめの土産店がほしい。(女.60 歳代.日野)
- ・観光地やみそ料理等の特色もあるのに、小布施町のような観光収入につながらないのはなぜ

- か疑問に思う。(知名度不足?) (女.40 歳代.日滝)
- ・峰の原の活性化を進めてほしい。山桜の名所にするのはどうか?道の駅(高原野菜直売所も兼ねた)のような観光施設がほしい。(女.30 歳代.仁礼・峰の原)
 - ・小布施町を見てほしい。観光客であふれている。(女.30 歳代.仁礼・峰の原)
 - ・特産物、自然、景勝地、歴史遺産等あるが、細々としておりバラバラという感じがある。それらのつながりを生かして情報発信したらと思う。それらをつなげた、地域を巡るツアーガイド事業はどうですか。(男.60 歳代.小山)
 - ・蔵の町づくりにお金を使っているが、それで人が集まり地域の活性化につながっているか疑問。(女.50 歳代.豊丘)
 - ・臥竜公園もあるのでもっと力を入れてください。小布施町等のまちづくり、また、中野市のバラ公園等を参考にしたらどうか。(女.70 歳代.仁礼・峰の原)
 - ・小布施町、善光寺の観光客をいかに取り込むかが重要。(男.40 歳代.須坂)
 - ・時には大規模な投資も必要ではないかと思う。何もしない行政という印象が強い。小さな自治体なのだからもっと小回りがきくはず。大胆に斬新なアイデアで活性化してほしい。期待している。(男.40 歳代.須坂)
 - ・須坂市は小布施町に比べて人を誘客することが弱いと思う。須坂もおやきなどお土産になればと思う。田中本家に来て須坂の中を歩いている人がいなくて残念。(女.70 歳代.仁礼・峰の原)
 - ・臥竜公園で催し物があっても、そばに駐車できず何年も出かけていない。歩くのが大変なので遠くに駐車しても歩いていけない。(女.80 歳代.仁礼・峰の原)
 - ・観光施設がバラバラなので仕方ないと思うが、イベント等の時は各種団体が協力しあって野外の飲食できる場や、雑貨、お土産物が買えるようなオープンスペースがいたる所にあれば良いと思う。(女.40 歳代.森上)
 - ・市内にある観光資源の一つ一つは立派であるが、とびとびで流れがなく残念。(女.80 歳代以上.須坂)
 - ・外の市から人を連れて来れるように、観光地化するか他に足を運んでもらえる要素をつくらないと廃れていくだけだと思う。市でつくった物を市外に売るか、余っている土地を有効活用したい。(男.20 歳代.須坂)
 - ・駅周辺、インター周辺に「蔵の町須坂」が感じられないので、素通りされてしまうのでは?強力に「蔵の町須坂」のアピールがほしいと思う。(女.60 歳代.旭ヶ丘)
 - ・もっと観光に力を入れると良いと思う。ゆるキャラを作るとか須坂には昔から続く、お酒やみそ屋、おいしい和菓子屋もある。もっと広めた方が良いと思う。意外と隠れた観光スポットがあると思う。(女.30 歳代.須坂)
 - ・交通の便が悪い。豊丘のあたりはお店がない。(女.80 歳代以上.森上)

(8) 交流・コミュニティ

- ・区（自治会）活動は昔のまま何ひとつ変わらず負担が多すぎるため、大勢の人たちが迷惑をしている。今の時代にあった活動をしていかないと、若い人たちは皆、よそへ出て行ってってしまう。（男.40 歳代.井上）
- ・地域ボランティアを積極的に支援してほしい。（男.70 歳代.旭ヶ丘）
- ・朝清掃の出不足金 2,000 円を取られてしまった。家は私と子どもだけ。毎月休みをとって朝清掃に出ていたが、11 月はないものと勘違いしていた。毎回出ている、おしゃべりが多く、同じ場所から動かなくて、ほとんど草を取っていない人がいる。私は毎回一生懸命に作業していたが、今回はくやしい。やる気をなくしてしまう。（女.40 歳代.旭ヶ丘）

(9) 市職員等

- ・勤務時間外に残業している職員を散見するが、節電にも心がけてほしい。（男.60 歳代.小山）
- ・前より対応が良くなったが、課によっては悪い課もある。もう少し市民のための市役所であってほしい。（女.60 歳代.日滝）
- ・意欲的な職員が増えてほしい。（男.40 歳代.井上）
- ・市議会議員の給料が近隣市町村に比べ高いと感じる。これは最近話題になっていることで、政治不信のもとにもなっていると思う。（女.50 歳代.須坂）
- ・市職員の施策立案機能は昭和世代に比べ格段のレベルアップが見られることに安堵している。市議会の議案議決時間も少なく済んでいることも喜ばしい限り。市費削減策の一助として現在の議員数の 20 名を 14~15 名にしてほしい。（女.80 歳代以上.森上）
- ・須坂市職員のやる気、責任感を持たせてもらいたい。（男.30 歳代.須坂）
- ・少ない予算で何かやるには優先順位をきちんとつけて徹底的に無駄を省く事をしなければならぬ。市議会議員を最小限にしてほしい。（男.60 歳代.日野）
- ・市長、市議会議員の近い人は何かとお願いしてそれが通る。そんなことでは市政は変わらないと思う。（女.60 歳代.須坂）
- ・市の職員の意識改革が必要なのでは。退職後地元地区への協力度が薄いように感じる。在職中から市民マインドの醸成、教育が必要。（男.60 歳代.井上）
- ・市民課の対応を改善してほしい。一番利用が多い所なのに事務的で説明不足だと感じることもある。自分たちだけがわかっているのか、相手の対場に立ち良く説明すべきだと思う。何度も足を運ばなくてはならなくなってしまう。県外で出生届などの書類（手続き）が窓口の人が違うことをいい一度で終わらなかつたことがあった。平日仕事を休み、出かけているのに窓口の人の対応が違う。マニュアルをしっかりと整備した方がよい。（女.60 歳代.小山）
- ・市民、職員共に熱意が感じられない。高齢者が多いせいでそれも仕方ないと思うが、若者の熱意だけでは限界がある。50 代以上の人たちにもっと頑張ってもらいたい。「あと何年で年金がもらえるか」と計算だけしている人に未来を変える力はない。（女.40 歳代.小山）
- ・市役所の二階の課に用事で行った際に、職員が一斉に見るのは気分が良くない。（女.60 歳代.豊洲）
- ・市議会議員の定数削減を要望する。（男.70 歳代.須坂）

- ・市議会、行政が高コスト体質になっていると思う。(男.40 歳代.日滝)
- ・人口減少社会の中において、議員定数、消防団員数などを見直していく必要があると感じている。市役所職員の方は市民のためにとでも働いてくださる方と残念ながらそうでない方と差が非常にあると感じている。何とかしてほしい。人事考課はされているのか。(男.30 歳代.豊洲)
- ・昼に市役所に行くと、職員の方々が机でお昼を食べたり、化粧直したりしている姿が見られるが、人が出入りしているので見た目は良くないと思う。(女.50 歳代.豊洲)
- ・一部の職員だが、市民に対する接し方が大変疑問に思う点があり、民間企業では通用しないことが多い。市では良いのか？間違いを決して謝らない。(女.70 歳代.森上)
- ・人の権利に関わることなどは逃げ腰が目立つ。各種の外部からの調査会、審議会、委員会などの登用については名誉職として臆するのではなく、資質をみて採用を心がけてください。(男.60 歳代.日野)

(10) 公共施設管理等

- ・市役所の建て替え。建物内が分かりづらい。暗い。古い。(男.30 歳代.高甫)
- ・文化施設等、もっと生かして活用できるよう、もっと市民が参加できやすいようにしてほしい。(女.60 歳代.日野)
- ・古い建物を綺麗にしてほしい。図書館を綺麗に新しくして、駐車場も便利にしてほしい。(女.30 歳代.日野)
- ・子どもが小さいのでよく臥竜公園を利用しているが、昔に比べて本当に楽しくイベントをやってもらっていると思う。ただトイレが古いのがとても残念。(男.30 歳代.豊洲)
- ・高齢者や子どもなど誰もが利用しやすい公園、緑地がほしい。(女.50 歳代.小山)
- ・小布施町や高山村に行かなくても、市内にも噴水のある公園をつくってほしい。(女.30 歳代.須坂)
- ・他の市町村では日曜開庁なども実施している。平日来庁できない人への配慮として日曜開庁を希望。(男.40 歳代.仁礼・峰の原)
- ・アピール不足。版画美術館、笠鉾会館など PR し、町の活性化につなげたらどうか。(女.40 歳代.井上)

(11) 広報広聴・PR

- ・いろいろなシンポジウムを開催しているが、その結果がどうなったのか見えてこない。(女.60歳代.井上)
- ・この頃テレビに須坂のことをいろいろ紹介しているが、もっと宣伝した方が良いと思う。(女.80歳代以上.旭ヶ丘)
- ・強み、魅力を生かしたまちづくりをする。「広報すぎか」をもっと読みやすいものにしてほしい。(男.50歳代.井上)
- ・観光、特色をもっと見つけ、外に向けてアピール又情報発信を効果的にすると良いと思う。(女.60歳代.日野)
- ・いつも感じているが、市役所から放送が聞こえる時と聞こえない時がある。また家の中に入るとなかなか聞き取りにくい。(女.50歳代.森上)
- ・屋外放送が家の中で聞きにくい。防災ラジオが良い。(男.70歳代.仁礼・峰の原)
- ・防災無線が地域によって聞き取りにくい。(女.30歳代.日野)
- ・もっとオープンに情報を発信してほしい。何を伝えているか分からないことが多い。(女.60歳代.須坂)

(12) 税金・各種料金

- ・会社員は、所得税などきちんと支払っているが、自営業者は、申告制のためか収入が会社員より多いのにもかかわらず、税金を支払わずに福祉を受けているケースもみられる。全く納得いかない。ぜひ、市民が納得する公平な税の徴収をすべきと思う。(男.70歳代.日野)
- ・住宅道路が拡張整備をして、どの家へもスムーズに入れる町に整備してください。(女.80歳代以上.小山)

(13) 市政・財政・計画ビジョン

- ・地域の活力アップが必要。地方創生(まち、ひと、しごと創生)「総合戦略」、「長期ビジョン」をしっかりと策定してほしい。特に企業誘致(ひと、しごと)に影響し拡大でき、若い人たちが集う町づくりが必要。(男.50歳代.日滝)
- ・長野で仕事をしていて感じることで、支所を村山橋か屋島橋あたりに置いてほしい。(女.40歳代.小山)
- ・須坂が将来どんな特徴をもった市になるのか具体的に絞って明示すべき。(男.70歳代.小山)
- ・当市の資源は歴史的建造物、自然、食べ物、野菜等多々あるが、インパクトが弱いので、誘客するための材料としては物足りなく感じている。「蔵の町」が浸透していないことや、カンナのゆるキャラ決定も知らなかった。一元的な観光都市としての施策に取り組む庁内体制と各種団体との連携の強化を。(女.30歳代.日野)
- ・人口や車が減少することを見込んだ都市計画。道路を広げても空き地が増えている。中心市街地活性化はもう必要ない。農村部を活性化し中心部の地価を下げることにより、割安感を出せば人はまた戻る。市町村もこれからは競争時代。早めに須坂はここが違うというところを出してほしい。(男.50歳代.高甫)

- ・若者が都会に出ていってしまっていて高齢化が進んでいるが、若者が戻ってきたいと思う須坂市になるような政策を期待している。(男.20 歳代.小山)
- ・須坂市政を運営する中で須坂に住んでいる方に、住んで良かった町はどんな町なのか具体的に示し、重点政策を明確にしてほしい。何でも声の大きい人に傾いてしまっているように感じる。強い信念がほしい。(女.50 歳代.井上)
- ・工業と観光のバランスはとれていると思うが、買い物は長野市や中野市へ行くことが多く街中が寂しい。若い人を他市からでも引き抜く意気込みで強引な政策をとって活気ある須坂市にしてほしい。(男.70 歳代.須坂)
- ・須坂市にいろいろ建物があるが、この建物全て必要かどうか疑問に思う。須坂市がこれからの未来をよく見えてこない。どちらの方向に進もうとしているか、須坂市はよく計画を立て、前に向かっていってもらいたい。(男.60 歳代.森上)
- ・行政がもっと市民に近いものになること！市全体の 20 年～30 年先を見ること。もっと市の特徴を生かす行政を行うこと。人は財産！！人を育て生かすこと！（男.70 歳代.旭ヶ丘）

(14) アンケートについて

- ・今回のアンケートの中に、自分に該当しない項目がありすぎて考えるのが大変で、あまり考えずに回答したのもあった。(女.70 歳代.高甫)
- ・高齢者でも働ける人（希望）が働ける仕事をもっと増やし、社会参加、人口減のこれからの社会を補って行けるよう企業誘致を進めていく。今回のアンケートをいただいて自分や周囲を考える機会になり、市のあり方に以前より関心を持てるようになった。(女.60 歳代.高甫)
- ・須坂市職員はすぐにお金がなくて、予算がなくてが口癖。まずはその癖を直してほしい。(でなきゃこのアンケートが必要ないと思う) ご意見をお聞かせくださいと言いながら。(女.30 歳代.日野)

(15) その他

- ・強みや魅力があっても気づいていなかったり、アピールの方法がイマイチだったりする場合がありますかもしれないので、いろいろな方と交流できる場所や機会があっても良いのでは？
(女.40 歳代.日滝)
- ・主に住宅地のような感じで大きな特色がないような気がする。(男.40 歳代.旭ヶ丘)
- ・昔ながらのつながりで動いている。新しいものが入ってくるわけがない。市職員と仲良くなると何も始まらない。(男.40 歳代.小山)
- ・おまかせではなく探検隊なる人々（子どもからお高齢者りまで）によって発信することが大切だと思う。市花のカンナをもっと広島に関連から有名にしてほしいし、もっと赤一色の街並みがほしい。(女.60 歳代.森上)
- ・もっと特色を出して、他ではやっていないチャレンジをしてもらいたい。若い人の意見を聞く、出させる工夫を。自治会もすべてお年寄りが主役のため変わったことにチャレンジすることはない。(男.40 歳代.須坂)
- ・昔から市街と農村の格差を感じる。JA 須高の運営にも不安を感じる。(中省略) 創成高校の

- 開校も楽しみにしている。(女.60 歳代.井上)
- ・市民意識の盛り上がりが必要。バカになって引っ張るようなリーダーの育成が必要な気がする。複数人数の育成が必要。(男.70 歳代.高甫)
 - ・大型商業施設、アミューズメントの誘致などインター周辺等を行政が積極的に行うべき。須坂市に住みながら須坂市以外で働き、須坂市以外でお金を使う人が多すぎるのが最大の問題である。このままではこの市の発展は望めない。(男.40 歳代.日滝)
 - ・行政はどうしても形作りになりやすい。予算もあると思うが、もっと柔軟な対応を。権限委譲と責任を持たせる執行体制を作り職員にやる気を起こさせる。目先の改革から抜本的改革に進めてほしい。(男.70 歳代.須坂)
 - ・観光する場所が駅から遠すぎており、1 か所にまとまっていない。
 - ・高速道、鉄道と比較的に恵まれている。自然も多く、魅力はたくさんあると思う。人が住みたくなる、人口が増える取組をしないと活力が上がっていかない。(男.40 歳代.小山)
 - ・郵便番号と大字をリンクさせてほしい。引っ越してきたが身分証明の住所が郵便番号で検索できないのは初めて。(男.60 歳代.日滝)
 - ・12月のイルミネーションについて、せっかくお金、手間をかけたのだから、きれいなイルミネーションをもっと長い期間、市民や他市の皆さんに見てもらいたい。せめて、12月の始めから1月中は点灯してほしい。須坂市の見どころになるようにしてほしいと思う。(女.70 歳代.小山)
 - ・刑務所が市の一等地にあることが問題。あそこが商業施設であれば収入源になったと思う。(男.40 歳代.須坂)
 - ・一人暮らしの家庭や母子、父子家庭の子どもに対する温かい施策の強化を。須坂長野東インターチェンジ周辺に気軽に立ち寄れる喫茶ルーム(軽食)＝観光案内所があると良いと思う。(女.70 歳代.未記入)
 - ・犬や猫の飼い主に登録制度を市条例等定め糞の処理(持ち帰る義務)を徹底してほしい。(女.80 歳代以上.森上)
 - ・少し道幅の狭い道についても、冬の除雪を行ってほしい。また、高齢者にも参加しやすい町づくりが必要。(女.60 歳代.豊丘)
 - ・人口は減っていくのは仕方のないこと。ただ、高齢化していく中、活力が失われてはいけないと思う。市内外の人たちが参加したいと思えるようなイベントをぜひ開催してもらい。(女.40 歳代.日滝)
 - ・強みや魅力は感じないので、小布施町のまちづくりを参考に昔からの歴史や文化、自然環境、農産業を考えてその中からもっと強烈にアピールできることを考えてほしい。(男.70 歳代.井上)
 - ・多くの特色ある農産物、果物をゆるキャラを活用してアピールしてほしい。道の駅が無いので観光客に農産物、果物を知らせる場を失っているのでは？観光客が素通りして小布施町へ行ってしまっている。マイカー利用の観光客に立ち止まってもらう場がないため、国道沿いに道の駅の設置を考えたらどうか。(女.40 歳代.旭ヶ丘)
 - ・観光大型バスで見えて大勢で食事などができる所があればいいと思う。(女.70 歳代.須坂)

・機会があつて他の市町村をみれば、ほんの一部だが当市よりも活気があり、買い物施設が充実し、河川敷を利用した並木とか公園などに特色があり、当市でも参考になると思った。

(女.80歳代以上.須坂)

・観光、産業面での連携は増加し振興が図られているが、もっと中小の工場や個人経営のお店等、横のつながりや他団体等との連携、経営する人たちの意識改革がないと今後一層、空店舗・倒産等が増えていくのではないかと。または、空農地等を十分活用していく人材や施策、施設等々を育成していかないと農業は衰退していくばかりに。(男.60歳代.森上)

・土地が安かったため、引っ越してきた。人も良くないし(高橋町)、不便だし、いい所ではなくて悲しい。市役所の人はいいい人が多かったように思える。※人も良くないとは、元々ずっと住んでいる方たちのこと。(女.30歳代.日滝)

・「みんな主役のまちづくり」について、何をやっても同じ人同じ顔ぶれ。もっと幅広く広めない、関係ないからと思う人が大勢いると思う。(女.70歳代.豊洲)

・自然豊かで災害も少なく住みやすく、蔵の町をもっと強調して須坂市民の日を一日設けても良いのでは。(男.60歳代.日滝)

・土手の草を刈ってほしいと何度も近所の人たちとお願いしているのにやってくれない。また、雨の日に子どもたちと遊べる場所を増やしてほしい。(女.30歳代.須坂)

・道路整備の推進や、元富士通の跡地の有効利用を進めてほしい。(男.40歳代.井上)

・中途半端な観光振興「蔵の町」などのまちづくりには全く魅力がない。人を呼びたいのならパチンコ店なんかよりも、場外馬券場の方がよっぽど経済効果が高い気がする。須坂には若者が集う場が少ないからパチンコ店が社交場になっている。若者、子どもが興味ありそうなことをやってほしい。(男.30歳代.小山)

・土地の有効利用を進め、人口増加につながる施策を進めてほしい。各種イベントについては、県外からの参加を促し、おもてなしの心で多くの人を呼び、それが毎年続けられたら良い。しかし、例えば紅葉ガイドウォーク、見学ウォーク、アップルウォークなどが楽しめる場所が点在しており、ガイド付きタクシーも必要とだと思ふ。(女.70歳代.井上)

・須坂市に住んでいる人が参加できる「市民デー」のようなイベントを企画して、飲食店などでちょっとしたサービスがあると住んでいて良かったなと思える気がする。(女.20歳代.日野)

・須坂市全体の活性化と商業施設の活性化を進めてほしい。また、須坂病院の医療水準を上げてほしい。(女.50歳代.旭ヶ丘)

・医療費の負担。公園をたくさんつくる。無駄な街路樹。映画館、カラオケ、ボーリング、ショッピングモールなどの施設がほしい。(女.20歳代.日滝)

<参考資料編>

＜平成 26 年度 須坂市市民総合意識調査＞



「花と緑のまちづくり事業

マスコットキャラクター かなちゃん」

— アンケートご協力をお願い —

日頃より市政に対しましてご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

須坂市では、10年間にわたる市政運営の基本的な方針を示した「第五次須坂市総合計画」に基づき、「一人ひとりが輝き、磨かれた『ほんもの』の魅力あふれるまち 須坂」の実現に向け、計画的にまちづくりを進めています。このうち、前期基本計画の計画期間が平成 27 年度をもって終了することから、現在、平成 28 年度からの後期基本計画の策定作業に取り組んでいます。

そこで、広く市民のみなさまのご意見をお聴きし、今後の市政運営の参考とさせていただくため、市民総合意識調査を実施することとしました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

ぜひ、みなさまの率直なご意見をお聞かせください。

平成 26 年 11 月 須坂市長 三木 正夫

《ご記入をいただく前にお読みください》

この調査は、須坂市内にお住まいの満 20 歳以上の方々から、無作ために選ばせていただいた 2,000 名のみなさまを対象とするものです。みなさまからいただいた回答は無記名としており、統計的に処理しますので、個人が特定されたり、個別の回答が公表されるようなことは決してありません。

1. アンケート調査票の内容に従い、あてはまる番号に○をお付けください。また、具体例の記述や自由記述をお願いする質問もございますので、調査票の案内に従ってご記入ください。
2. 大変お手数をおかけしますが、ご記入済みの調査票は同封の返信用封筒に入れて平成 26 年 11 月 28 日（金）までに調査受託者までご返送ください。
3. アンケートの回答内容は、調査の目的以外に使用することはありません。また、個々の回答内容は厳重な管理のもと、情報保護に留意いたします。
4. 本調査は、一般財団法人長野経済研究所が委託を受け実施しています。

本調査について、ご不明な点がございましたら、下記にお問い合わせください。

（調査受託者）一般財団法人長野経済研究所 調査部 [担当者：玉木、中村]

〒380-0936 長野市岡田178-13 八十二別館3階

電話番号：026-224-0504 電子メール：sota.tamaki@neri.or.jp

あなたについて教えてください

あてはまる番号に1つ○をしてください。

問1 あなたの性別について教えてください。

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

問2 年代について教えてください

- | | | | |
|--------|--------|----------|--------|
| 1. 20代 | 2. 30代 | 3. 40代 | 4. 50代 |
| 5. 60代 | 6. 70代 | 7. 80代以上 | |

問3 住まいの地区（小学校通学区別）について教えてください。

- | | | | | | |
|-------|-------|--------|------------|--------|-------|
| 1. 須坂 | 2. 小山 | 3. 森上 | 4. 日滝 | 5. 豊洲 | 6. 日野 |
| 7. 井上 | 8. 高甫 | 9. 旭ヶ丘 | 10. 仁礼・峰の原 | 11. 豊丘 | |

問4 あなたの家族構成について教えてください。

- | | | |
|---------------|--------------|------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦だけ | 3. 親子（2世帯） |
| 4. 親と子と孫（3世帯） | 5. それ以外（具体的に | ） |

問5 ご家族の中に（ご自身を含め）65歳以上の方はいらっしゃいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問6 ご家族の中に18歳未満の方はいらっしゃいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問7 問6で「1. いる」と回答した方にお聞きします。年代について教えてください。

- | | | |
|---------|--------------------|--------|
| 1. 3歳未満 | 2. 3歳から小学校入学前 | 3. 小学生 |
| 4. 中学生 | 5. 高校生（高校生相当の年齢含む） | |

問8 あなたの主なお仕事について教えてください。

- | | | | | |
|---------|--------------------|--------------|----------|---|
| 1. 会社員 | 2. パート・アルバイト・契約社員等 | 3. 自営・経営者 | | |
| 4. 農林業 | 5. 家事（内職含む） | 6. 公務員（教員含む） | | |
| 7. 団体職員 | 8. 学生 | 9. 無職 | 10. その他（ | ） |

問9 須坂市にお住まいになったの通算年数について教えてください。

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 5年以下 | 2. 6～10年 | 3. 11～20年 | 4. 21～30年 |
| 5. 31～40年 | 6. 41～50年 | 7. 51年以上 | |

市の施策全般についてお聞きします

「住んで良かった」と思えるよりよい須坂市を目指すため、市民のみなさまの声をお聞きしこれからの施策に反映していきます。

あなたは、それぞれの施策の取り組み状況について、どの程度満足されていますか。また、今後取り組むことがどのくらい重要だと考えますか。カッコ内の考え方を参考に、市の取り組みをイメージしながらご回答ください。

各設問では満足度と重要度をお聞きしています。項目ごとに自分の考えに一番近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

【満足度】日常生活を思い出して 1～5 の中からお選びください。

【重要度】須坂市全体のことを考えて A～E の中からお選びください。

記入例

項目 () 内は考え方の基準です	満足度					重要度				
	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	重要である	どちらかといえば重要である	普通	どちらかといえば重要ではない	重要ではない
健康づくりの充実 (健康診断・相談、保健指導、各種健康教室が充実している)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E

【基本目標①：みんなが助け合い、健康に暮らせるまちづくり】

項目 ()内は考え方の基準です	満足度					重要度					
	満足	満足	どちらかといえ ば	どちらでも ない	不満	どちらかとい えば	不満	重要 である	重要 である	普通	重要 ではない
健康づくりの充実 (健康診査・相談、保健指導、各種健康教室が充実している)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	
医療体制の整備 (休日・夜間及び救急医療体制や、各種検診が充実している)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	
みんなで助け合う福祉 (地域の見守り活動をはじめとする、市民によるボランティア活動が活発である)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	
高齢者福祉の充実 (ひとり暮らし支援、介護予防、相談窓口などサービスが充実している)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	
障がい福祉の充実 (障がい者の社会参加、歩道段差解消など必要な支援、サービスが充実している)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	
生活困窮者への支援 (生活に困っている人が気軽に相談や支援を受けながら自立に向けて生活できる)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	

問10 あなたは、「自分の健康は自分でつくり、守る」という意識を持ち、健康の維持・増進に取り組んでいますか。

1. 毎日（ほぼ毎日）、行っている	2. 週1回以上、行っている
3. 月1回以上、行っている	4. 行っていない
5. その他（	）

問11 あなたは、今後、高齢者の見守り活動などに参加していきたいと思うか。

1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない	5. 思わない	

問12 市が進める「基本目標①：みんなが助け合い、健康で暮らせるまちづくり」について、ご意見などご自由にお聞かせください。

--

【基本目標②：子どもたちが未来に夢をもてるまちづくり】

項目 ()内は考え方の基準です	満足度					重要度				
	満足	満足 どちらかといえ ば	どちらでも ない	不満 どちらかといえ ば	不満	重要 である	重要 である どちらかといえ ば	普通	重要 ではない	どちらかといえ ば
特色ある魅力的な学校づくりの推進 (須坂の歴史や文化を生かした教育を展開し、感性豊かで元気な子どもが育っている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
児童・青少年健全育成の推進 (家庭や地域の中で、体験や交流を通じ生きる力が育まれている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
子育て環境の整備 (相談窓口、親子が集える場所、預かり保育など子育て支援サービスが充実している)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E

問13 須坂市は子育てしやすい(しやすそうな)まちだと思うか。

1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない	5. 思わない	

問14 問13で「4. どちらかといえばそう思わない」、「5. 思わない」と回答した方にお聞きします。須坂市は子育てしやすい(しやすそうな)まちだと思わない理由について教えてください。

--

問15 市が進める「基本目標②：子どもたちが未来に夢をもてるまちづくり」について、ご意見などご自由にお聞かせください。

--

【基本目標③：豊かな自然あふれる地域環境を守り、安心して安全に暮らせるまちづくり】

項目 ()内は考え方の基準です	満足度					重要度					
	満足	満足	どちらかといえば	どちらでもない	不満	どちらかといえば	不満	重要である	重要である	普通	重要ではない
自然環境の保全 (自然にふれあう機会が多く、効果的な自然環境の保全が進められている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	
環境を守る活動の推進 (節電や節水、省エネ、清掃活動など環境保全の取り組みが進んでいる)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	
循環型社会の形成 (市民や事業者が、ごみを減らす、再利用、修理して使う、リサイクル等が行われている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	
環境衛生施設の整備 (公衆トイレ、霊園の整備等行われている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	
防災体制の充実 (防災設備や備蓄品の充実など防災に対する備えがあり、防災体制が整っている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	
消防・救急体制の充実 (消防防災施設の充実、医療機関との連携による救急体制が図られている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	
交通安全対策の推進 (交通安全意識の啓発、子どもや高齢者が安心して歩ける道路・歩道が整っている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	
地域安全対策の推進 (防犯パトロール、防犯意識の啓発が進み、市民が犯罪や事故に対する不安を感じることなく安心して暮らせている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	
消費生活の安全 (振り込め詐欺などから市民を守るため、地域と連携して被害防止に努めている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	

問16 あなたは、環境にやさしい生活(活動)を実践(参加)していますか。

※環境にやさしい生活(活動)：節水、節電、ごみの分別、買い物はマイバック使用、清掃活動への参加 等

- | | | |
|--------------------|-------------------|--------------|
| 1. 実践している | 2. どちらかといえば実践している | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば実践していない | 5. 実践していない | |

問17 須坂市の防災体制（備蓄品、災害応援体制 等）について充実していると思うか。

- | | | |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. 思わない | |

問18 市が進める「基本目標③：豊かな自然あふれる地域環境を守り、安心して安全に暮らせるまちづくり」について、ご意見などご自由にお聞かせください。

【基本目標④：多様な文化を学び育て、交流する創造的なまちづくり】

項目 () 内は考え方の基準です	満足度					重要度					
	満足	満足	どちらかといえば	どちらでもない	不満	どちらかといえば	不満	重要である	重要である	普通	重要ではない
生涯学習の機会充実 <small>(学習機会の拡大や学習成果の発表の場を提供するなど公民館が生涯学習の拠点となっている)</small>	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	
生涯学習・文化芸術を核としたまちづくりの推進 <small>(個人が生涯学習、歴史・文化・芸術に親しめるまちづくりが図られている)</small>	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	
スポーツ活動の充実 <small>(指導者の育成、スポーツ施設の充実などにより、市民のスポーツ活動が盛んである)</small>	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	

問19 あなたは、普段から公民館や図書館などで自主的な学習に取り組んでいますか。

- | | | |
|---------------------|--------------------|--------------|
| 1. 取り組んでいる | 2. どちらかといえば取り組んでいる | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば取り組んでいない | 5. 取り組んでいない | |

問20 あなたは、普段から生涯学習・文化芸術に親しみ、地域の皆さんと一緒に活動に取り組んでいますか。

- | | | |
|---------------------|--------------------|--------------|
| 1. 取り組んでいる | 2. どちらかといえば取り組んでいる | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば取り組んでいない | 5. 取り組んでいない | |

問2 1 あなたは、日頃からスポーツを行っていますか。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 毎日（ほぼ毎日）、行っている | 2. 週1回以上、行っている |
| 3. 月1回以上、行っている | 4. 行っていない |
| 5. その他（ | ） |

問2 2 市が進める「基本目標④：多様な文化を学び育て、交流する創造的なまちづくり」について、ご意見などご自由にお聞かせください。

<hr/>

【基本目標⑤：みんなの活力があふれるまちづくり】

項目 ()内は考え方の基準です	満足度					重要度					
	満足	満足	どちらかといえば	どちらでもない	不満	どちらかといえば	不満	重要である	重要である	普通	重要ではない
農業の活性化 (おいしい農産物の生産や農産物の販路拡大、耕作放棄地対策が図られている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	
森林の多面的機能の維持保全と共生 (松くい虫対策や間伐材の活用など森林が緑の財産として育成管理されている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	
既存産業の高度化・高付加価値化の促進 (市内企業が、産学官連携や公募型の補助金による新たな製品開発などにより、競争力を高めるための活動を行っている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	
新産業創出・企業立地の推進 (時代を先導する産業分野の企業や新たに誘致した企業が、活発に事業展開している)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	
商業の活性化 (市内に必要な買い物ができる環境がある)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	
観光産業の振興 (「おもてなし」運動や土産品の充実など観光産業の振興が図られている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	
観光資源の活用 (観光案内板の設置のほか、蔵の町並みや歴史などの観光資源の活用が進んでいる)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	
雇用機会の充実と産業人材の育成 (求職者への就業支援を通じて、働く意欲がある人が、希望する職業に就いている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	
労働環境の整備と勤労者福祉の増進 (働きやすい職場づくりや勤労者の福利厚生が図られ、勤労者がいきいきと働き、充実した生活を送っている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	

問23 あなたは、市内で生産された農産物を市外の方におすすめしたいと思うか。

- | | | |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. 思わない | |

問24 あなたは、市外の方に須坂市を観光地としておすすめしたいと思うか。

- | | | |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. 思わない | |

問25 市が進める「基本目標⑤：みんなの活力があふれるまちづくり」について、ご意見などご自由にお聞かせください。

--

【基本目標⑥：みんなが快適に生活できるまちづくり】

項目 () 内は考え方の基準です	満足度					重要度							
	満足	満足	どちらかといえば	どちらでもない	不満	どちらかといえば	不満	重要である	重要である	どちらかといえば	普通	重要ではない	どちらかといえば
土地の有効利用の促進 (空地・空き家が減り、耕作放棄地の解消など環境整備がされている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E			
景観の保全と創造 (自然景観や蔵の町並み、身近にある花壇など須坂らしい景観となっている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E			
公園整備とまちなか緑地化の推進 (充実した公園が身近にあるほか、花や緑であふれる町並みが整備されている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E			
水環境の保全と水道水の安定的な供給 (安全な水道水が安定供給されている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E			
橋や道路整備の推進 (道路網の整備や修繕、歩道の段差解消など整備がされている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E			
安心して快適な住環境や施設の整備 (公共施設や住宅の耐震診断・耐震補強が図られ、快適な住環境が整備されている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E			
公共交通の確保 (市民バス、乗合タクシーなど便利で持続可能な公共交通の環境が整っている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E			

問26 あなたは、普段から意識して電車や市民バスなどを利用していますか。

- | | | |
|--------------------|-------------------|--------------|
| 1. 利用している | 2. どちらかといえば利用している | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば利用していない | 5. 利用していない | |

問27 市が進める「基本目標⑥：みんなが快適に生活できるまちづくり」について、ご意見などご自由にお聞かせください。

--

【基本目標⑦：みんなが主役のまちづくり】

項目 () 内は考え方の基準です	満足度					重要度				
	満足	満足 どちらか といえば	どちら でもない	不満 どちらか といえば	不満	重要 である	重要 である どちらか といえば	普通	重要 ではない	どちらか といえば
人権が尊重される社会の実現 (地域に存在する人権侵害が解消され、人権意識が高い地域社会が築かれている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
男女共同参画社会の実現 (家庭、職場で性別にとらわれず、自分らしい生き方ができる社会が実現している)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
多様な活動主体の参画による地域社会づくりの推進 (ボランティアなど地域活動をしている個人などのつながりが充実し、交流している)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
特色をいかした地域振興の推進 (市の特産品や歴史などが地域ブランドとして認知され、地域振興が図られている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
情報発信、広聴・広報の充実 (「広報すぎか」や「須坂市ホームページ」などを通じて知りたい情報がいつでも入手でき、わかりやすく提供されている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
ICTによる利便性の向上と効率的なシステム運用 (情報通信技術を活用し快適な生活が送れている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
地域コミュニティの活性化 (区(自治会)活動が活発に行われている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E

総合計画の推進 (市民の声を反映した施策が実行され、目標が共有されている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
市民と共に歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり (市職員が意欲をもって市民のみなさんとともに課題解決に取り組んでいる)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
長期的展望に立った財政運営 (長期的視点に立ち、収支バランスの取れた財政運営が行われている)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E

問28 あなた自身または家族が人権を侵害されたと感じたことはありますか。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 感じたことがある (具体的に)
2. 感じたことがない |
|------------------------------------|

問29 あなたは、ボランティア活動や市民活動、地域の活動などに取り組んでいますか。

- | |
|--|
| 1. 取り組んでいる 2. どちらかといえば取り組んでいる 3. どちらともいえない
4. どちらかといえば取り組んでいない 5. 取り組んでいない |
|--|

問30 あなたは、日頃から自治会の活動へ参加していますか。

- | |
|--|
| 1. 参加している 2. どちらかといえば参加している 3. どちらともいえない
4. どちらかといえば参加していない 5. 参加していない |
|--|

問31 男女がともに尊敬し支え合うまちをめざし、「すぎか男女共同参画計画」により事業を進めています。あなたは、この計画を知っていますか。

- | |
|--|
| 1. 計画名も内容も知っている 2. 計画名は知っているが内容は知らない
3. 知らない |
|--|

問32 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方をどう思うか。

- | |
|--|
| 1. 賛成である 2. どちらかといえば賛成 3. どちらともいえない
4. どちらかといえば反対 5. 反対である |
|--|

問33 あなたは、平成26年8月10日の県知事選で投票に行きましたか。

- | |
|--|
| 1. 行った (期日前投票を含む) 2. 行かなかった 3. 回答したくない |
|--|

問34 問33で「2. 行かなかった」と回答した方にお聞きします。行かなかった理由について1つ教えてください。

1. 勝敗が予測できた	2. 病気・体調不良	3. 投票したい候補者がいなかった
4. 天候が悪かった	5. 県政に関心がない	6. 投票所が遠い
7. その他 ()		
8. 回答したくない		

問35 市が進める「基本目標⑦：みんなが主役のまちづくり」について、ご意見などご自由にお聞かせください。

須坂市のまちづくりや、市政についてご意見をお聞かせください

問36 市政について身近に感じますか。

1. 身近に感じる	2. どちらかといえば身近に感じる	3. どちらともいえない
4. どちらかといえば身近に感じない	5. 身近に感じない	

問37 問36で「4. どちらかといえば身近に感じない」、「5. 身近に感じない」と回答した方にお聞きします。身近に感じない理由について教えてください。

問38 須坂市の強みや魅力について、ご自由にお聞かせください。

問39 須坂市の改善点について、ご自由にお聞かせください。

質問は以上です。長時間ありがとうございました。
回答漏れがないかご確認の上、同封の返信用封筒でご返送ください。

須坂市市民総合意識調査結果報告書

須坂市総務部政策推進課

平成 27 年 3 月 発行

〒382-8511

長野県須坂市大字須坂 1528 番地の 1

電話 026-245-1400（代表）

026-248-9017（課専用）

電子メール seisakusuishin@city.suzaka.nagano.jp

（調査集計委託機関 一般財団法人長野経済研究所）